

第一次笛吹市総合計画



ふえふき協奏曲 第1番

実施計画書
(平成22年度～平成24年度)



笛吹市

目 次

I	実施計画の概要	1
1	実施計画の目的	1
2	実施計画の性格及び期間	1
3	総合計画上の位置付け	1
4	実施計画の対象事業	2
5	実施計画の対象事業の事業費	3
第1節	実り多い産業と、人々の集うまちづくり	4
§ 1	適切な土地利用を誘導する計画的なまちづくり	
	地籍管理事業	5
	地籍調査事業	6
§ 2	人が行き交う道路・交通ネットワークづくり	
	道整備交付金事業	7
	地域活力基盤創造交付金事業	8
	市営バス運行事業	9
	リニア対策事業	10
	芦川農業基盤整備事業	11
§ 3	機能的で魅力ある市街地づくり	
	石和温泉駅周辺整備事業	12
	峡東都市計画事業石和駅前土地区画整理事業	13
§ 4	人々の交流を盛んにするしくみづくり	
	友好都市親善交流事業	14
	石和地域間交流事業	15
	観光イベント事業	16
	地域環境資源活用推進事業	17
§ 5	もてなしの心があふれる観光地づくり	
	ハイキングコース整備事業	18
	観光宣伝事業	19
	市長トップセールス事業	20
§ 6	魅力的で安定性のある農林業づくり	
	県営畑地帯総合整備事業	21
	県営基幹農道整備事業	22
	県営中山間地域総合整備事業	23
	農地・水・環境保全向上対策事業	24
	農業施設整備事業	25

農地資源保全事業	26
鳥獣害防止対策強化事業	27
バイオマスの郷づくり事業	28
バイオマスセンター建設事業	29
地産地消推進事業	30
農地流動化地域総合推進事業	31
林道事業	32
§ 7 桃・ぶどう日本一を誇れる郷づくり	
農産物等消費拡大宣伝事業	33
地域ブランド化推進事業	34
§ 8 活力ある地域経済づくり	
企業立地推進助成金事業	35
小規模企業者小口資金融資促進事業	36
§ 9 安定した就業環境づくり	
シルバー人材センター負担金事業	37
第2節 環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり	38
§ 1 安全・安心のための備えづくり	
危険物等安全指導事務	39
火災予防啓発事務	40
防火対象物安全指導事務	41
備蓄品整備事業	42
耐震性貯水槽施設整備事業	43
消防団施設管理事業	44
青色防犯パトロールカー事業	45
防災無線デジタル統合事業	46
交通安全対策事業	47
救急隊研修事務	48
救急通信事業	49
§ 2 便利で暮らしやすい生活環境づくり	
上水道総務事務	50
上水道使用料徴収事業	51
上水道第一次拡張事業	52
簡易水道事業総務事務	53
上水道配水管布設事業	54
道路維持管理事業	55
道路新設改良事業	56
橋梁長寿命化修繕計画事業	57
水路整備事業	58

道路境界線境界調査事業	59
公営住宅等長寿命化計画策定事業	60

§ 3 快適で美しい都市づくり

下水道受益者負担金徴収事業	61
下水道使用料徴収事業	62
公共下水道整備事業	63
下水道維持管理事業	64
合併処理浄化槽設置促進事業	65
下水道加入促進事業	66
環境美化事業	67

§ 4 限りある資源を大切にす循環型社会づくり

ごみ減量化推進事業	68
資源物回収事業	69
ミックスペーパー・その他プラ回収事業	70
ごみ収集事業	71
ごみ処理事業	72
バイオディーゼル事業	73

§ 5 憩いと癒しの空間づくり

緑化推進事業	74
花のまちづくり推進事業	75
緑の基本計画策定事業	76
景観計画策定事業	77
八代ふるさと公園整備事業	78

§ 6 健やかで生きいきと暮らせる環境づくり

食育推進事業	79
特定健康診査等事業	80
女性特有のがん検診推進事業	81
温泉活用健康づくり事業	82
シルバー体操指導員養成事業	83

§ 7 安心して生み育てられる環境づくり

保育所運営事業	84
石和第五保育所建設事業	85
私立幼稚園就園奨励費補助事業	86
地域子育て支援センター事業	87
地域ぐるみ子育て支援事業	88
ファミリーサポートセンター事業	89
父子家庭児童育成手当支給事業	90
妊婦一般健康診査	91
不妊治療費支援事業	92

育児支援事業	93
§ 8 高齢者がいつまでも元気で暮らせる環境づくり	
特定高齢者把握事業	94
通所型介護予防事業	95
地域介護予防活動支援事業	96
長寿敬老事業	97
認知高齢者対策事業	98
生きがいデイサービス事業	99
介護相談員派遣事業	100
介護給付費適正化事業	101
§ 9 障害者の自立を支援する環境づくり	
障害者地域生活支援事業	102
障害者介護給付・訓練等給付事業	103
障害者基本計画・障害福祉計画進行管理事業	104
§ 10 暮らしの基礎を支える安心なしくみづくり	
国民健康保険賦課徴収事業	105
生活保護費支給事業	106
生活援護者就労促進事業	107
第3節 個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり	108
§ 1 子どもたちの個性を尊重する学校づくり	
小中学校市費負担教職員配置事業	109
一宮中学校改築耐震補強改修事業	110
教育相談事業	111
教育委員運営事業	112
学校教育学生ボランティア活用事業	113
教育委員会評価点検事業	114
学校調理業務委託事業	115
学校給食備品整備事業	116
学校給食調理施設整備事業	117
一宮学校給食共同調理施設設置事業	118
小学校施設整備事業	119
中学校施設整備事業	120
教育用パソコン整備事業	121
地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業	122
§ 2 子どもの健やかな成長を支える環境づくり	
放課後子ども教室事業	123
青少年育成事業	124
青少年体験活動事業	125

§ 3	いつでも、どこでも、だれでも学べる環境づくり	
	市民講座事業	126
	俳句会事業	127
	社会教育施設整備事業	128
	図書館事業	129
§ 4	身近にスポーツを楽しめる環境づくり	
	スポーツ振興事業	130
	健康・体力づくり教室事業	131
	総合型地域スポーツクラブ設立事業	132
	体育施設整備事業	133
§ 5	地域の文化を育み伝える環境づくり	
	文化財保護事業	134
	文化財活用事業	135
	史跡甲斐国分寺跡整備事業	136
	博物館特別展開催事業	137
第4節	将来像実現に向けた取り組み	138
§ 1	市民の主体的な活動を支えるしくみづくり	
	男女共同参画推進事業	139
	まちづくり推進事業	140
§ 2	市民と行政のパートナーシップづくり	
	市民ミーティング事業	141
§ 3	親しみやすく機能的な市役所づくり	
	広報発行事務	142
	ホームページ管理事務	143
	行政放送事業	144
	情報セキュリティ対策事業	145
	住基カード普及促進事業	146
	公有財産管理事業	147
§ 4	健全で安定した行財政基盤づくり	
	議会運営事業	148
	公平委員会事務	149
	監査委員事務	150
	行政改革推進事業	151
	住民税管理事務	152
	資産税管理事務	153
	市税等収税事業	154

契約事務	155
財務管理事業	156

施策の体系

I 実施計画の概要

1. 実施計画の目的

実施計画は、笛吹市総合計画基本構想に定められた基本理念の実現及び将来像達成を目指して、基本計画に位置づけられた施策展開の方向に沿って、平成22年度から平成24年度までの3年間に実施を予定する施策・主要事業を計画的に推進するとともに、長期的な見通しに立った行財政の健全な運営を図ることを目的に策定したものです。

2. 実施計画の性格及び期間

実施計画は、基本計画に照らし合わせて、その各施策に基づき、具体的に実施する事業を定めるものであり、取り組むべき事業の具体的な内容を示すことにより、予算編成の指針となるものです。

実施計画は、諸情勢の変化等に柔軟に対応できるよう、毎年度の予算と整合を図りながら毎年改定（ローリング方式）により見直しを進めていくことから、対象期間を3年間とし、事業の進行管理を行っていきます。また、計画立案、事業実施、評価、検証のマネジメントサイクルを活用することにより、限られた財源の中、効率的かつ効果的に事業を実施します。

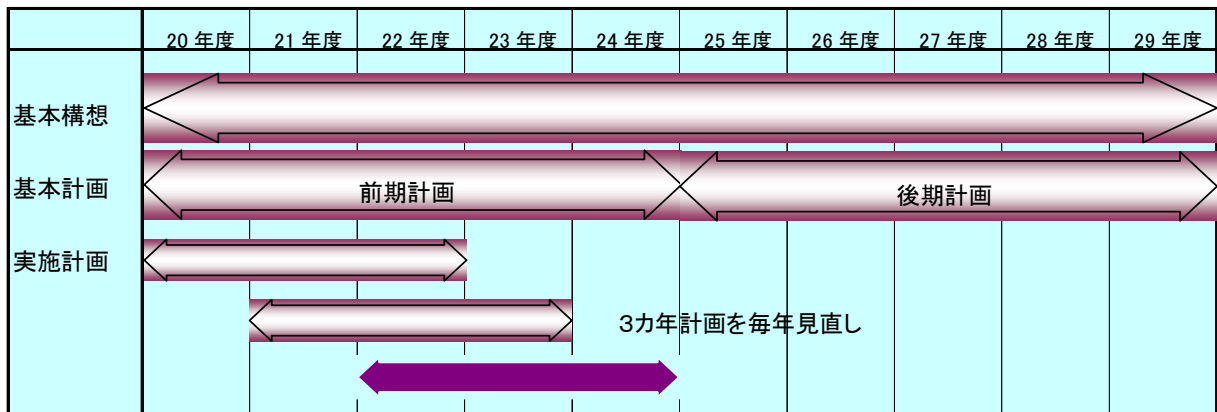
3. 総合計画上の位置付け

笛吹市総合計画基本構想は、まちづくりの基本理念や10年後の将来像およびそれらを達成するための必要なまちづくりの方向を定めたものです。

基本計画は、基本構想で示した将来像の実現に向け、4つのまちづくりの方向に沿った施策を明らかにし、本市における今後の市政運営の指針としての役割を果たすとともに、市民に市政の方向性を示し、市民と協働でまちづくりを行って行くための指標となるものです。

実施計画は、基本計画に位置づけられた、各施策の具体的な実施方法等を定めたものであり、総合計画の施策体系から事業の位置づけを明確にし、事業の必要性、有効性、効率性などの視点をもった評価につなげていきます。

また、本実施計画は前期計画目標年度のH24年度にかかる実施計画となることから、前期計画における締めくくり期間と見据え、基本構想で示した将来像実現を目指す後期基本計画策定に繋げていきます。



4. 実施計画の対象事業

実施計画の対象事業は、平成 22 年度～平成 24 年度の 3 年間に於いて、基本計画に基づき、実施が見込まれる主要事業及び達成目標を実現するための事業を対象とします。なお、人件費、公債費など経常的経費については、除いています。

また、平成 23, 24 年度における予算額については、確定したものではありません。

5. 実施計画の対象事業の事業費

(単位：千円)

まちづくりの方向及び施策		計画期間中の事業費
第1節	実り多い産業と、人々が集うまちづくり	8,103,349
§ 1	適切な土地利用を誘導する計画的なまちづくり	84,680
§ 2	人が行き交う道路・交通ネットワークづくり	2,929,208
§ 3	機能的で魅力ある市街地づくり	1,970,405
§ 4	人々の交流を盛んにするしくみづくり	298,781
§ 5	もてなしの心があふれる観光地づくり	105,343
§ 6	魅力的で安定性のある農林業づくり	2,609,031
§ 7	桃・ぶどう日本一を誇れる郷づくり	31,006
§ 8	活力ある地域経済づくり	61,500
§ 9	安定した就業環境づくり	13,395
第2節	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり	23,435,180
§ 1	安全・安心のための備えづくり	1,013,484
§ 2	便利で暮らしやすい生活環境づくり	5,368,847
§ 3	快適で美しい都市づくり	1,543,861
§ 4	限りある資源を大切にする循環型社会づくり	2,028,165
§ 5	憩いと癒しの空間づくり	270,962
§ 6	健やかで生きいきと暮らせる環境づくり	277,508
§ 7	安心して生み育てられる環境づくり	7,056,152
§ 8	高齢者がいつまでも元気で暮らせる環境づくり	348,750
§ 9	障害者の自立を支援する環境づくり	2,212,145
§ 10	暮らしの基礎を支える安心なしくみづくり	3,315,306
第3節	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり	3,177,065
§ 1	子どもたちの個性を尊重する学校づくり	2,236,229
§ 2	子どもの健やかな成長を支える環境づくり	69,639
§ 3	いつでも、どこでも、だれでも学べる環境づくり	424,128
§ 4	身近にスポーツを楽しめる環境づくり	92,994
§ 5	地域の文化を育み伝える環境づくり	354,075
第4節	将来像実現に向けた取り組み	420,766
§ 1	市民の主体的な活動を支えるしくみづくり	45,709
§ 2	市民と行政のパートナーシップづくり	0
§ 3	親しみやすく機能的な市役所づくり	134,344
§ 4	健全で安定した行財政基盤づくり	240,713
合 計		35,136,360

第1節

実り多い産業と、 人々の集うまちづくり

調和のとれた土地利用や機能的な都市基盤の整備、果樹や温泉をはじめとした産業の振興など各施策が有機的に結びつき、活力あるまちをつくります。

のばす Develop

にぎわい つなぐ
Network

やすらぎある快適な生活環境の向上や健康・福祉などの各施策につなげ、相乗効果を高めます。

支える
Assist

きらめきある人材育成、文化の伝承・創造のための活動を支えます。

総合計画実施計画

事業名	地籍管理事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施策	適切な土地利用を誘導する計画的なまちづくり
	具体的な施策	調和のとれた土地利用の推進

当該事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地籍調査完了地区において、地図訂正箇所が判明したときに修正します。 ・土地情報システムの維持管理をします。 ・土地情報システムのデータについて、1年間の分合筆・所有権移転等異動データを更新します。 ・土地情報システムのデータについて、申請があった時に交付します。
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・地図訂正が判明した時には、速やかに測量業務を業者に委託し、地権者の立会いと同意を得て修正します。 ・土地情報システムの維持管理については、年間を通じ、保守点検を業者に委託します。 ・土地情報データの更新については、税務課より昨年の登記済通知書を借用し、業者に委託します。 ・土地情報データの交付は、年間を通じ、申請があった時点で、紙・電子記録により交付します。
---------------------	--

手段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
地図訂正	訂正	訂正	訂正	
土地情報システム保守	保守	保守	保守	
土地情報データ更新	更新	更新	更新	
土地情報データの交付	交付	交付	交付	

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		地 方 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般		14,230 千円	14,000 千円		14,000 千円
事業費計			14,230 千円	14,000 千円	14,000 千円		

総合計画実施計画

事業名	地籍調査事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施 策	適切な土地利用を誘導する計画的なまちづくり
	具体的な施策	調和のとれた土地利用の推進

当該事業の概要

地籍調査は、現在の土地の形状や面積を測定し、地図や登記簿の登記内容を修正する事業です。

- ・地籍調査未実施の芦川町鶯宿地区の一筆調査は、地権者の境界確認と同意を得て測量業務を業者に委託し実施します。
- ※一地区2～3年かけて実施。初年度は測量のため多くの経費を要し、一筆調査には、地権者と推進委員が立ち会います。
- ・石和町・八代町・御坂町・境川町に残る未認証地区(測量終了後に国の承認をまだ得ていない地区)については、話し合いによる課題解決と認証請求を行います。

目標・手段・スケジュール

- ・平成22・23年度に芦川町鶯宿第1地区、平成24・25年度に鶯宿第2地区の一筆調査を県負担金事業で実施します。
- ・未認証地区(石和・八代・御坂・境川地内)の解消については、増加している地図訂正業務との調整を図り、できるだけ早期に石和市部地区の認証請求に着手します。

手段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
芦川町鶯宿第1・第2地区 一筆調査	第1 調査 ←-----→	第1 調査 ←-----→	第2 調査 ←-----→	
石和町市部認証請求	←-----→ 認証請求			
八代町米倉認証請求		←-----→ 認証請求		
御坂町上黒駒認証請求		←-----→ 認証請求		
境川町大黒坂認証請求		←-----→ 認証請求		

財 源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	14,940 千円	1,600 千円	14,000 千円	
地方債	千円	千円	千円			
その他	千円	千円	千円			
一 般	4,910 千円	2,000 千円	5,000 千円			
事業費計	19,850 千円	3,600 千円	19,000 千円			

総合計画実施計画

事業名	道整備交付金事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施策	人が行き交う道路・交通ネットワークづくり
	具体的な施策	幹線道路網の整備

当該事業の概要	市内への交通のアクセス性を向上するため、幹線道路網の整備を行う交付金事業で3路線を整備します。
	①市道石和8号線の用地取得、改良工事等を進め、歩道のある安全な道路整備を行います。 L=395m、W=5.5m(10.0m)
	②老朽化した砂原橋の架け替えと周辺道路の整備を行を行います。 L=1,400m、W=5.5m(10.0m)
	③市道御坂950号線の拡幅工事と歩道のある道路整備を行います。 L=500m、W=5.5m(9.75m)

目標・手段・スケジュール	(目標)
	・地元説明会を開催し、地権者や関係機関との協議調整を行い、平成26年度完成を目指します。
	・笛吹市へのアクセス向上、幹線道路網の整備します。

手段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
①市道石和8号線	用地・補償契約	用地補償・工事	工事	
	←→	←→	←→	
②市道石和13号線 (砂原橋)	測量設計用地調査	詳細設計・説明会・用地	用地・橋台工事	
	←→	←→	←→	
③市道御坂950号線	用地	用地・工事	工事	
	←→	←→	←→	

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名		
	財源内訳	国	県	102,800 千円	336,000 千円		622,000 千円	道整備交付金
		支	出					
		金	債	154,900 千円	319,200 千円		654,736 千円	
		所	の	千円	千円		千円	
一	般	12,281 千円	43,600 千円	76,200 千円				
	事業費計	269,981 千円	698,800 千円	1,352,936 千円				

総合計画実施計画

事業名	地域活力基盤創造交付金事業(緊急地方道路整備事業)	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施策	人が行き交う道路・交通ネットワークづくり
	具体的な施策	幹線道路網の整備

当該事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市内への交通のアクセス性を向上するため、幹線道路網の整備を行う補助事業であり、塩田金沢線(市道一宮3-300号線)の用地取得、改良工事等を進め、市民の交通の利便性を高め、幹線道路網の整備を行う事業です。中央道一宮御坂インターから主要地方道白井甲州線とを結ぶ道路であり、森林公園「金川の森」へ通じる道路としても活用していきます。 L=650m、W=12m(車道6m) ・笛吹川からの逆流による浸水を防止する。
----------------	---

目標・手段・スケジュール	(目標)																																	
	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹的な交通体系の形成に取り組むとともに、平成24年度完成を目指します。(平成12年度より第2期工事として工事着手) ・市内へのアクセス向上、幹線道路整備のため市道一宮3-300号線を整備します。 ・台風、ゲリラ豪雨時に起こる道路冠水や家屋の浸水などの被害を防ぎ道路利用者等の安全を確保する。 																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>手段</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">①塩田金沢線</td> <td>積算・工事・検査</td> <td>積算・工事・検査</td> <td>積算・工事・検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>←→</td> <td>←→</td> <td>←→</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②境川町大坪地内 浸水対策</td> <td>委託・用地補償</td> <td>用地補償・工事</td> <td>積算・工事・検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>←→</td> <td>←→</td> <td>←→</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考	①塩田金沢線	積算・工事・検査	積算・工事・検査	積算・工事・検査		←→	←→	←→		②境川町大坪地内 浸水対策	委託・用地補償	用地補償・工事	積算・工事・検査		←→	←→	←→											
	手段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考																													
①塩田金沢線	積算・工事・検査	積算・工事・検査	積算・工事・検査																															
	←→	←→	←→																															
②境川町大坪地内 浸水対策	委託・用地補償	用地補償・工事	積算・工事・検査																															
	←→	←→	←→																															

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国	県	支出金	57,800 千円	
地		方	債	73,300 千円	73,300 千円	80,000 千円
そ		の	他	千円	千円	千円
一		般		8,036 千円	8,900 千円	10,000 千円
事業費計				139,136 千円	140,000 千円	150,000 千円

総合計画実施計画

事業名	市営バス運行事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施 策	人が行き交う道路・交通ネットワークづくり
	具体的な施策	公共交通網の整備

当該事業の概要	<p>市営バスは、一宮地区の「一宮循環バス」、境川地区の「境川巡回バス」、芦川地区と石和温泉駅を結ぶ「芦川バス(鶯宿～石和温泉駅線)の3路線を運行しています。</p> <p>平成21年度は、市営バスを市民のニーズにあった公共交通として確立していくために、境川巡回バスを「さかいがわ農産物直売所」へ、一宮循環バスを「石和温泉駅」へ延伸しました。また、地域公共交通活性化・再生総合事業(国補事業)を活用し、路線の再編や新たな交通手段の確保等を含めた「笛吹市地域公共交通総合連携計画(以下「連携計画」という。)」を策定しました。</p> <p>今後は連携計画で設定した「市内公共交通空白地域の解消」、「交通弱者への移動手段の提供」、「市営バスの効率的な運行と他機関との連携」、「地域公共交通サービスの平準化」の、4つの目標達成に向けて取り組めます。</p>
	<p>○現在の市営バス路線</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一宮循環バス ・境川巡回バス ・芦川バス(芦川町鶯宿～石和温泉駅)

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準				
	単位	年度	22	23	24		
	市営バスの利用者数	人	18	31,000	43,300	43,900	44,600
	手段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考		
	① 一宮循環バス	市営バス運行(検証)	連携計画に即した公共交通網の構築				
	② 境川巡回バス	市営バス運行(検証)					
	③ 芦川バス	市営バス運行(検証)					
	④ 新交通システム	調査・検討	実証運行	実証運行			

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	1,878 千円	1,878 千円	1,878 千円	
		一 般	28,408 千円	28,408 千円	28,408 千円	
事業費計		30,286 千円	30,286 千円	30,286 千円		

総合計画実施計画

事業名	リニア対策事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施 策	人が行き交う道路・交通ネットワークづくり
	具体的な施策	公共交通網の整備

当該事業の概要	<p>平成2年、山梨リニア実験線の事業が着手され、笛吹市内においても、実験線の概要説明、地権者説明会、リニア本線の用地買収、関連地区リニア関連公共事業が実施されました。その後10年以上の事業停滞期を経過し、平成19年春、事業主体であるJR東海、鉄道・運輸機構等は一般区間工事開始を発表しました。</p> <p>これを受け市は、地元行政区・対策協議会等との調整、工事用道路の建設、関連公共事業の推進、安全対策、環境対策実施のための協議を行ってきました。笛吹市内全線で工事が着手されましたが、引き続き地元住民の立場にたった事業展開がなされるよう事業主体・山梨県等と充分協議を行ない、平成25年までの山梨リニア実験線全線工事の円滑な完成に努めていきます。</p> <p>また、平成37年に首都圏から中京圏までの営業線建設及び前倒しでの神奈川県から山梨県にかけての営業線開始を視野に入れたリニア中央新幹線建設推進活動及び峡東リニア圏域リニア中央新幹線駅誘致推進協議会等と連帯した活発な停車駅誘致活動を推し進めていきます。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>事業主体により発注されたリニア本線工事及び関連公共事業の円滑な推進を図るとともに、当該工事の影響により市民の安全・安心な生活に支障がないよう、関係機関と協議調整を行ない、的確な対応を行ないます。</p>																									
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>手段</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①リニア工事用道路建設</td> <td colspan="3">←————— 工 事 —————→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②緊急・事前水源枯渇対応</td> <td>← 協議調整</td> <td>調査・工事</td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③日陰対策調査協議調整</td> <td colspan="3">←————— 協 議 調 整 —————→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④各種事項の関係団体との協議</td> <td colspan="3">←————— 随時必要に応じ開催 —————→</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考	①リニア工事用道路建設	←————— 工 事 —————→				②緊急・事前水源枯渇対応	← 協議調整	調査・工事	→		③日陰対策調査協議調整	←————— 協 議 調 整 —————→				④各種事項の関係団体との協議	←————— 随時必要に応じ開催 —————→			
手段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考																						
①リニア工事用道路建設	←————— 工 事 —————→																									
②緊急・事前水源枯渇対応	← 協議調整	調査・工事	→																							
③日陰対策調査協議調整	←————— 協 議 調 整 —————→																									
④各種事項の関係団体との協議	←————— 随時必要に応じ開催 —————→																									

		実施年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
財 源	財源内訳	国 県 支 出 金	72,300 千円	500 千円	500 千円	地域活力基盤創造 交付金・リニア実 験線関連事業費補 助金
		地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般	606 千円	2,000 千円	2,000 千円	
	事業費計	72,906 千円	2,500 千円	2,500 千円		

総合計画実施計画

事業名	石和温泉駅周辺整備事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施策	機能的で魅力ある市街地づくり
	具体的な施策	市街地の整備

当該事業の概要	<p>石和温泉駅は、「桃・ぶどう日本一と温泉の郷」の鉄道玄関口であり、多くの観光客の交流拠点となっています。しかしながら、駅舎は築70年を経過し、老朽化が進んでいると同時に駐車場も不足し、パークアンドライド対応もできない状況です。</p> <p>またバリアフリーに対応していないほか、駅北口からの交通結節機能がまったくない状況にあります。</p> <p>このため、石和温泉駅舎の改築、南北自由通路、北口駅前広場等の整備を行い、機能的で美しい街並の形成とともに、市民の利便性の向上や今後増加が期待される観光客等交流拠点の充実化を進めていくものとします。</p> <p>平成21年度～平成26年度事業。</p>

目標・手段・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺整備検討委員会・周辺住民説明会の開催 ・駅北口の開設と広場の整備及び国道140号からのアクセス道路の整備 <ul style="list-style-type: none"> ①道路・北口広場の詳細設計 ②用地取得(測量・補償・事前協議) ③道路・北口広場工事 ・JRと駅舎改築 <ul style="list-style-type: none"> ①基本・実施設計 ②施工協定 																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>手段</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道路・駅広場詳細設計</td> <td>策定</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地取得(測量・設計・補償等)</td> <td>補償設計</td> <td>用地取得</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>道路・駅広場工事</td> <td></td> <td></td> <td>工事</td> <td>平成26年度まで</td> </tr> <tr> <td>JR駅舎改築協議</td> <td>本協定・設計協議</td> <td>実施設計</td> <td>駅舎工事</td> <td>平成26年度まで</td> </tr> </tbody> </table>	手段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考	道路・駅広場詳細設計	策定				用地取得(測量・設計・補償等)	補償設計	用地取得			道路・駅広場工事			工事	平成26年度まで	JR駅舎改築協議	本協定・設計協議	実施設計	駅舎工事
手段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考																					
道路・駅広場詳細設計	策定																								
用地取得(測量・設計・補償等)	補償設計	用地取得																							
道路・駅広場工事			工事	平成26年度まで																					
JR駅舎改築協議	本協定・設計協議	実施設計	駅舎工事	平成26年度まで																					

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国	県	支出金	111,300 千円	
地		方	債	217,600 千円	319,800 千円	487,900 千円
そ		の	他	千円	千円	千円
一		般		21,100 千円	35,600 千円	54,300 千円
	事業費計		350,000 千円	521,000 千円	795,000 千円	

総合計画実施計画

事業名	峡東都市計画事業石和駅前土地区画整理事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施策	機能的で魅力ある市街地づくり
	具体的な施策	市街地の整備

当該事業の概要	石和駅前土地区画整理事業は、石和温泉駅南側の約13haを施行地区とし、平成4年4月に事業認可を受け、都市計画道路3路線、石和温泉駅前広場、区画道路11路線、歩行者専用道路5路線、公園2箇所などの公共施設を計画的に整備し、環境の整った健全かつ良好なる市街地の形成を目的として、平成24年度の完成を目途に施行しています。
----------------	--

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準			
		単位	年度	22	23	24
	市街地のバリアフリー化された歩道延長	m	19	1,670	1,800	
	手段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考	
	公共施設整備	← 施工 →			駅広 Shelter 道路舗装他	
	出来形確認測量	← 測量・測設 →			測量・測設他	
	換地計画等準備	← 準備・協議 →			権利再調査 関係者協議他	
	字界変更 区画整理登記他	← 字界変更準備・手続 →		← 登記通知 →	関係者説明協議 議会議決他	
換地計画認可 換地処分他	← 関係図書作成他準備・縦覧他 →			← 換地処分・公告 →	関係図書作成 換地計画縦覧他	
清算金徴収交付	← 関係図書作成他準備・徴収交付 →			← 清算金調書 基準作成他 →		

財源	実施年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	国 県 支 出 金	13,000 千円	千円	千円	
	地 方 債	千円	千円	千円	地域活力基盤創造交付金(国庫補助金) ・地方道路整備事業 ・効果促進事業 地域活力基盤創造交付金(県補助金)
	そ の 他	千円	千円	千円	
	一 般	106,405 千円	120,000 千円	65,000 千円	
事業費計	119,405 千円	120,000 千円	65,000 千円		

総合計画実施計画

事業名	友好都市親善交流事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施策	人々の交流を盛んにするしくみづくり
	具体的な施策	内外の交流促進

当該事業の概要	<p>合併以前より友好関係にある、ドイツ、バート・メルгентハイム市、フランス、ニュー・サンジョルジュ市、中国、肥城市と相互に特産品のPRなど産業面の発展を視野に入れた国際交流を行っています。</p> <p>肥城市とは「備忘録」を、バート・メルгентハイム市とは「友好交流約定書」を取り交し、各分野での民間レベルでの交流を促進することを確認しました。また、平成21年4月には、合併後初めてバート市の公式使節団を迎え、4カ国による国際交流絵画展を開催するなど交流の輪を広げています。ニュー・サンジョルジュ市とは、友好継続の意向を確認済みなので、今後は調印を含めた交流方針についての検討を進めます。今後は、関係部署との連携を図りながら民間の主体性が発揮できるような事業展開を目指します。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="3">基準</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>22</th> <th>23</th> <th>24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>友好都市交流者数</td> <td>人</td> <td>19</td> <td>600</td> <td>650</td> <td>650</td> <td>650</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・使節団派遣・受入れ ・民間交流を基本に相互交流の促進 ・特産品、景勝地の紹介 ・インターネットによる学校間交流の検討 	基本計画の指標	単位	基準			年度	22	23	24	友好都市交流者数	人	19	600	650	650	650
基本計画の指標	単位			基準													
		年度	22	23	24												
友好都市交流者数	人	19	600	650	650	650											

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		地 方 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般		1,999 千円	7,500 千円		7,500 千円
事業費計			1,999 千円	7,500 千円	7,500 千円		

総合計画実施計画

事業名	石和地域間交流事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施策	人々の交流を盛んにするしくみづくり
	具体的な施策	内外の交流促進

当該事業の概要	<p>石和町地区老人クラブが館山市の老人クラブを訪問したことを発端に、昭和47年、旧石和町と千葉県館山市は姉妹都市として締結し、以後各種の交流を行っています。</p> <p>館山市立那古小学校修学旅行団の受入れ、館山市産業まつりへの出店、笛吹市ボランティアまつりへの館山市による海産物の出店、スポーツ少年団による交流などを行っています。</p> <p>また、平成19年7月「災害時における相互応援に関する協定」締結しました。</p> <p>那古小学校修学旅行団の受入れについては、平成14年から行っており、平成20年の受入れの折には石和北小学校の児童との交流会も行われるなど交流の広がりを見せています。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・那古小学校修学旅行の受入れ。(ぶどう狩り体験、庁内各担当との調整)(8月～10月) ・市内研修先の紹介(4月～8月) 												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>22</th> <th>23</th> <th>24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交流者数(人)</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>市内研修箇所数</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>	年度	22	23	24	交流者数(人)	100	100	100	市内研修箇所数	10	12	12
年度	22	23	24										
交流者数(人)	100	100	100										
市内研修箇所数	10	12	12										

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		地 方 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般		100 千円	100 千円		100 千円
事業費計			100 千円	100 千円	100 千円		

総合計画実施計画

事業名	観光イベント事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施策	人々の交流を盛んにするしくみづくり
	具体的な施策	交流機会の充実

当該事業の概要	<p>豊かな資源を活かして個性溢れた様々なイベントを開催します。4月の桃の花まつりに始まり、7月～8月にかけての笛吹川石和鶺鴒、8月には石和温泉花火大会や甲斐一宮大文字焼きなどを開催いたします。2月には日本一早いハウス桃園で花見が開園するなど、本事業を通して県内外より大勢のお客様が本市を訪れることにより、石和、春日居温泉郷の宿泊客の増加、日本一のもも、ぶどうなど特産品の消費に繋がっていきます。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準					
		単位	年度		22	23	24	
	観光客数	万人	20	360	360	370	375	
	宿泊客数	万人	20	110	110	113	116	
<p>笛吹市観光物産連盟によるイベント開催や旅館協同組合やJRとの連携を図り誘客に努めます。4月には観光客が各花見会場等を連絡するため二次交通の「桃の花バス」を運行します。</p>								
手段		平成22年度		平成23年度		平成24年度		備考
ハウス桃園杷花見、桃の花まつり		花祭り実施、検証	ハウス花見	花祭り実施、検証	ハウス花見	花祭り実施、検証	ハウス花見	
笛吹川石和鶺鴒、石和温泉夏まつり		会議 開催、検証		会議 開催、検証		会議 開催、検証		
芦川すずらん祭り、甲斐一宮大文字焼		開催 開催		開催 開催		開催 開催		

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	22,000 千円	2,000 千円	2,000 千円	
		一 般	97,075 千円	77,000 千円	77,000 千円	
事業費計		119,075 千円	79,000 千円	79,000 千円		

総合計画実施計画

事業名	地域環境資源活用推進事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施策	人々の交流を盛んにするしくみづくり
	具体的な施策	交流機会の充実

当該事業の概要	<p>桃・ぶどうなどの優れた農産物の一層なイメージアップと消費拡大並びに観光客の増加を図るため、生産基盤周辺の豊かな自然環境や農村環境の資源活用を行い、笛吹市八代町岡地内 四ツ沢川の河川敷へホテル水路や観賞用歩道等を整備してホテルの里づくり事業を進めます。また、本事業の実施にあわせ、四季を通じて美しい農村地帯や、多くの山々を有する自然豊かな本市を紹介することにより、県内外からの観光客の増加に繋がります。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準				
		単位	年度	22	23	24	
	ホテル観察者数※	人	19	100	1000	3,000	5,000
	※四ツ沢川のホテルの里における観察者数						
	<ul style="list-style-type: none"> ・旅館組合等関係機関と連携 ・ホテルの育成、生息できる環境の整備を市民グループと協働 ・間近で観察できるように、ほたるの水路、観賞用歩道、調整池の整備 						
	手段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考		
	地元・市民グループ会議	会議開催 ○ ○	会議開催 ○ ○	会議開催 ○ ○			
	ホテル鑑賞、交流	ホテル鑑賞 ↔	ホテル鑑賞 ↔	ホテル鑑賞 ↔			
	四ツ沢川管理	↔	↔	↔			

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地 方 債	0 千円	0 千円	0 千円	
		そ の 他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一 般	1,407 千円	1,500 千円	1,500 千円	
事業費計		1,407 千円	1,500 千円	1,500 千円		

総合計画実施計画

事業名	ハイキングコース整備事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施策	もてなしの心があふれる観光地づくり
	具体的な施策	資源を活かした観光メニューづくり

当該事業の概要	<p>本市は、58パーセントを山林で占められており、その美しい山々は、大勢の観光客が訪れ、美しい自然を満喫しています。市内の9つの山梨百名山を中心としたハイキングコースを計画的に整備を行い、安全なハイキングを楽しんでいただくために、本事業を進めるものです。</p> <p>登山道の整備、下草刈り、案内板の設置等を実施し、素晴らしい富士山の眺望や甲府盆地、南アルプスを堪能していただきます。また、観光客、宿泊客の増加に繋げていきます。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準			
		単位	年度	22	23	24
	ハイキングコース整備数	コース	20	4	4	4
	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイキングコースの紹介 市のホームページによる林道情報やマップによるコースの紹介をします。 JRとの連携で行う「JRいっしょに小さな旅トレッキング事業」により県外の登山者に笛吹市の山の紹介をします。 ・トレッキングマップの配布 観光案内所、旅館組合、各支所、山梨県観光物産連盟等の関係機関にマップを設置します。 観光キャンペーン時に配布します。 ・案内板の設置、修繕、下刈り 安全なトレッキングを体験していただくために、年次計画により案内板を設置、修繕をします。 ・点検 定期的にコース点検し、安心・安全なハイキングコースの整備を進めます。 					

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	30 千円	30 千円	30 千円	
		地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	40 千円	40 千円	40 千円	
		一 般	2,085 千円	2,085 千円	2,085 千円	
事業費計	2,155 千円	2,155 千円	2,155 千円			

総合計画実施計画

事業名	観光宣伝事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施策	もてなしの心があふれる観光地づくり
	具体的な施策	プロモーション活動の展開

当該事業の概要	<p>ラジオ・テレビなどのマスコミを活用したCM放送や、旅行雑誌や新聞におけるPRを進めます。また、首都圏などで桃の枝配りキャンペーン事業を展開するとともに、イベントポスターを作製し、市内各所や首都圏、JR各駅など観光スポット等に掲出することにより四季折々変化に富んだ本市の魅力のPRします。また都内旅行エージェントを招へいしてエキスカーションを開催し、果実狩り、温泉郷などを盛り込んだ旅行商品のPRを進めます。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準				
		単位	年度	22	23	24	
	観光ボランティア登録者数	人	20	20	23	26	30
	フィルムコミッションによる誘致件数	件	20	3	4	4	4
	<p>マスコミ、雑誌・新聞を活用した宣伝活動。年間を通してのキャンペーン活動。JR各駅へのポスター掲出や、観光エージェントへの観光商品の提供や情報発信。</p>						
	手段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考		
	観光スポットへの啓蒙、宣伝	←—————→					
	観光キャンペーン	実施	実施	実施			
		↔	↔	↔			

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円		
		地 方 債	千円	千円	千円		
		そ の 他	9,450 千円	千円	千円		
		一 般	27,428 千円	28,000 千円	28,000 千円		
	事業費計	36,878 千円	28,000 千円	28,000 千円			

総合計画実施計画

事業名	市長トップセールス事業(観光総務事務)	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施策	もてなしの心があふれる観光地づくり
	具体的な施策	プロモーション活動の展開

当該事業の概要	市長がトップセールスマンとして、日本一の桃・ぶどうなどの農産物の消費宣伝や石和・春日居温泉郷の紹介などの観光宣伝を行います。また近年は東アジアにおいても、桃・ぶどうなどの果実の消費、需要が高まっていることや、インバウンド対策として、海外におけるトップセールスも予定されています。
----------------	---

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準				
		単位	年度	22	23	24	
	観光客数	万人	20	360	360	370	375
	宿泊客数	万人	20	110	110	113	116
	国内の観光エージェントを訪問し、観光商品のセールスを行う他、観光情報を提供します。						
	手段	平成22年度	平成23年度	平成24年度		備考	
	トップセールス企画、立案	企画、立案 ↔ ↔	企画、立案 ↔ ↔	企画、立案 ↔ ↔			
	トップセールス実施	実施 ↔ ↔	実施 ↔ ↔	実施 ↔ ↔			

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円		
		地 方 債	千円	千円	千円		
		そ の 他	千円	千円	千円		
		一 般	2,000 千円	2,000 千円	2,000 千円		
事業費計		2,000 千円	2,000 千円	2,000 千円			

総合計画実施計画

事業名	県営畑地帯総合整備事業		
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり	
	施 策	魅力的で安定性のある農林業づくり	
	具体的な施策	農業基盤の整備	

当該事業の概要	<p>活力ある農業を振興するため、県営土地改良事業を積極的に導入し、農業の生産基盤の充実を図り、農業の活性化に努めるとともに、樹園地内の農道・水路・ほ場整備等の改修・整備を行います。</p> <p>事業主体は山梨県であり、市は事業費の25%を負担いたします。また、ほ場整備は事業費の6.5%を地権者から負担して頂きます。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業生産基盤を整備することにより、生産性の高い近代的農業の確立を図ります。 <p>(手段)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地権者の説明会の開催及び土地買収など契約内容の理解を求めます。 																								
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>整備地区</th> <th>事業実施年度</th> <th>全体事業費(千円)</th> <th>受益面積(ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>御坂大野寺地区</td> <td>(H11～H24)</td> <td>1,254,000</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>一宮北部地区</td> <td>(H14～H24)</td> <td>2,304,000</td> <td>122</td> </tr> <tr> <td>春日居第1地区</td> <td>(H17～H24)</td> <td>853,000</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>境川寺尾地区</td> <td>(H11～H24)</td> <td>1,498,000</td> <td>62.6</td> </tr> <tr> <td>笛吹川左岸地区</td> <td>(H20～H25)</td> <td>1,797,000</td> <td>360</td> </tr> </tbody> </table>	整備地区	事業実施年度	全体事業費(千円)	受益面積(ha)	御坂大野寺地区	(H11～H24)	1,254,000	66	一宮北部地区	(H14～H24)	2,304,000	122	春日居第1地区	(H17～H24)	853,000	54	境川寺尾地区	(H11～H24)	1,498,000	62.6	笛吹川左岸地区	(H20～H25)	1,797,000	360
整備地区	事業実施年度	全体事業費(千円)	受益面積(ha)																						
御坂大野寺地区	(H11～H24)	1,254,000	66																						
一宮北部地区	(H14～H24)	2,304,000	122																						
春日居第1地区	(H17～H24)	853,000	54																						
境川寺尾地区	(H11～H24)	1,498,000	62.6																						
笛吹川左岸地区	(H20～H25)	1,797,000	360																						

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		地 方 債	182,800 千円	145,800 千円	112,400 千円	
		そ の 他	2,343 千円	2,000 千円	1,200 千円	
		一 般	9,526 千円	5,700 千円	4,725 千円	
事 業 費 計		194,669 千円	153,500 千円	118,325 千円	県営担い手育成畑地帯総合整備事業	

総合計画実施計画

事業名	県営基幹農道整備事業(県営農林漁業揮発油税財源身替農道整備事業)	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施 策	魅力的で安定性のある農林業づくり
	具体的な施策	農業基盤の整備

当該事業の概要	<p>生産性の高い農業を確立するため、県営土地改良事業を積極的に導入し、農業の生産基盤の充実を図り、活性化に努めます。山梨県が計画を進めている高規格農道整備で、山間地域の優良農地を結ぶ基幹農道建設により、地域農産物の広域・高速出荷を可能とさせる農道整備事業で市の負担割合は事業費の1/6です。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>(目標) ・農業生産基盤を整備することにより、生産性の高い近代的農業の確立を図ります。</p> <p>(手段) ・高規格農道の整備が円滑に実施できるよう山梨県、地元関係者、工事請負業者等連携を図ります。 ・事業説明会の開催及び契約内容の理解を求めます。</p>												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>整備地区</th> <th>事業実施年度</th> <th>全体事業費(千円)</th> <th>受益面積(ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東八中央東地区</td> <td>(H8~H22)</td> <td style="text-align: right;">2,384,000</td> <td style="text-align: center;">155</td> </tr> <tr> <td>釈迦堂地区</td> <td>(H11~H22)</td> <td style="text-align: right;">2,289,100</td> <td style="text-align: center;">377</td> </tr> </tbody> </table>	整備地区	事業実施年度	全体事業費(千円)	受益面積(ha)	東八中央東地区	(H8~H22)	2,384,000	155	釈迦堂地区	(H11~H22)	2,289,100	377
整備地区	事業実施年度	全体事業費(千円)	受益面積(ha)										
東八中央東地区	(H8~H22)	2,384,000	155										
釈迦堂地区	(H11~H22)	2,289,100	377										

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名 県営基幹農道整備事業
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		地 方 債	6,400 千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般	425 千円	千円	千円	
	事業費計	6,825 千円	千円	千円		

総合計画実施計画

事業名	県営中山間地域総合整備事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施 策	魅力的で安定性のある農林業づくり
	具体的な施策	農業基盤の整備

当該事業の概要	<p>県が市の要望に基づき、地理的条件が悪く農業の生産条件が不利な地域を対象に、農業生産基盤と農村生活環境基盤の整備を総合的に行う事業であり、市は事業費の15%を負担します。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>(目標) ・農業生産基盤を整備することにより、生産性の高い近代的農業の確立を図ります。</p> <p>(手段) ・地権者の説明会の開催及び土地買収など契約内容の理解を求めます。 ・本事業が円滑に実施できるよう山梨県、地元関係者、工事請負業者等連携を図ります。</p>												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>整備地区</th> <th>事業実施地区</th> <th>全体事業費(千円)</th> <th>受益面積(ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>八代地区</td> <td>(H16～H23)</td> <td>1,314,000</td> <td>61.7</td> </tr> <tr> <td>芦川地区</td> <td>(H16～H24)</td> <td>1,223,000</td> <td>23.9</td> </tr> </tbody> </table>	整備地区	事業実施地区	全体事業費(千円)	受益面積(ha)	八代地区	(H16～H23)	1,314,000	61.7	芦川地区	(H16～H24)	1,223,000	23.9
整備地区	事業実施地区	全体事業費(千円)	受益面積(ha)										
八代地区	(H16～H23)	1,314,000	61.7										
芦川地区	(H16～H24)	1,223,000	23.9										

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		地 方 債		50,400 千円	35,000 千円	24,500 千円	
		そ の 他		445 千円	300 千円	千円	
		一 般		1,851 千円	1,580 千円	1,320 千円	
事 業 費 計		52,696 千円	36,880 千円	25,820 千円			

総合計画実施計画

事業名	農地・水・環境保全向上対策事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施 策	魅力的で安定性のある農林業づくり
	具体的な施策	農業基盤の整備

当該事業の概要	食糧の安定供給や多面的機能の発揮の基盤となる社会共通の資本である農地、農業用水路等の資源を、将来にわたり適切に保全し質的向上を図るため、市内の14の活動組織が市と協定を結び、施設の保守等環境保全に取り組めます。又、営農支援活動実施地域2地区では、減農薬、減化学肥料、除草剤を用いない機械除草などの環境負荷の軽減に対する取り組みを進めます。
----------------	---

目標・手段・スケジュール	(目標) <ul style="list-style-type: none"> ・農地・農業用水路等の資源が、将来にわたって保全されるように整備します。 ・環境保全に貢献する有機・特別栽培農産物等の産地形成、農産物のブランド化を進めます。 																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>手段</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>協定の締結</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">締結</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>活動組織への指導、助言</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">指導、助言</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>交付金の支払い</td> <td style="text-align: center;">支払い</td> <td style="text-align: center;">支払い</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考	協定の締結	締結				活動組織への指導、助言	指導、助言				交付金の支払い	支払い	支払い		
手段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考																	
協定の締結	締結																				
活動組織への指導、助言	指導、助言																				
交付金の支払い	支払い	支払い																			

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国	県	503 千円	503 千円	
地		方	千円	千円	千円	
そ		の	千円	千円	千円	
一		般	12,685 千円	12,685 千円	千円	
事業費計		13,188 千円	13,188 千円	千円		

総合計画実施計画

事業名	農業施設整備事業(農道・用排水路の維持管理及び新設事業)	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施策	魅力的で安定性のある農林業づくり
	具体的な施策	農業基盤の整備

当該事業の概要	<p>活力ある農業を振興するため、行政区からの要望事項・管理上必要とする農道・水路を改修を目的に政策的に整備の必要な箇所を精査し、その緊急性・費用対効果等も考えながら年次的に農業基盤を整備していきます。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="4">基準</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>22</th> <th>23</th> <th>24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市農道整備総延長(市単独)</td> <td>m</td> <td>19</td> <td>6,900</td> <td>9,900</td> <td>10,900</td> <td>11,900</td> </tr> </tbody> </table> <p>(目標) 農業生産基盤を整備することにより、生産性の高い近代的農業を進めていきます。</p> <p>(手段) 農業・用排水路の適切な管理、地域整備を行います。(地区要望の受付、関係部局との調整、現地での状況確認、工法検討、設計積算、住民との協議、調整、施工管理、検査、引渡)</p>	基本計画の指標	単位	基準				年度	22	23	24	市農道整備総延長(市単独)	m	19	6,900	9,900	10,900	11,900
基本計画の指標	単位			基準														
		年度	22	23	24													
市農道整備総延長(市単独)	m	19	6,900	9,900	10,900	11,900												

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国	県支出金	13,500 千円	13,500 千円	
地		方債	186,000 千円	186,000 千円	186,000 千円	
そ		の他	千円	千円	千円	
一		般	113,603 千円	113,000 千円	113,000 千円	
事業費計			313,103 千円	312,500 千円	312,500 千円	

総合計画実施計画

事業名	農地資源保全事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施 策	魅力的で安定性のある農林業づくり
	具体的な施策	農業基盤の整備

当該事業の概要	生産性の高い近代的な農業を振興するため、農道補修・水路補修・維持管理及び農村環境施設の維持・管理・修繕に関する総合的農業基盤整備事業を進めます。
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業生産基盤を整備することにより、生産性の高い近代的農業の確立を図ります。 ・農作業の軽減及び圃場における農業用水の確保に努めます。
---------------------	--

手段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
地元、地権者等説明会の開催	←	説明会開催	→	
農道補修、水路補修	←	補修工事	→	

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		地 方 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般		92,661 千円	92,600 千円		92,600 千円
事業費計			92,661 千円	92,600 千円	92,600 千円		

総合計画実施計画

事業名	鳥獣害防止対策強化事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施 策	魅力的で安定性のある農林業づくり
	具体的な施策	農業経営の支援

当該事業の概要	<p>有害鳥獣から農作物への被害を防止するため、各地区猟友会と密に連携を図るとともに、檻等の設置による捕獲を行います。さらには、農家へ獣害防止柵の原材料の支給、電気柵等の設置などを実施することにより、優良農地の確保、遊休農地の解消及び生産性の高い農業の確立を図ります。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・猪、カラスなどによる農産物の被害量の減少 ・鳥獣害被害地帯の実態調査 ・各地区猟友会への有害鳥獣捕獲の委託 ・原材料支給による獣害防止柵の設置 ・電気柵等の設置に対する補助金交付
---------------------	--

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		400 千円	625 千円		625 千円
		地 方 債		千円	千円	千円	
		そ の 他		千円	千円	千円	
		一 般		10,699 千円	8,375 千円	8,375 千円	
事 業 費 計		11,099 千円	9,000 千円	9,000 千円			

総合計画実施計画

事業名	バイオマスの郷づくり事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施 策	魅力的で安定性のある農林業づくり
	具体的な施策	農業経営の支援

当該事業の概要	<p>バイオマスタウンを形成すべく、従来の取り組みをベースとして、バイオマスの出し手、受け手の双方に新たな参加者を取り込み、より大きな取り組みへと発展させることを基本方針とする「バイオマスタウン構想」を活用します。目指すべき将来像を、『農と食と微生物を活かした地域ぐるみで取り組むバイオマスの郷づくり』として、バイオマスである生ごみや果樹せん定枝を堆肥化し、農業資源として農家、一般家庭へ提供するなど循環型社会の構築を図るとともに、有用微生物の活用による土づくり(無化学肥料有機栽培)を中心とした環境保全型農業を推進します。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>ボランティア団体による学習会の開催 3回 せん定枝粉碎機共同購入補助 20台 10,000,000円 一般家庭生ごみ収集システムの構築 2地区(300戸) 大型生ごみ処理機の設置による堆肥製造</p>																									
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">手段</th> <th style="width: 20%;">平成22年度</th> <th style="width: 20%;">平成23年度</th> <th style="width: 20%;">平成24年度</th> <th style="width: 20%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ボランティア団体による学習会</td> <td>開催 ↔</td> <td>開催 ↔</td> <td>開催 ↔</td> <td></td> </tr> <tr> <td>せん定枝粉碎機共同購入補助</td> <td colspan="3">補助 ←————→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般家庭生ごみ収集システムの構築</td> <td colspan="3">システムの構築 ←————→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生ごみ・堆肥・EM活性液の配布</td> <td colspan="3">配布 ←————→</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考	ボランティア団体による学習会	開催 ↔	開催 ↔	開催 ↔		せん定枝粉碎機共同購入補助	補助 ←————→				一般家庭生ごみ収集システムの構築	システムの構築 ←————→				生ごみ・堆肥・EM活性液の配布	配布 ←————→			
手段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考																						
ボランティア団体による学習会	開催 ↔	開催 ↔	開催 ↔																							
せん定枝粉碎機共同購入補助	補助 ←————→																									
一般家庭生ごみ収集システムの構築	システムの構築 ←————→																									
生ごみ・堆肥・EM活性液の配布	配布 ←————→																									

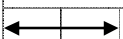

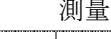
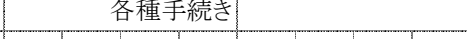
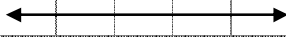
財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名		
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円	
		地 方 債		千円	千円		千円	
		そ の 他		千円	千円		千円	
		一 般		18,764 千円	18,000 千円		18,000 千円	
事業費計			18,764 千円	18,000 千円	18,000 千円			

総合計画実施計画

事業名	バイオマスセンター建設事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施策	魅力的で安定性のある農林業づくり
	具体的な施策	農業経営の支援

当該事業の概要	<p>笛吹市バイオマスタウン構想(平成19年度策定)におけるバイオマスセンターについては、笛吹市大型施設整備構想に位置づけられています。平成21年度において策定したバイオマスの変換技術、施設整備等に関する事業化計画に基づき、せん定枝や生ゴミ等の再生可能な有機資源の利活用を図るための基幹施設として、平成26年度の完成を目指してバイオマスセンター建設事業に取り組むものです。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>バイオマスセンター運用方針の策定 建設予定地関係地区等における説明会の開催 用地測量・各種事前協議手続き 用地買収</p>
---------------------	--

手段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
運用方針の策定	検討・策定 			
関係地区等説明会		開催 		
用地測量・各種事前協議手続き		測量 	各種手続き 	
用地買収			買収 	

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国	県	千円	千円	
地		方	千円	千円	380,000 千円	
そ		の	千円	千円	千円	
一		般	8,482 千円	18,750 千円	20,000 千円	
事業費計			8,482 千円	18,750 千円	400,000 千円	

総合計画実施計画

事業名	地産地消推進事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施策	魅力的で安定性のある農林業づくり
	具体的な施策	農業経営の支援

当該事業の概要	<p>市民の「食」に対する関心が高まるにつれ地産地消が注目されていますが、市では地域農業の活性化と新たな販売ルートの確保のため、地元で収穫された安全で安心な農産物を地元の消費者に提供することを目的に、市内に農産物直売所を4箇所、農産物加工センターを2箇所設置して「食」の地産地消事業をしています。</p> <p>また、平成21年度に笛吹市地産地消推進協議会を設置して策定した、笛吹市地産地消推進計画に沿った事業を展開するとともに、市内にある農産物直売所、加工センターと連携した「食のイベント」による地産地消の推進と、市内にある各種産業との連携を模索しながら、新たな地産地消を推進します。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>基本計画の指標</td> <td>単位</td> <td>基準 年度</td> <td>22</td> <td>23</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>直売所での売上高</td> <td>百万円</td> <td>18</td> <td>83</td> <td>227</td> <td>230</td> <td>240</td> </tr> </table> <p>〔目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消推進協議会の開催 2回 ・市内農産物直売所での地産地消推進イベントを開催して地産地消の推進をします。 年2回 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>手段</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>地産地消推進会議開催</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">開催</td> <td></td> </tr> <tr> <td>イベントの開催</td> <td>開催</td> <td>開催</td> <td>開催</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ ○ ○</td> <td>○ ○ ○</td> <td>○ ○ ○</td> <td></td> </tr> </table>	基本計画の指標	単位	基準 年度	22	23	24	直売所での売上高	百万円	18	83	227	230	240	手段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考	地産地消推進会議開催	開催				イベントの開催	開催	開催	開催			○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	
基本計画の指標	単位	基準 年度	22	23	24																													
直売所での売上高	百万円	18	83	227	230	240																												
手段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考																														
地産地消推進会議開催	開催																																	
イベントの開催	開催	開催	開催																															
	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○																															

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般	3,009 千円	3,000 千円	3,000 千円	
事業費計		3,009 千円	3,000 千円	3,000 千円		

総合計画実施計画

事業名	農地流動化地域総合推進事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施 策	魅力的で安定性のある農林業づくり
	具体的な施策	農業経営の支援

当該事業の概要	<p>認定農家及び担い手の育成及び遊休農地の解消を図るため、農用地の流動化を推進するとともに、借り手農家に対して奨励金を交付します。農業の規模拡大を目指す借り手農業者の登録、遊休農地の掘り起こし、農地の斡旋などを行い、利用権の設定を進めます。また、遊休農地の減少に努め、生産性の高い農業経営を進めます。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		単位	年度	基準	22	23	24
	認定農業者数	人	18	478	540	560	600	
	農地流動化率	%	18	5.4	6.4	6.7	6.9	
	遊休農地面積	ha	19	157	141	136	130	
	<ul style="list-style-type: none"> ・遊休農地調査、台帳作成 ・認定農業者絞込み ・遊休農地認定農業者、担い手農家への斡旋 ・流動化の推進、遊休農地解消、農村地帯自然景観の保全 							

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般	7,120 千円	7,200 千円	7,200 千円	
事業費計		7,120 千円	7,200 千円	7,200 千円		

総合計画実施計画

事業名	林道事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施策	魅力的で安定性のある農林業づくり
	具体的な施策	林業の新たな展開

当該事業の概要	<p>平成5年度旧芦川村鶯宿及び中芦川を結ぶ連絡道として地元要望の林道開設事業に着手しました。林業就業者などから間伐、伐採などの作業や木材の搬出のために林道の整備が強く求められています。芦川地区の林野率は90%を超えているとともに、当地区の主要産業である林業を振興するため、計画的に林道の整備を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備計画延長L=6,350m 幅員4.0m ・補助金/国50%、県15%
----------------	---

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準	22	23	24	
		単位	年度				
	間伐済みの面積率	%	19	6.15	7.54	8.15	8.76
	(目標) ・間伐、枝きりなど森林施策が効率的に実施するとともに、林業全般の活性化を進めます。						
	手段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考		
	林業者(地権者)説明会	説明会	説明会	説明会			
	測量設計	設計	設計	設計			
	林道工事	工事	工事	工事			
	予定開設延長(内事業の進捗率)	300m(56%)	380m(62%)	400m(68%)			

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	国	県	47,091 千円	47,091 千円	47,091 千円	
	地	方	31,600 千円	31,600 千円	31,600 千円	森林管理道開設整備事業
	そ	の	千円	千円	千円	
	一	般	93 千円	93 千円	93 千円	
事業費計		78,784 千円	78,784 千円	78,784 千円		

総合計画実施計画

事業名	農産物等消費拡大宣伝事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施策	桃・ぶどう日本一を誇る郷づくり
	具体的な施策	桃・ぶどうの販路拡大

当該事業の概要	<p>笛吹市で生産された農産物を首都圏を中心に、さらには海外市場も視野において各種イベント事業の開催や大手スーパー、百貨店、などに出店し、消費及び販路の拡大を目的に果実等の消費拡大宣伝を実施いたします。また、旅館組合、JAなど各種団体などとも連携を図りながら桃、ぶどうの消費拡大宣伝を通して本市の紹介を行うとともに、観光客、宿泊客の増加にも繋げていきます。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準		22	23	24
		単位	年度				
	桃の収穫量	t	18	22,900	22,900	22,900	23,000
	ぶどうの収穫量	t	18	14,400	14,400	14,400	14,500
	桃等の海外出荷量	t	18	70	100	105	110
	<ul style="list-style-type: none"> 消費宣伝箇所の開拓 関係機関等協議 消費宣伝の実施 						
	手段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考		
	消費宣伝事業の開催	開催 ←→	開催 ←→	開催 ←→			
	イベントの準備	準備 ↔	準備 ↔	準備 ↔			

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	国	県	千円	千円	千円	
	支	出				
	金	金				
	地	方	千円	千円	千円	
債	債					
そ	の	千円	千円	千円		
の	他					
一	般	7,456 千円	8,000 千円	8,000 千円		
事	業	7,456 千円	8,000 千円	8,000 千円		
費	計					

総合計画実施計画

事業名	地域ブランド化推進事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施 策	桃・ぶどう日本一を誇る郷づくり
	具体的な施策	桃・ぶどうの販路拡大

当該事業の概要	<p>JAなど関係諸団体と連携し、既存の地域ブランドを活かしつつ「笛吹ブランド」を確立し、本市で生産されている農産物のPR活動を展開するとともに、「桃、ぶどう日本一の郷」を象徴できるような事業展開と農産物に付加価値をつけるため、加工品の開発に取り組みます。また、新たな特産品の発掘、開発、研究を進め、農産物のブランド化を推進します。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="4">基準</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>22</th> <th>23</th> <th>24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桃の収穫量</td> <td>t</td> <td>18</td> <td>22,900</td> <td>22,900</td> <td>23,000</td> </tr> <tr> <td>ぶどうの収穫量</td> <td>t</td> <td>18</td> <td>14,400</td> <td>14,400</td> <td>14,500</td> </tr> <tr> <td>桃の海外出荷量</td> <td>t</td> <td>18</td> <td>70</td> <td>100</td> <td>110</td> </tr> </tbody> </table> <p>・消費宣伝箇所の開拓 ・関係機関等協議 ・消費宣伝の実施</p>	基本計画の指標	単位	基準				年度	22	23	24	桃の収穫量	t	18	22,900	22,900	23,000	ぶどうの収穫量	t	18	14,400	14,400	14,500	桃の海外出荷量	t	18	70	100	110
基本計画の指標	単位			基準																									
		年度	22	23	24																								
桃の収穫量	t	18	22,900	22,900	23,000																								
ぶどうの収穫量	t	18	14,400	14,400	14,500																								
桃の海外出荷量	t	18	70	100	110																								

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般	2,550 千円	2,500 千円	2,500 千円	
事業費計		2,550 千円	2,500 千円	2,500 千円		

総合計画実施計画

事業名	企業立地推進助成金事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施策	活力ある地域経済づくり
	具体的な施策	優良企業の誘致

当該事業の概要	農用地との調整を図りながら、農工団地を活用した産業用地を確保し、企業立地促進助成に該当する優良な企業の誘致を進めます。また、市内において製造業等の立地事業を行う企業に対して助成することにより、企業立地を促進し、雇用機会の拡大を図り、就業環境の整備と地域経済の活性化を進めます。
----------------	--

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標	単位	基準 年度	22	23	24
	農工団地入居企業数	企業	18	23	25	27
	平成20年5月29日変更した笛吹市農村地域工業団地等導入実施計画に基づき、製造業等の優良企業の誘致を進めます。					
	手段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考	
	優良企業誘致促進	誘致				
	企業決定、入居	入居				

財源	実施年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
	地 方 債	千円	千円	千円	
	そ の 他	千円	千円	千円	
	一 般	千円	40,000 千円	20,000 千円	
	事業費計	千円	40,000 千円	20,000 千円	

総合計画実施計画

事業名	小規模企業者小口資金融資促進事業		
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり	
	施策	活力ある地域経済づくり	
	具体的な施策	中小企業の自立促進	

当該事業の概要	<p>小規模企業者に対する小口資金融資促進のための利子補助を支援する事により小規模企業者の自立促進を図るとともに、商工業の振興に寄与する事業です。</p> <p>小規模企業者小口資金融資促進事業　－　従業員20名以下(商業及びサービス業5名以下)の小規模企業者を対象とした限度額750万円の無担保無保証の融資制度で、保証金及び利子の補助金のほか、損失補償金、審査委員会経費、保証業務を行う信用保証協会の運営の補助を行います。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="2">基本計画の指標</td> <td rowspan="2">単位</td> <td colspan="2">基準</td> <td rowspan="2">22</td> <td rowspan="2">23</td> <td rowspan="2">24</td> </tr> <tr> <td>年度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小口資金融資件数</td> <td>件</td> <td>18</td> <td>14</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </table> <p>広報紙等により、融資制度の周知をします。年4回の小口資金審査委員会を開催する中で融資関係書類を山梨県信用保証協会に提出するとともに、融資を受けた小規模企業者に1.5%を上限として利子補給を行います。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>手段</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">小口資金融資申請、決定</td> <td colspan="3">申請、決定</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">審査委員会開催</td> <td colspan="3">開催</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">小口資金融資利子補給</td> <td colspan="3">利子補給</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td>○</td><td>○</td> </tr> </tbody> </table>	基本計画の指標	単位	基準		22	23	24	年度		小口資金融資件数	件	18	14	4	4	4	手段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考	小口資金融資申請、決定	申請、決定				○	○	○	○	審査委員会開催	開催				○	○	○	○	小口資金融資利子補給	利子補給						○	○
基本計画の指標	単位			基準					22	23	24																																						
		年度																																															
小口資金融資件数	件	18	14	4	4	4																																											
手段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考																																													
小口資金融資申請、決定	申請、決定																																																
	○	○	○		○																																												
審査委員会開催	開催																																																
	○	○	○		○																																												
小口資金融資利子補給	利子補給																																																
			○		○																																												

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般	500 千円	500 千円	500 千円	
	事業費計	500 千円	500 千円	500 千円		

総合計画実施計画

事業名	シルバー人材センター負担金事業	
施策体系	まちづくりの方向	実り多い産業と人々の集うまちづくり
	施策	安定した就業環境づくり
	具体的な施策	安定した就業への支援

当該事業の概要	<p>雇用就業機会の充実のため、健康で働く意欲のある高齢者に臨時的、短期的な就労の場を提供するシルバー人材センター事業を支援し、生きがいの充実、社会参加の促進を図ります。</p> <p>また、地域の特色を生かした就業の確保のため、農作業援農システムの積極的な取り組みや福祉、家事援助事業を推進するための支援を行います。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">基本計画の指標</th> <th style="text-align: center;">単位</th> <th style="text-align: center;">基準 年度</th> <th style="text-align: center;">22</th> <th style="text-align: center;">23</th> <th style="text-align: center;">24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: left;">シルバー人材センターへの登録者数</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">18</td> <td style="text-align: center;">423</td> <td style="text-align: center;">470</td> <td style="text-align: center;">480</td> </tr> </tbody> </table> <p>高齢者の雇用就業機会の充実や地域の特色を生かした就業の確保などを推進するためシルバー人材センターを支援します。</p>	基本計画の指標	単位	基準 年度	22	23	24	シルバー人材センターへの登録者数	人	18	423	470	480
基本計画の指標	単位	基準 年度	22	23	24								
シルバー人材センターへの登録者数	人	18	423	470	480								

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		地 方 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般		11,400 千円	1,045 千円		950 千円
事業費計			11,400 千円	1,045 千円	950 千円		

第2節

環境にやさしく、 安心して健やかに 暮らせるまちづくり

安全・安心なまちづくり、自然環境と生活環境の調和のとれた快適に過ごせるまちづくり、保険や医療、福祉の連携などの各施策が有機的に結びつき、安心して健やかに暮らせるまちをつくります。

のばす Develop

やすらぎ

つなぐ Network

きらめきのある子ども達が育つ環境づくり、生涯学習活動や生涯スポーツ活動、文化の伝承や創造などの各施策につなげ、相乗効果を高めます。

支える

Assist

にぎわいと魅力ある産業や活力ある地域経済を支えます。

総合計画実施計画

事業名	危険物等安全指導事務	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	安全・安心のための備えづくり
	具体的な施策	災害への対策

当該事業の概要	<p>危険物に起因する災害防止を図るため、消防法に定める危険物施設等について、危険物の設置の許可、予防規程の認可、完成検査、危険物タンクの事前検査等を行うとともに、危険物施設への立入検査により、危険物施設の安全等の指導を進めます。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>基本計画の指標</td> <td>単位</td> <td>基準 年度</td> <td>22</td> <td>23</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>危険物施設の査察件数</td> <td>件</td> <td>21</td> <td>260</td> <td>270</td> <td>280</td> <td>290</td> </tr> </table> <p>市内にある危険物施設345施設の査察について、平成21年度は260施設の査察を実施しました。平成22年度も査察を実施していきますが、前年に比べ10件程度多く査察できるように努力します。また、危険物施設等の許可及び変更許可申請時に事故防止の観点から法に照らした安全指導を徹底するとともに、設置済み危険物施設への立入検査を行うことにより違反を是正し、より安全な危険物施設とし、事故を未然に防止します。</p>	基本計画の指標	単位	基準 年度	22	23	24	危険物施設の査察件数	件	21	260	270	280	290
基本計画の指標	単位	基準 年度	22	23	24									
危険物施設の査察件数	件	21	260	270	280	290								

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	450 千円	500 千円	500 千円	
		一 般	98 千円	50 千円	50 千円	
事業費計		548 千円	550 千円	550 千円		

総合計画実施計画

事業名	火災予防啓発事務	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	安全・安心のための備えづくり
	具体的な施策	災害への対策

当該事業の概要	<p>火災予防運動等、あらゆる機会をとらえて、市民に対し防火意識と防火対策の必要性を認識させ、火災予防の推進を図ります。</p> <p>また、住宅用火災警報器の設置を促進させ、急増している住宅火災による死者の減少を図るとともに、市民の生命、財産を守ります。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">年度</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border: none;">指標</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">単位</td> <td style="border: none;">22</td> <td style="border: none;">23</td> <td style="border: none;">24</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">広報等による広報回数</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">回</td> <td style="border: none;">4</td> <td style="border: none;">5</td> <td style="border: none;">5</td> </tr> </table>		年度				指標		単位	22	23	24	広報等による広報回数		回	4	5	5
	年度																	
指標		単位	22	23	24													
広報等による広報回数		回	4	5	5													
	<p>広報ふえふき、笛吹市ホームページ等を活用し、火災予防や住宅用火災警報器の設置を呼びかけるとともに、住宅用火災警報器の設置普及促進用の、のぼり旗を事業所等へ配布します。</p> <p>また、火災予防運動中には、防災無線放送や大型物品販売店舗での店内放送を活用した広報活動を実施します。</p>																	

		実施年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
財源	財源内訳	国 県 支 出 金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地 方 債	0 千円	0 千円	0 千円	
		そ の 他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一 般	1,265 千円	965 千円	965 千円	
	事業費計	1,265 千円	965 千円	965 千円		

総合計画実施計画

事業名	防火対象物安全指導事務	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	安全・安心のための備えづくり
	具体的な施策	災害への対策

当該事業の概要	防火対象物への立入検査を通じ、防火管理及び消防用設備等の適正な維持管理について指導を行い、適法で安全な建物とすることにより、火災及びその被害を低減させるとともに、関係者に対する防火意識を向上させ、防火管理体制の強化を図ります。
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">年度</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border: none;">指標</td> <td style="border: none;">単位</td> <td style="border: none;">22</td> <td style="border: none;">23</td> <td style="border: none;">24</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">防火対象物に対する査察件数</td> <td style="border: none;">件</td> <td style="border: none;">420</td> <td style="border: none;">430</td> <td style="border: none;">440</td> </tr> </table>		年度				指標	単位	22	23	24	防火対象物に対する査察件数	件	420	430	440
	年度															
指標	単位	22	23	24												
防火対象物に対する査察件数	件	420	430	440												
	防火対象物の査察については、平成21年度に410施設の査察を実施しました。平成22年度からも査察を実施していきますが、前年に比べ10件程度多く査察できるように努力します。また、年次計画に基づき、市内防火対象物の立入検査を実施し、口頭及び立入検査結果通知書による法令上の不備欠陥事項の改善指導を行い、防火対象物等の安全指導に努めます。															

		実施年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
財源	財源内訳	国 県 支 出 金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地 方 債	0 千円	0 千円	0 千円	
		そ の 他	1 千円	1 千円	1 千円	
		一 般	451 千円	451 千円	451 千円	
	事業費計	452 千円	452 千円	452 千円		

総合計画実施計画

事業名	備蓄品整備事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	安全・安心のための備えづくり
	具体的な施策	災害への対策

当該事業の概要	<p>災害発生時における災害救急体制について、消防本部や警察署等関係機関と連携を図りながら万全を期するとともに、大規模地震災害時に備え、備蓄食糧を購入します。</p> <p>○備蓄食糧:アルファー米(10,000食)、長期保存(5年間)が可能であり、年次計画で備蓄していく必要があります。大規模災害に備え、緊急時の食糧を備蓄します。</p> <p>○備蓄毛布:年次計画に基づき備蓄します。</p> <p>○備蓄トイレ(便袋):年次計画に基づき備蓄します。便袋は水を使わず、焼却可能な物で、避難所等の既存トイレ便器に被せて使用ができます。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標	単位	基準 年度	22	23	24
	地域防災訓練参加延べ人数	人	20	13,380	13,800	14,400
	年度、目標	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標	
	備蓄品	食 料	52,950食	53,600食	54,000食	54,000食
	毛 布	11,900枚	11,900枚	11,900枚	11,900枚	
	トイレ(便袋)	18,000枚	24,000枚	30,000枚	60,000枚	
※備蓄食糧は賞味期限に基づき、年次ごとに入替をしていきます。						

財 源	実施年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	国 県 支 出 金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地 方 債	千円	0 千円	0 千円	
	そ の 他	千円	0 千円	0 千円	
	一 般	3,600 千円	3,600 千円	4,800 千円	
	事業費計	3,600 千円	3,600 千円	4,800 千円	

総合計画実施計画

事業名	耐震性貯水槽施設整備事業(消防施設整備事業)	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	安全・安心のための備えづくり
	具体的な施策	災害への対策

当該事業の概要	<p>水利事情の悪い地域や山林を背後に抱える地域の消防水利を確保するため、地域の要望により耐震性貯水の設置を計画し、整備していく事業です。</p> <p>地域要望を調査しながら、計画的に整備するとともに、耐震性貯水槽設備60トン2基、40トン1基以上の整備をすることにより、市民のかけがえのない生命、財産を守り、安全で安心な生活が営まれるよう整備を進めます。</p>

目標・手段・スケジュール	<p>(目標)</p> <p>耐震性貯水槽設置件数3基/年 6月～8月 設計 10月～2月 工事 H22年度～H24年度整備計画 H22年度・一宮西小グラウンドに60tの飲料水兼用耐震性貯水槽を、御坂町下野原地内40t耐震性貯水槽を設置する。 H23年度以降・地区要望に基づき、事業を実施していきます。</p>																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度、目標</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貯水槽</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐震性貯水槽(40t)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>耐震性貯水槽(60t)</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>飲料水兼貯水槽(60t)</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	年度、目標	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標	貯水槽					耐震性貯水槽(40t)	1	1	1	2	耐震性貯水槽(60t)	0	2	2	4	飲料水兼貯水槽(60t)	1	0	0
年度、目標	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標																					
貯水槽																									
耐震性貯水槽(40t)	1	1	1	2																					
耐震性貯水槽(60t)	0	2	2	4																					
飲料水兼貯水槽(60t)	1	0	0	1																					

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		29,860 千円	17,325 千円		17,325 千円
		地 方 債		25,688 千円	5,486 千円		5,486 千円
		そ の 他		千円	0 千円		0 千円
		一 般		1,352 千円	289 千円		289 千円
	事業費計		56,900 千円	23,100 千円	23,100 千円	消防防災施設整備費補助事業	

総合計画実施計画

事業名	消防団施設管理事業(消防施設整備事業)	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	安全・安心のための備えづくり
	具体的な施策	災害への対策

当該事業の概要	<p>本市消防団詰所は98箇所ありますが、耐用年数をはるかに経過した建築物が多く、その更新を計画的に進めます。また、本市では115台(指揮車含む)の消防車両を保有していますが、年次計画に沿って整備を進めます。</p> <p>また、それぞれ年次計画に沿って事業を進めていきますが、消防団詰所、消防車両などは分団内部統合なども視野に入れながら整備を進めます。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>詰所・車庫整備 1棟/年 消防車両整備3台/年</p> <p>平成22年度整備計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ポンプ車(石和) ○積載車(小型動力ポンプ積載車 一宮) ○水槽車(春日居) ○消防団詰所・車庫1棟(一宮) <p style="margin-left: 20px;">6月～8月 設計 10月～2月</p>
---------------------	--

		実施年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
		国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
財 源	財源内訳	地 方 債	59,150 千円	54,000 千円	54,000 千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般	3,200 千円	2,900 千円	2,900 千円	
		事業費計	62,350 千円	56,900 千円	56,900 千円	

総合計画実施計画

事業名	青色防犯パトロールカー事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	安全・安心のための備えづくり
	具体的な施策	災害への対策

当該事業の概要	<p>地域犯罪を未然に防止し、市民が快適に生活できるよう2台のパトロールカーが各2名のパトロール員の編成により巡回するとともに、犯罪のない安心・安全なまちづくりを進めます。</p> <p>また、市内の環境美化を推進するため、市内の不法投棄防止のパトロールを実施し、ゴミのない美しい住みやすいまちづくりを進めます。</p> <p>○予算 人件費 6064千円 燃料費 643千円 修繕費 400千円</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>青色安全パトロールカー2台により、週4日間(月・火・木・金)の巡回を計画しています。</p> <p>○不法投棄監視パトロール ・監視エリア:街路、中央道側道、山間部及び林道、河川、公共施設(公園含む) ・青色防犯パトロールによる不法投棄防止パトロール時間:午前8時30分～正午</p> <p>○青色防犯パトロール ・青色防犯パトロールは、教育委員会、警察署と連携を図り、防犯に努めます。 ・青色防犯パトロールによる防犯防止パトロール時間:午後1時～午後5時</p>																																
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">種別 地域</th> <th>不法投棄防止パトロール回数(午前)</th> <th>防犯防止パトロール回数(午後)</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>石 和</td><td>2</td><td>4</td><td>6</td></tr> <tr><td>御 坂</td><td>2</td><td>4</td><td>6</td></tr> <tr><td>一 宮</td><td>2</td><td>4</td><td>6</td></tr> <tr><td>八 代</td><td>2</td><td>4</td><td>6</td></tr> <tr><td>境 川</td><td>2</td><td>3</td><td>5</td></tr> <tr><td>春日居</td><td>2</td><td>3</td><td>5</td></tr> <tr><td>芦 川</td><td>2</td><td>2</td><td>4</td></tr> </tbody> </table>	種別 地域	不法投棄防止パトロール回数(午前)	防犯防止パトロール回数(午後)	計	石 和	2	4	6	御 坂	2	4	6	一 宮	2	4	6	八 代	2	4	6	境 川	2	3	5	春日居	2	3	5	芦 川	2	2	4
種別 地域	不法投棄防止パトロール回数(午前)	防犯防止パトロール回数(午後)	計																														
石 和	2	4	6																														
御 坂	2	4	6																														
一 宮	2	4	6																														
八 代	2	4	6																														
境 川	2	3	5																														
春日居	2	3	5																														
芦 川	2	2	4																														

財 源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般	7,107 千円	7,107 千円	7,107 千円	
事 業 費 計		7,107 千円	7,107 千円	7,107 千円		

総合計画実施計画

事業名	防災無線デジタル統合事業(防災行政無線整備事業)	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	安全・安心のための備えづくり
	具体的な施策	災害への対策

当該事業の概要	<p>防災行政無線は、地震・火災等災害時、行方不明者の捜索、気象通報等市民の生命・財産を守るため緊急情報の伝達や平常時の行政情報の伝達手段として活用されていますが、現在使用のアナログ防災行政無線を、21年度から3年間で年次的にデジタル化統合整備を進めていきます。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>施設整備は未統合の芦川地区を優先することとし、施設機器の老朽化の程度等により年次的に進めていきます。</p> <p>(同報系の整備計画)</p> <p>○21年度 親局</p> <p>○22年度 中継局・一宮地区・春日居地区・芦川地区</p> <p>○23年度 石和地区・御坂地区・八代地区・境川地区</p> <p>(移動系の整備計画)</p> <p>○21年度～22年度 統制局</p> <p>○22年度～23年度 全地区</p>																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>手段</th> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">運用検討・地区説明</td> <td>運用検討 ←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">同報系整備</td> <td>親局・中継局</td> <td>子局</td> <td>子局</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">移動系整備</td> <td></td> <td>統制局</td> <td>移動局</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手段	平成21年度	平成22年度	平成23年度	備考	運用検討・地区説明	運用検討 ←	→				←	→		同報系整備	親局・中継局	子局	子局			←	→		移動系整備		統制局	移動局			←	→	
手段	平成21年度	平成22年度	平成23年度	備考																													
運用検討・地区説明	運用検討 ←	→																															
		←	→																														
同報系整備	親局・中継局	子局	子局																														
		←	→																														
移動系整備		統制局	移動局																														
		←	→																														

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		地 方 債		309,000 千円	322,800 千円		0 千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般		16,332 千円	17,091 千円		0 千円
	事業費計		325,332 千円	339,891 千円	0 千円		

総合計画実施計画

事業名	交通安全対策事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	安全・安心のための備えづくり
	具体的な施策	防犯・交通安全対策

当該事業の概要	<p>高齢化の進行は、全国的な問題であり、65歳以上の高齢者が関与する交通事故が増加傾向にあるため、高齢者の交通事故防止への取り組みとして、高齢者が安全かつ安心して外出等できるよう、交通安全教室を開催します。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="3">基準</th> <th>22</th> <th>23</th> <th>24</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高齢者交通安全教室開催数</td> <td>回</td> <td>19</td> <td>36</td> <td>45</td> <td>47</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>高齢者参加実践型教室開催数</td> <td>回</td> <td>20</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>①社会福祉協議会等と連携して、高齢者の事故が居住地の近くで発生することが多いことから、地域の公民館等、又はふれあいサロンにおいて、交通安全教室を開催いたします。(年/45回)</p> <p>②身体機能の変化を認識してもらい、安全行動を実践するため、参加実践型(実技)高齢者交通安全教室を開催します。(年/3回)</p>	基本計画の指標	単位	基準			22	23	24	年度						高齢者交通安全教室開催数	回	19	36	45	47	49	高齢者参加実践型教室開催数	回	20	2	3	4	5
基本計画の指標	単位			基準			22	23	24																				
		年度																											
高齢者交通安全教室開催数	回	19	36	45	47	49																							
高齢者参加実践型教室開催数	回	20	2	3	4	5																							

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		地 方 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般		998 千円	998 千円		998 千円
事業費計			998 千円	998 千円	998 千円		

総合計画実施計画

事業名	救急隊研修事務	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	安全・安心のための備えづくり
	具体的な施策	救急医療体制の整備

当該事業の概要	<p>現在、消防本部には救急救命士の資格取得者が15人います。平成21年度には研修所に2人派遣しているため、平成22年4月には救急救命士が17人になる見込みです。</p> <p>平成21年度下半期からは、管内救急隊4隊の全てを高規格救急車とするとともに、常時救急救命士が搭乗できる体制を整えておりますが、平成22年度は新たに救急救命士を1人養成し、18人体制とすることにより、各種研修及び実習出向時の補勤要員の充実を図ります。</p> <p>さらには、年次計画により平成23年度にも救急救命士を1人養成することにより、通信指令室での口頭指導(テレフォンCPR)の充実など効果的な救急救命士の運用を行うために、計画的に救急救命士を養成し、市民が安心・安全な生活を送ることができるよう努めます。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">年度</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">22</td> <td style="border: none;">23</td> <td style="border: none;">24</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">指標</td> <td style="border: none;">単位</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border: none;">救急救命士数</td> <td style="border: none;">人</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">18</td> <td style="border: none;">19</td> <td style="border: none;">20</td> </tr> </table>		年度		22	23	24	指標	単位					救急救命士数	人		18	19	20
	年度		22	23	24														
指標	単位																		
救急救命士数	人		18	19	20														
	<p>救急救命士の資格取得には、厚生労働省公認の救急救命研修所にて最低7カ月間の研修があり、年度末である3月に国家試験を受験、翌月4月が合格発表となります。</p> <p>また、資格取得後は2カ月間の就業前病院実習を行い必要な技術習得後現場復帰となりますが、資格取得後の技術維持向上等のため、生涯実習等の定期的な病院実習が義務づけられています。</p> <p>長期にわたる研修期間中、通常業務への影響を考慮し養成計画を立案するとともに、資格取得後の生涯実習及び各種研修出向時における補勤要員の確保を踏まえた計画を立案します。</p>																		

財源	実施年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金	0 千円	0 千円		0 千円
		地 方 債	0 千円	0 千円		0 千円
		そ の 他	0 千円	0 千円		0 千円
		一 般	3,100 千円	3,100 千円		3,100 千円
	事業費計	3,100 千円	3,100 千円	3,100 千円		

総合計画実施計画

事業名	救急通信事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	安全・安心のための備えづくり
	具体的な施策	救急医療体制の整備

当該事業の概要	<p>救急現場に居合わせて市民が応急手当を適切に実施することにより、大きな救命効果が得られるといわれ、このことは医学的にも明らかとなっています。</p> <p>また、AED(自動体外式除細動器)の普及に伴い、市民の応急手当への関心は、ますます高まっている状況にあります。</p> <p>これらを踏まえ、消防本部では今後も市民による適切な応急手当の実施、また大規模災害時における市民の自主救護能力を向上させるため、計画的な応急手当講習会の開催に取り組み、応急手当の普及啓発に努め、傷病者の救命率の向上を図ります。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">年度</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border: none;">指標</td> <td style="border: none;">単位</td> <td style="border: none;">22</td> <td style="border: none;">23</td> <td style="border: none;">24</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">応急手当講習会受講者(普通救命講習会)</td> <td style="border: none;">人</td> <td style="border: none;">3,200</td> <td style="border: none;">3,500</td> <td style="border: none;">3,800</td> </tr> </table>		年度				指標	単位	22	23	24	応急手当講習会受講者(普通救命講習会)	人	3,200	3,500	3,800
	年度															
指標	単位	22	23	24												
応急手当講習会受講者(普通救命講習会)	人	3,200	3,500	3,800												
	<p>年間を通じ、計画的に応急手当講習会が開催できるよう事業所、自主防災組織等の各種団体に対し、講習会開催の働きかけや広報活動を積極的に展開します。</p> <p>また、市関係部局と連携し、各種イベントの中に応急手当講習会を取り入れてもらい事業効率を上げます。</p> <p>開催の目標値としては、市民を対象とした3時間の普通救命講習会と一般的な応急手当講習会を毎月数回実施するほか、各種団体の要望に応じ、随時講習を開催します。</p> <p>さらに、公共施設や各種事業所のAED設置に伴い、毎月数回の普通救命講習会を開催していきます。</p>															

財源	実施年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金	0 千円	0 千円		0 千円
	地 方 債	0 千円	0 千円	0 千円		
	そ の 他	3,992 千円	3,500 千円	3,500 千円		
	一 般	2,205 千円	2,000 千円	2,000 千円		
事業費計	事業費計	6,197 千円	5,500 千円	5,500 千円		

総合計画実施計画

事業名	上水道総務事務	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	便利で暮らしやすい生活環境づくり
	具体的な施策	生活上の基礎的な基盤整備

当該事業の概要	<p>現在は石和町、御坂町並びに八代町が上水道事業として運営しております。 平成23年度までに一宮町、春日居町、境川町も統合し、笛吹市上水道事業として運営していきます。 水道水の安定供給が図れるように、効率的な施設整備や水道施設の管理体制の強化に努め、民間的経営手法や民間活力等の導入を進め、サービス供給コストの節減合理化を図り、事業の効率的な運営を推進します。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>施設整備計画により適切な建設投資を検討し実施します。 企業債の抑制を検討します。 料金の徴収体制を強化し、業務の民間委託を検討します。 経営情報の公開と透明化を進めます。</p>
---------------------	--

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		地 方 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般		24,300 千円	37,900 千円		38,500 千円
事業費計			24,300 千円	37,900 千円	38,500 千円		

総合計画実施計画

事業名	上水道使用料徴収事業(水道・下水道・温泉使用料徴収事業)	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	便利で暮らしやすい生活環境づくり
	具体的な施策	生活上の基礎的な基盤整備

当該事業の概要	<p>笛吹市水道事業給水条例に基づき、水道利用者から使用料金を徴収する事業です。供用開始区域に於ける利用者が多くなるほど使用料金は増加し、維持管理費の財源となるばかりではなく、償還の財源ともなります。</p> <p>H20年度実績として水道料金は921,478千円を徴収しました。また、市内の普及率は水道事業97.7%となっています。21年11月の検針から料金の統一をすることが出来ました。改定率は22.7%であります。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="3">基準</th> </tr> <tr> <th colspan="2">年度(見込み)</th> <th></th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th>22</th> <th>23</th> <th>24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現年度使用料金収納率</td> <td>%</td> <td>21</td> <td>96.0</td> <td>96.5</td> <td>96.8</td> <td>96.3</td> </tr> <tr> <td>過年度使用料金収納率</td> <td>%</td> <td>21</td> <td>19.0</td> <td>20.0</td> <td>20.1</td> <td>20.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成22年度の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給水停止件数 : 給水停止執行通知書毎月 50件～60件 当日停止件数 10件 ・料金収入 : 水道料1,029,000千円(調定 1,078,000千円) <p>平成23年度の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給水停止件数 : 給水停止執行通知書毎月 50件～60件 当日停止件数 10件 ・料金収入 : 水道料1,033,000千円(調定 1,078,000千円) <p>平成24年度の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給水停止件数 : 給水停止執行通知書毎月 50件～60件 当日停止件数 10件 ・料金収入 : 水道料1,038,500千円(調定 1,078,000千円) 	基本計画の指標	単位	基準			年度(見込み)					22	23	24	現年度使用料金収納率	%	21	96.0	96.5	96.8	96.3	過年度使用料金収納率	%	21	19.0	20.0	20.1	20.6
基本計画の指標	単位			基準																								
		年度(見込み)																										
		22	23	24																								
現年度使用料金収納率	%	21	96.0	96.5	96.8	96.3																						
過年度使用料金収納率	%	21	19.0	20.0	20.1	20.6																						

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		地 方 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般		8,690 千円	8,700 千円		8,700 千円
事業費計			8,690 千円	8,700 千円	8,700 千円		

総合計画実施計画

事業名	上水道第一次拡張事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	便利で暮らしやすい生活環境づくり
	具体的な施策	生活上の基礎的な基盤整備

当該事業の概要	<p>笛吹市水道事業基本計画に基づき、新たに確保した広瀬ダム用水を水源とする浄水場を3ヶ所建設し、併せて送水管を布設して、安全で安心な水道水の供給を目指します。</p> <p>境川浄水場建設事業 平成20年度～平成22年度 境川町小黒坂地内に3,060tの水を処理する浄水場を建設します。</p> <p>御坂浄水場建設事業 平成22年度～平成25年度 御坂町地内に8,090tの水を処理する浄水場を建設します。</p> <p>春日居浄水場建設事業 平成26年度以降 春日居町地内に1,310tの水を処理する浄水場を建設します。</p>	
----------------	--	--

目標・手段・スケジュール	<p>平成22年度は、境川浄水場を完成して、供用開始を目指します。御坂浄水場は、地区説明会等を開催し、建設用地の協力を求めています。</p> <p>平成23年度は、御坂浄水場の実施設計を行ない、平成24年度に工事着手、継続事業として平成25年度完成を目指します。</p> <p>併せて、平成22年度から送配水管の整備を進めます。</p>																									
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>手段</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>境川浄水場建設工事</td> <td></td> <td>完成</td> <td></td> </tr> <tr> <td>御坂浄水場用地買収</td> <td>交渉</td> <td>契約</td> <td></td> </tr> <tr> <td>御坂浄水場実施設計</td> <td></td> <td>着工</td> <td>完成</td> </tr> <tr> <td>御坂浄水場建設工事</td> <td></td> <td></td> <td>着工</td> </tr> <tr> <td>送配水管整備工事</td> <td>着工</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		手段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	境川浄水場建設工事		完成		御坂浄水場用地買収	交渉	契約		御坂浄水場実施設計		着工	完成	御坂浄水場建設工事			着工	送配水管整備工事	着工		
	手段	平成22年度	平成23年度	平成24年度																						
	境川浄水場建設工事		完成																							
	御坂浄水場用地買収	交渉	契約																							
	御坂浄水場実施設計		着工	完成																						
御坂浄水場建設工事			着工																							
送配水管整備工事	着工																									

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金		99,375 千円	28,000 千円	
地 方 債		334,200 千円	103,300 千円	568,800 千円		
そ の 他		334,200 千円	103,300 千円	568,800 千円		
一 般		30,804 千円	180 千円	49 千円		
事業費計			798,579 千円	234,780 千円	1,465,249 千円	

総合計画実施計画

事業名	簡易水道事業総務事務	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	便利で暮らしやすい生活環境づくり
	具体的な施策	生活上の基礎的な基盤整備

当該事業の概要	<p>現在は一宮町、境川町、春日居町並びに芦川町が簡易水道事業として運営しております。平成23年度までに一宮町、春日居町、及び境川町を上水道事業へ移行し、平成23年度以降は芦川町のみが簡易水道事業として運営していきます。</p> <p>水道水の安定供給が図れるように、効率的な施設整備や水道施設の管理体制の強化に努め、民間的経営手法や民間活力等の導入を進め、サービス供給コストの節減合理化を図り、事業の効率的な運営を推進します。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>施設整備計画により適切な建設投資を検討し実施します。</p> <p>企業債の抑制を検討します。</p> <p>料金の徴収体制を強化し、業務の民間委託を検討します。</p> <p>経営情報の公開と透明化を進めます。</p>
---------------------	---

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		地 方 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般		14,430 千円	500 千円		500 千円
事業費計			14,430 千円	500 千円	500 千円		

総合計画実施計画

事業名	上水道配水管布設事業(上水道施設整備事業)	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	便利で暮らしやすい生活環境づくり
	具体的な施策	生活上の基礎的な基盤整備

当該事業の概要	<p>配水管のうち更新の必要な石綿セメント管や老朽化した配水管があり、限られた水源のため漏水の削減や効率的な配水が必要になっています。このため水道配水管布設替えや新規布設を実施し、水道事業の維持管理の効率化を図り、安定した水道水を供給します。</p> <p>また、安全で安心な水道とするため、笛吹市上水道事業創設認可・基本計画に基づいた、旧町を結ぶ連絡管の整備を進めます。</p> <p>石綿セメント管布設替延長 L=4,500m 旧町間を結ぶ連絡管延長 L=2,000m</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>利用水量や送水流量の確認や漏水調査などにより、連絡管布設と石綿管布設替を行い、安定供給を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石綿セメント管4,500mを4年で布設替えをします。 ・旧町間の連絡管2,000mを2年で整備をします。
---------------------	--

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		地 方 債		120,000 千円	120,000 千円		120,000 千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般		15,000 千円	15,000 千円		15,000 千円
事業費計			135,000 千円	135,000 千円	135,000 千円		

総合計画実施計画

事業名	道路維持管理事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	便利で暮らしやすい生活環境づくり
	具体的な施策	生活上の基礎的な基盤整備

当該事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市道の維持管理(トンネル、橋梁照明等設備)、修繕(安全施設、道路側溝)を行います。 ・道路管理者以外が行う工事の施工承認申請審査、検収を行います。 ・各区から提出のあった要望を、支所で取りまとめ、現地確認し、優先順位をつけ、本庁に報告します。本庁では、予算の範囲内で、緊急度や危険度を加味した上で事業の優先度を決定し、最適な工法を検討設計積算、適正な施工管理、検査し、引き受けます。本事業は、地区からの要望(道路新設・拡幅等)と、軽微な補修(舗装の穴埋め等)を対象としています。 ・市道橋の15m以上の橋の長寿命化修繕計画を策定し修繕計画にもとづき補修及び改修を行います。
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>(目標) 市道の維持修繕を行い市民が安全で通行の出来る市道を確保します。</p> <p>(手段) 市道維持管理(トンネル、橋梁照明等設備)、修繕(安全施設、道路側溝) 市道施工承認申請審査、検収 要望箇所現地確認、精査、協議 関係部局との調整、地元協議 地区要望箇所改修工事(現地確認、設計積算、施工管理、検査引き取り) 緊急維持・舗装修繕業務(現地確認、設計積算、施工管理、検査引き取り)</p>
---------------------	--

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金		5,000 千円	千円	
地 方 債			千円	千円	千円	
そ の 他			2,059 千円	2,059 千円	2,059 千円	
一 般			431,824 千円	400,000 千円	400,000 千円	
事 業 費 計		438,883 千円	402,059 千円	402,059 千円		

総合計画実施計画

事業名	道路新設改良事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	便利で暮らしやすい生活環境づくり
	具体的な施策	生活上の基礎的な基盤整備

当該事業の概要	<p>新設・改良市道の用地取得、改良工事(現地確認、設計積算、施工管理、検査引き取り)、工事施工に当たり関係部局との調整を行うとともに、地区要望箇所(現地確認、設計積算、施工管理、検査引き取り)の精査、協議を進めます。</p> <p>各地区から市道道路改良の要望を受け精査し事業計画を立て整備を進めます。</p> <p>工事施工に当たり関係部局との調整 新設・改良市道の用地取得、改良工事 地区要望箇所の精査、協議 地区要望箇所工事</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="4">基準</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>22</th> <th>23</th> <th>24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市道舗装率</td> <td>%</td> <td>19</td> <td>88.2</td> <td>88.7</td> <td>88.8</td> <td>88.9</td> </tr> <tr> <td>市道歩道設置率</td> <td>%</td> <td>19</td> <td>8.3</td> <td>9.2</td> <td>9.2</td> <td>9.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>市道の拡幅改良により安全かつ円滑に通行できるよう整備します。</p> <p>工事施工に当たり関係部局との調整 新設・改良市道の用地取得、改良工事(現地確認、設計積算、施工管理、検査引き取り) 地区要望箇所の精査、協議 地区要望箇所工事(現地確認、設計積算、施工管理、検査引き取り)</p>	基本計画の指標	単位	基準				年度	22	23	24	市道舗装率	%	19	88.2	88.7	88.8	88.9	市道歩道設置率	%	19	8.3	9.2	9.2	9.6
基本計画の指標	単位			基準																					
		年度	22	23	24																				
市道舗装率	%	19	88.2	88.7	88.8	88.9																			
市道歩道設置率	%	19	8.3	9.2	9.2	9.6																			

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名			
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円		
		地 方 債	284,400	千円	285,000		千円	285,000	千円
		そ の 他		千円	千円		千円		
		一 般	15,388	千円	15,000		千円	15,000	千円
事業費計		299,788	千円	300,000	千円	300,000	千円		

総合計画実施計画

事業名	橋梁長寿命化修繕計画事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	便利で暮らしやすい生活環境づくり
	具体的な施策	生活上の基礎的な基盤整備

当該事業の概要	<p>・今後老朽化する市道橋の増大に対応するため長寿命化修繕計画を策定することにより、長寿命化に係る経費の縮減と地域道路網の安全性・信頼性を確保します。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・橋梁の維持修繕を行い市民が安全に通行のできる橋を確保します。 ・市道橋の(15m以下)575橋を本事業により平成25年までに長寿命化修繕計画を策定し、修繕計画にもとづき補修及び改修を行います。 															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>手段</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋梁長寿命化修繕計画</td> <td>橋梁点検</td> <td>橋梁点検</td> <td>修繕計画策定</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>←→</td> <td>←→</td> <td>←→</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考	橋梁長寿命化修繕計画	橋梁点検	橋梁点検	修繕計画策定			←→	←→	←→	
手段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考												
橋梁長寿命化修繕計画	橋梁点検	橋梁点検	修繕計画策定													
	←→	←→	←→													

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国	県	5,500 千円	5,500 千円	
支		出				
金		債	千円	千円	千円	
所		の	千円	千円	千円	
	一	般	7,500 千円	7,500 千円	7,500 千円	
	事	業	13,000 千円	13,000 千円	13,000 千円	
	費	計				

総合計画実施計画

事業名	水路整備事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	便利で暮らしやすい生活環境づくり
	具体的な施策	生活上の基礎的な基盤整備

当該事業の概要	<p>生活用水路の機能が確保されるよう維持管理、修繕、改修を進めます。 また、水路の維持修繕、改良工事(現地確認、設計積算、施工管理、検査引き取り)、普通河川のしゅんせつ及び地区要望箇所の精査、協議をするとともに、地区要望工事(現地確認、設計積算、施工管理、検査引き取り)をします。</p> <p>水路の機能確保されるよう維持管理、修繕、改修 地区要望箇所の精査、協議 地区要望箇所改修工事 水路の維持修繕、改修工事 河川のしゅんせつ</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>安全で快適な市民生活が営まれ、水路の機能確保されるよう維持管理、修繕、改修を進めます。</p> <p>地区要望箇所の精査、協議 地区要望箇所改修工事(現地確認、設計積算、施工管理、検査引き取り) 水路の維持修繕、改修工事(現地確認、設計積算、施工管理、検査引き取り) 河川のしゅんせつ</p>
---------------------	---

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		地 方 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般		27,415 千円	26,000 千円		26,000 千円
事業費計			27,415 千円	26,000 千円	26,000 千円		

総合計画実施計画

事業名	道路境界線境界調査事業(用地管理事業)	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	便利で暮らしやすい生活環境づくり
	具体的な施策	生活上の基礎的な基盤整備

当該事業の概要	<p>道路は、市民の行政財産として安全に安心して通行できるものでなければならないことにより、未登記の解消を実施するため、市町村合併以前に寄付行為又は原材料支給で道路拡幅された道路部分について未登記道路の現地調査を実施します。</p> <p>19年度において、建設部土木課及び産業観光部農林土木課と協働し、道路台帳及び航空写真と公図等の資料からのデータ収集が終了したので、20年度より旧町村単位で現地調査を行っています。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>20年度春日居町、21年度一宮町地区を実施、22年度には御坂町地区を実施する予定です。以後旧町村単位で1町ずつ現地調査を実施します。</p> <p>現地調査 市内全体で約6,500箇所</p>										
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">手段</th> <th style="width: 25%;">平成22年度</th> <th style="width: 25%;">平成23年度</th> <th style="width: 25%;">平成24年度</th> <th style="width: 10%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現地調査</td> <td style="text-align: center;">←</td> <td style="text-align: center;">調査</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考	現地調査	←	調査	→	
手段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考							
現地調査	←	調査	→								

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		地 方 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般		6,615 千円	5,000 千円		8,000 千円
事業費計			6,615 千円	5,000 千円	8,000 千円		

総合計画実施計画

事業名	公営住宅等長寿命化計画策定事業(公営住宅維持管理事業)	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	便利で暮らしやすい生活環境づくり
	具体的な施策	生活上の基礎的な基盤整備

当該事業の概要	<p>①住宅マスタープラン策定事業 住宅施策を取り巻く社会経済情勢の変化、国、県の住宅政策との整合、また、市域内における住宅供給の流れ、市民ニーズの動向、行財政状況などを勘案し、住宅政策及び施策展開などを実施するものであります。</p> <p>②公営住宅等長寿命化計画策定事業 公営住宅の需要に的確に対応するため、公営住宅等長寿命化計画を策定します。この計画は、老朽化した公営住宅ストックの効率的かつ円滑な更新を目的とし、長寿命化とライフサイクルコストの縮減を図るものです。 平成23年度以降、計画書に沿って修繕及び改修工事等を実施します。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	市内の公営住宅等ストックの状況を把握し、その役割やあり方を考慮した上で団地別・住棟別の活用方針を定めるとともに、長期的な視点をもって長寿命化のための維持管理計画を策定し実施していきます。					
	現地調査 市内29箇所					
		手段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
	住宅マスタープラン	策定委員会・WGの開催	委員会・WG開催			
		・策定 ・パブリックコメント	調査・検討	パブリックコメント策定		
公営住宅長寿命化計画	計画策定	調査				
	実施		実施	実施		

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	0 千円	4,500 千円	4,500 千円	
		地 方 債	0 千円	0 千円	0 千円	
		そ の 他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一 般	22,200 千円	5,500 千円	5,500 千円	
	事業費計	22,200 千円	10,000 千円	10,000 千円		

総合計画実施計画

事業名	下水道受益者負担金徴収事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	快適で美しい都市づくり
	具体的な施策	生活排水の処理

当該事業の概要	<p>笛吹市都市計画下水道事業・受益者負担金に関する条例に基づき、受益者から負担金を徴収するものであり、単年度の施工面積に応じて土地面積若しくは公共汚水ますの数により、関係受益者から徴収するものであるため、賦課金額は年度によりばらつきが生じます。</p> <p>H20年度決算額で、152,374千円を徴収しております。H21年度は、103,500千円の収入を見込んでいます</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>施工年度により、施工面積が定まっていない為、年度見込みが出来ない。 平成22年度については、当初予算計上額を記載 現年度分：86,000千円 過年度分： 3,000千円 以降、未定</p>
---------------------	---

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		地 方 債		千円	千円		千円
		そ の 他		15,503 千円	15,000 千円		15,000 千円
		一 般		千円	千円		千円
事業費計			15,503 千円	15,000 千円	15,000 千円		

総合計画実施計画

事業名	下水道使用料徴収事業(水道・下水道温泉使用料徴収事業)	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	便利で暮らしやすい生活環境づくり
	具体的な施策	生活上の基礎的な基盤整備

当該事業の概要	<p>笛吹市公共下水道使用料等徴収条例に基づき、下水道使用者から下水道使用料金を徴収する事業です。</p> <p>供用開始区域に於ける利用者が多くなるほど使用料金は増加し、維持管理費の財源となるばかりではなく、償還の財源ともなります。</p> <p>H20年度実績として下水道料金は418,303千円を徴収しました。また、市内の普及率は下水道事業は59%となっています。</p> <p>下水道の算定は特別な場合を除くほか水道の使用料を算定とします。同時検針同時調定及び同時徴収です。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準		22	23	24
		単位	年度(見込み)				
	現年度下使用料金収納率	%	21	95.0	94.2	94.1	94.0
	過年度下使用料金収納率	%	21	9.1	12.3	13.4	15.4
	<p>平成22年度の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給水停止件数 : 給水停止執行通知書毎月 50件～60件 当日停止件数 10件 ・料金収入 : 下水道料 495,000千円(調定 525,000千円) <p>平成23年度の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給水停止件数 : 給水停止執行通知書毎月 50件～60件 当日停止件数 10件 ・料金収入 : 下水道料 496,000千円(調定 527,000千円) <p>平成24年度の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給水停止件数 : 給水停止執行通知書毎月 50件～60件 当日停止件数 10件 ・料金収入 : 下水道料 497,000千円(調定 529,000千円) 						

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般	8,690 千円	8,700 千円	8,700 千円	
事業費計		8,690 千円	8,700 千円	8,700 千円		

総合計画実施計画

事業名	公共下水道整備事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	快適で美しい都市づくり
	具体的な施策	生活排水の処理

当該事業の概要	<p>下水道計画は、昭和52年に基本計画が策定され「峡東流域下水道計画」の関連公共下水道として計画が進められ、今現在の笛吹市全体計画は3,299.2ha、事業認可面積は2,502.3haです。</p> <p>平成21年度末で約1,846haの整備及び普及率は59%を予定しています。</p> <p>現計画に於ける完了は、平成32年度を完成予定としていますが、現状を維持することには財政的に厳しいため、今年度、整備計画の見直しを図っております。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準				
	単位	年度	22	23	24		
	下水道普及率	%	18	51.0	60.0	61.0	62.0
	<p>本市の公共用水域に於ける汚濁は、依然として進みつつあり、水質保全や生活環境の改善などの対策としての生活排水を処理するために、市街地を中心に事業推進を図ってきています。</p> <p>さらに汚水処理人口普及率の向上を目指すため、公共下水道事業と併せて個人住宅の合併浄化槽の設置に対する一部補助がセットで推進できる汚水処理施設整備交付金事業を、平成18年から22年までの5年間に於いて実施するものであります。</p>						

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	146,974 千円	175,000 千円	175,000 千円	
		地 方 債	256,700 千円	252,500 千円	252,500 千円	
		そ の 他	28,520 千円	22,500 千円	22,500 千円	
		一 般	千円	千円	千円	
事業費計		432,194 千円	450,000 千円	450,000 千円	公共下水道交付金事業 公共下水道補助金事業	

総合計画実施計画

事業名	下水道維持管理事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	快適で美しい都市づくり
	具体的な施策	生活排水の処理

当該事業の概要	<p>公共下水道は、昭和54年度から整備が行われ、早期に整備された地域では平成元年から供用開始となっています。</p> <p>平成21年度末の整備済下水道管渠延長は約342kmとなる予定であり、既に25年を経過した老朽管もあるため、快適・安全に下水道を利用できるように、万全な維持管理を行っています。</p> <p>維持管理を行っていく上で、施設管理委託を必要とし、施設が異常時にシグナルを送る通報装置の維持費等も必要としています。</p> <p>(平成20年度末まで:336Km 平成21年度単年: 6Km)</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>下水道管渠は自然勾配により汚水排水を行っており、勾配が確保できない場合などはポンプ等を設置して強制的に汚水排水している箇所があります。</p> <p>これらの下水道施設を定期的に点検、修理等の維持管理を行っており、マンホールポンプの電気代及び水質検査代などの経費を必要としています。</p> <p>また、計画的に下水道管の清掃作業や侵入水防止工事等を実施し、下水道施設の状況を的確に把握し、快適・安全に下水道を利用できるように万全な維持を行っていきます。</p>
---------------------	--

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		地 方 債		千円	千円		千円
		そ の 他		36,636 千円	36,500 千円		36,500 千円
		一 般		千円	千円		千円
事業費計			36,636 千円	36,500 千円	36,500 千円		

総合計画実施計画

事業名	合併処理浄化槽設置促進事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	快適で美しい都市づくり
	具体的な施策	生活排水の処理

当該事業の概要	<p>浄化槽の計画的な整備を図り、し尿と雑排水を併せて処理することにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とし、交付要綱で定める機能を有する浄化槽を整備します。</p> <p>BOD除去率90%以上、放流水20mg/L(日間平均値)以下の国庫補助指針適合型合併処理浄化槽の整備を図ります。</p> <p>当該事業は、平成22年次で終了予定となっておりますが、以降も継続5ヵ年の計画を考えております。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>現在、本市を流れる河川においては水質汚濁が進んでおり、その主な原因は生活雑排水と考えられます。</p> <p>その対策として、公共下水道の整備が進められていますが、公共下水道供用開始区域以外では、生活排水は未処理のまま排出されており、この対策が必要となっております。</p> <p>生活排水を適正に処理し河川等の水質を改善することを基本方針とし、整備を進めます。</p> <p>浄化槽の整備状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助対象実績基数は、平成18年度15基、平成19年度20基、平成20年度16基、平成21年度9基(予定)の実績があります。 ・平成22年度は15基を予定しています。
---------------------	---

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		4,140 千円	5,520 千円		5,520 千円
		地 方 債		千円	千円	千円	
		そ の 他		千円	千円	千円	
		一 般		2,070 千円	2,760 千円	2,760 千円	
事業費計		6,210 千円	8,280 千円	8,280 千円			

総合計画実施計画

事業名	下水道加入促進事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	快適で美しい都市づくり
	具体的な施策	生活排水の処理

当該事業の概要	<p>笛吹市下水道全体計画は3,299.2haであり、事業認可面積は2,502.3haです。そのうち平成21年度末で約1,846haの整備を終え、普及率は59%及び水洗化率は75.5%の予定となっています。</p> <p>水洗化を促進する為の啓発用品・パンフレットの作成費用及び融資斡旋補助金・宅内工事補助金(御坂限定)の事業費が組まれています。</p> <p>さらに水洗化を促進するために、対策を練っていきます。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>【対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○普及啓発の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 未接続世帯を訪問し、接続依頼を行う。また、未接続の汚水ますの点検も併せて行う。 ・ 下水道事業の必要性・有益性の周知 ・ 地域の水環境保全のため、環境改善効果 ・ 浄化槽と比較した場合の、維持管理及び管理費用の優位性 ○既存制度の改善及び周知徹底 <ul style="list-style-type: none"> ・ 下水道工事資金の融資・斡旋などの周知徹底・内容改善策の検討 ○新規補助制度の創設 <ul style="list-style-type: none"> ・ 金融機関との連携による、新たな金融商品の開発(排水設備工事限定の低金利ローンなど)
---------------------	--

		実施年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
		国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
財 源	財源内訳	地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	2,133 千円	2,100 千円	2,100 千円	
		一 般	千円	千円	千円	
		事業費計	2,133 千円	2,100 千円	2,100 千円	

総合計画実施計画

事業名	環境美化事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	快適で美しい都市づくり
	具体的な施策	公害対策と環境美化

当該事業の概要	<p>騒音、公害、悪臭等に対する環境保全対策の強化や環境意識の啓発等により、衛生的な生活環境の維持、向上を図るとともに、美化運動など市民と行政一体となった取り組みを推進します。本事業は、アダプトプログラム他、地域美化活動協力事業を展開します。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="4">基準</th> </tr> <tr> <th>18年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アダプトプログラムのボランティア数</td> <td>人</td> <td>18</td> <td>520</td> <td>700</td> <td>750</td> <td>800</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・広報、ホームページによるアダプト活動団体の啓発・募集 ・住民への環境美化の啓発及び意識改革(広報・ホームページの活用) ・市内全域の地域美化活動推進 	基本計画の指標	単位	基準				18年度	22年度	23年度	24年度	アダプトプログラムのボランティア数	人	18	520	700	750	800
基本計画の指標	単位			基準														
		18年度	22年度	23年度	24年度													
アダプトプログラムのボランティア数	人	18	520	700	750	800												

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		地 方 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般		445 千円	445 千円		445 千円
事業費計			445 千円	445 千円	445 千円		

総合計画実施計画

事業名	ごみ減量化推進事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	限りある資源を大切にする循環型社会づくり
	具体的な施策	ごみ資源の循環利用の推進

当該事業の概要	<p>ごみの減量推進を図ることを目的とします。</p> <p>特に可燃ごみの組成割合の高い生ごみを資源化(堆肥化)するため、家庭用生ごみ処理機等の購入者に対して補助金の交付、ボカシ製造団体に対し原材料費の購入助成、モデル地区における生ごみの分別収集、ダンボール箱で作る生ごみの堆肥化などを行い、可燃ごみの減量を推進して地球温暖化等の環境問題に対応します。</p> <p>更に、バイオマス構想との連携により、生ごみ等の処理体制づくりを進めます。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標	単位	基準 年度	22	23	24
	生活系可燃ごみの減量率	%	18	26	34	41
目標・手段・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・排出状況実態調査の実施(クリーンネット笛吹と連携) ・排出物の順位設定 ・地域の公民館等で行う分別説明会の開催 ・市内スーパー店頭での分別推進キャンペーンの開催 ・ごみ減量計画作成 ・生ごみリサイクルの推進 ①生ごみ処理機等の購入補助制度及び家庭生ごみ堆肥化の推進 ②モデル地区の生ごみ収集による堆肥化の推進 ③バイオマスタウン構想計画との連携 ④生ごみをダンボール箱で堆肥化の推進 ⑤住民への啓発及び意識改革(広報・ホームページの活用) 					

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般	4,668 千円	4,668 千円	4,668 千円	
事業費計		4,668 千円	4,668 千円	4,668 千円		

総合計画実施計画

事業名	資源物回収事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	限りある資源を大切にする循環型社会づくり
	具体的な施策	ごみ資源の循環利用の推進

当該事業の概要	<p>ごみを分別排出し資源物として回収するため、地域や団体に対して、奨励金を交付することで、ごみの分別排出を推進し、可燃ごみ等の減量と資源物のリサイクルを図ります。</p> <p>ごみの増加を抑制し、リサイクルの意識高揚を推進することで、循環型社会の構築を図り、もって地球環境の保全を進めます。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="3">基準</th> </tr> <tr> <th>18年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活系可燃ごみの減量率</td> <td>%</td> <td>18</td> <td>26</td> <td>34</td> <td>41</td> <td>53</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・排出状況実態調査の実施(クリーンネット笛吹と連携) ・地域の公民館等で行う分別説明会の開催 ・住民への啓発及び意識改革(広報・ホームページの活用) ・資源物回収に伴うリサイクル奨励金の推進 	基本計画の指標	単位	基準			18年度	23年度	24年度	生活系可燃ごみの減量率	%	18	26	34	41	53
基本計画の指標	単位			基準												
		18年度	23年度	24年度												
生活系可燃ごみの減量率	%	18	26	34	41	53										

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		地 方 債		千円	千円		千円
		そ の 他	14,000	千円	14,000		千円
		一 般	26,232	千円	26,232		千円
事 業 費 計		40,232	千円	40,232	千円		

総合計画実施計画

事業名	ミックスペーパー・その他プラ回収事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	限りある資源を大切にする循環型社会づくり
	具体的な施策	ごみ資源の循環利用の推進

当該事業の概要	<p>可燃ごみに混入しているミックスペーパーとその他プラスチックを分別排出することで、可燃ごみの減量を行い、環境への負担の軽減と処理コストの低額を進めます。ミックスペーパー、その他プラスチックの回収を推進し、市民のリサイクルの意識高揚を図り、循環型社会の構築をもって地球環境の保全を進めます。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準				
	単位	年度	22	23	24		
	生活系可燃ごみの減量率	%	18	26	34	41	53
	<p>ミックスペーパー・その他プラの分別排出の推進と可燃ごみの減量</p> <p>①排出場所を増設し、分別排出を推進 ②排出場所への看板設置 ③モデル地区を継続して、可燃ごみ置き場へ分別排出する。 ④排出状況実態調査の実施(クリーンネット笛吹と連携) ⑤地区及び団体に対し分別説明会の開催強化 ⑥住民への啓発及び意識改革(広報・ホームページの活用)</p>						

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国	県	千円	千円	
	地	方	千円	千円	千円	
	そ	の	千円	千円	千円	
	一	般	14,960 千円	14,960 千円	14,960 千円	
	事業費計		14,960 千円	14,960 千円	14,960 千円	

総合計画実施計画

事業名	ごみ収集事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	限りある資源を大切にする循環型社会づくり
	具体的な施策	ごみ資源の循環利用の推進

当該事業の概要	<p>ごみ収集体系の整備や排出者の利便性を考慮した体制づくりを推進します。 平成18年度から実施している生活系可燃ごみの53%減量の目標達成に向け、ごみ減量アクションプランに基づく循環型社会の構築を市民及び事業者と一体となって、ごみ減量に取り組み環境への負荷低減とごみ処理コストの減額を図ります。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="3">基準</th> </tr> <tr> <th>18年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活系可燃ごみの減量率</td> <td>%</td> <td>26</td> <td>34</td> <td>53</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・排出状況実態調査の実施(クリーンネット笛吹と連携) ・住民への啓発及び意識改革(広報・ホームページの活用) ・地区及び団体に対し分別説明会の開催強化 ・地区環境委員との連携強化 	基本計画の指標	単位	基準			18年度	23年度	24年度	生活系可燃ごみの減量率	%	26	34	53
基本計画の指標	単位			基準										
		18年度	23年度	24年度										
生活系可燃ごみの減量率	%	26	34	53										

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		地 方 債		千円	千円		千円
		そ の 他	81	千円	81		千円
		一 般	213,147	千円	213,147		千円
事業費計		213,228	千円	213,228	千円	213,228	千円

総合計画実施計画

事業名	ごみ処理事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	限りある資源を大切にする循環型社会づくり
	具体的な施策	ごみ資源の循環利用の推進

当該事業の概要	<p>ごみ減量アクションプランを基に生活系可燃ごみの減量を平成18年度から「やってみるじゃん53減量」をスローガンに取り組んでいます。最終年度である本年は、更に減量を推進するため、可燃ごみに混入しているミックスペーパーやその他プラスチックの分別排出と生ごみを堆肥化するバイオマスタウン構想の早期実現を関係機関と連携して53%減量を目指します。</p> <p>循環型社会の構築と、ごみの処理コストの軽減を行うため、生ごみの堆肥化、資源物等の分別排出の推進を行います。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="3">基準</th> </tr> <tr> <th>18年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活系可燃ごみの減量率</td> <td>%</td> <td>18</td> <td>26</td> <td>34</td> <td>41</td> <td>53</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・生ごみリサイクルの推進(モデル地区の堆肥化推進、バイオマス構想との連携など) ・住民への啓発及び意識改革(広報・ホームページの活用) ・地区及び団体に対し分別説明会の開催強化 ・地区環境委員との連携強化 	基本計画の指標	単位	基準			18年度	22年度	23年度	24年度	生活系可燃ごみの減量率	%	18	26	34	41	53
基本計画の指標	単位			基準													
		18年度	22年度	23年度	24年度												
生活系可燃ごみの減量率	%	18	26	34	41	53											

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名			
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円		
		地 方 債		千円	千円		千円		
		そ の 他	36,760	千円	36,760		千円	36,760	千円
		一 般	364,168	千円	364,168		千円	364,168	千円
事業費計		400,928	千円	400,928	千円	400,928	千円		

総合計画実施計画

事業名	バイオディーゼル事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	限りある資源を大切にする循環型社会づくり
	具体的な施策	温室効果ガスの削減

当該事業の概要	<p>環境問題は、地球規模での対応が迫られているなか、平成21年12月デンマーク・コペンハーゲンで開催されたCOP15において、地球温暖化の要因とされている温室効果ガス(主にCO2)排出量削減の中期目標が定められました。本市ではこれに先立って、19年2月に設置した廃食用油精製プラントを活用し、市内全域の一般家庭及び市内の学校給食等から排出される廃食用油の収集を行い、これらをBDF(バイオ・ディーゼル・フューエル)燃料として再生しています。BDF燃料が燃焼によって排出するCO2は生物の成長過程で大気から吸収したものであり、大気中のCO2を増加させない「カーボンニュートラル」という特性を有しています。このBDF燃料を公用車・ごみ収集車の燃料としてリサイクルすることにより、循環型社会の形成、地球温暖化防止に努めています。20年12月からは、モデル事業として一部のホテル・旅館等の廃食用油の収集を始め、対象箇所数の増加を図り環境に配慮した施策を推進します。また、中長期的には、観光客の送迎車での利用、ボイラー燃料としての利用についても検証します。一般家庭からの廃食用油収集が伸び悩んでいるため、各地区の資源物収集場所での試行回収を行います。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標	単位	基準			22	23	24
			年度					
	バイオディーゼル燃料製造量	ℓ/年	18	1,400	8,500	9,000	9,500	
	<p>BDF検討委員会 2回開催 モデル事業者の拡大及び利用方法の検討 各地区資源物収集場所での試行回収</p>							

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	810 千円	810 千円	810 千円	
		一 般	1,229 千円	1,229 千円	1,229 千円	
事業費計		2,039 千円	2,039 千円	2,039 千円		

総合計画実施計画

事業名	緑化推進事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	憩いと癒しの空間づくり
	具体的な施策	「森林環境の保全」

事業概要	<p>緑や森林に対する関心が高まる中で、緑をつくり、育て、守る意識を啓発するとともに、市民参加による緑づくりを行うことにより、森林の持つ多面的な機能とその大切さについて理解を深め、豊かな自然を未来に引き継ぐことを目的に平成19年度には笛吹市緑化推進会議と共催で第1回笛吹市植樹祭をおおむね200名の参加者のもと御坂町上黒駒で開催したことを皮切りに、平成21年度までに毎年会場を変え植樹祭を開催してきました。</p> <p>平成22年度には、県内各地の緑化団体や一般参加者及び市関係者200名ほどを招き、御坂町大野寺の寺社林において、通算4回目となる笛吹市植樹祭を計画するとともに、芦川町上芦川の笛吹市学校林において、育樹・育林思想の高揚を図るため、笛吹市育樹祭を計画します。</p>
-------------	---

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="text-align: center;">基本計画の指標</th> <th rowspan="2" style="text-align: center;">単位</th> <th colspan="4" style="text-align: center;">基準</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">年度</th> <th style="text-align: center;">22</th> <th style="text-align: center;">23</th> <th style="text-align: center;">24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">森林環境保全ボランティア団体数</td> <td style="text-align: center;">団体</td> <td style="text-align: center;">19</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成22年度笛吹市植樹祭 主催：笛吹市緑化推進会議、笛吹市 開催場所：記念式典及び植樹運動（御坂町大野寺 寺社有林）約1.0ha 開催日時：平成22年4月30日 植栽本数：2,000本（ヤマモミジ等） 参加人数：200人 植栽後は御坂町大野寺区において管理、将来的には公園構想有り</p> <p>平成22年度笛吹市育樹祭 主催：笛吹市緑化推進会議、笛吹市 開催場所：記念式典及び育樹運動（芦川町上芦川 笛吹市学校林） 開催日時：平成22年9月上中旬 参加人数：50人</p>	基本計画の指標	単位	基準				年度	22	23	24	森林環境保全ボランティア団体数	団体	19	1	1	1
基本計画の指標	単位			基準													
		年度	22	23	24												
森林環境保全ボランティア団体数	団体	19	1	1	1												

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円		緑の募金事業交付金
		地 方 債	千円	千円	千円		
		そ の 他	125 千円	125 千円	125 千円		
		一 般	290 千円	290 千円	290 千円		
事業費計	415 千円	415 千円	415 千円				

総合計画実施計画

事業名	花のまちづくり推進事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	憩いと癒しの空間づくり
	具体的な施策	身近な自然環境の整備

当該事業の概要	<p>市内に点在する憩いの場、道路河川、公園、公共施設等への花木の植栽を進めます。また、その管理や育成を行うボランティア、NPO団体に対して花苗を配布し、植栽することにより花のある美しいまちづくりを推進します。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>市花のまちづくり花苗配布要綱に基づいて、予算の範囲内で、年間を通して管理育成ができる団体を決定して、花苗を配布し、周囲景観の美化等に努めていただき、憩いと癒しの空間の確保を進めます。また、市広報及び市のホームページ等を利用し、活動内容等を紹介します。</p>
---------------------	--

		実施年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
		国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
財 源	財源内訳	地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般	3,665 千円	3,665 千円	3,665 千円	
		事業費計	3,665 千円	3,665 千円	3,665 千円	

総合計画実施計画

事業名	緑の基本計画策定事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	憩いと癒しの空間づくり
	具体的な施策	身近な自然環境の整備

当該事業の概要	<p>緑は、美しい景観の形成、都市の防災性の向上、レクリエーションやふれあいの場の提供などといったさまざまな効用を持ち、日々の暮らしに欠くことのできないものです。</p> <p>「緑の基本計画」は、平成6年の都市緑地保全法（現：都市緑地法）の改正により、総合的な都市における緑に関するマスタープラン（※1）（市町村の緑地保全および緑化の推進に関する基本計画）として法的に位置づけられ、住民にもっとも身近な自治体である市町村が策定できるとされています。</p> <p>この計画は、緑地の保全、都市公園等の整備、公共施設や民有地の緑化、緑の普及啓発活動や仕組みづくりなど、笛吹市の緑に関する総合的な計画として、また、市民・企業・行政が協働して取り組むための指針（ガイドライン）として策定することを目的とします。</p>

目標・手段・スケジュール	策定委員会の開催、庁内検討委員会（ワーキンググループ）の開催 関係各課とのヒアリングの実施 パブリックコメントの実施 緑の基本計画の決定					
		手段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
	策定委員会開催		開催			
	調査・検討		調査			
	シンポジウム開催		開催			
	関係課ヒアリング 庁内検討会		○			
	緑の基本計画		策定			
			○			

財源	実施年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳				
	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
	地 方 債	千円	千円	千円	
	そ の 他	千円	千円	千円	
一 般	7,722 千円	千円	千円		
事業費計	7,722 千円	千円	千円		

総合計画実施計画

事業名	景観計画策定事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	憩いと癒しの空間づくり
	具体的な施策	身近な自然環境の整備

当該事業の概要	<p>笛吹市は、良好な景観の形成を図るため、山梨県知事の同意を受け、平成21年5月から県内12番目の景観行政団体になりました。農業と観光を標榜する笛吹市には、賑わい、自然、農村、眺望、歴史的・文化的など様々な景観があります。これらの景観を保全し、ふさわしい景観づくりと地域の特性を活かした景観形成を推進するため、景観計画を策定していくものであります。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>笛吹市にふさわしい景観の保全と地域の特性を活かした景観形成推進のための調査・研究を行い、計画書の策定、景観地区計画の策定等を行なうものであります。</p>																																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>手段</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">庁内推進組織・策定委員会設置・開催</td> <td>設置 ○</td> <td>開催 ←→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">現況調査、踏査</td> <td>調査 ←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">シンポジウム開催</td> <td></td> <td>開催 ○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">関係課ヒアリング 庁内作業部会の開催</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">景観計画の策定・決定</td> <td></td> <td>県協議 策定 ○ ○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考	庁内推進組織・策定委員会設置・開催	設置 ○	開催 ←→							現況調査、踏査	調査 ←→								シンポジウム開催		開催 ○							関係課ヒアリング 庁内作業部会の開催	←→								景観計画の策定・決定		県協議 策定 ○ ○						
手段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考																																															
庁内推進組織・策定委員会設置・開催	設置 ○	開催 ←→																																																	
現況調査、踏査	調査 ←→																																																		
シンポジウム開催		開催 ○																																																	
関係課ヒアリング 庁内作業部会の開催	←→																																																		
景観計画の策定・決定		県協議 策定 ○ ○																																																	

財源	実施年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
財源内訳	地 方 債	千円	千円	千円	
	そ の 他	千円	千円	千円	
	一 般 事 業 費 計	10,000 千円	5,000 千円	千円	
		10,000 千円	5,000 千円	千円	

総合計画実施計画

事業名	八代ふるさと公園整備事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	憩いと癒しの空間づくり
	具体的な施策	公園機能の充実

当該事業の概要	新規事務事業として掲げた平成22年度から平成25年度の4年計画により、既設の八代ふるさと公園の拡張整備を行う事業であります。
	<p>①おもな事業内容は 駐車場の整備、遊歩道の整備</p> <p>②具体的な年度計画内容は 平成22年度は実施設計及び用地測量等を計画予定。平成23年度には用地測量及び実施設計に伴い、住民説明会の開催と用地買収(用地取得)を進める予定。平成24年度は引続き用地買収(用地取得)を予定。平成25年度から本格的に本工事の実施・完成を目指して計画しております。</p> <p>③整備事業費の内訳予定 公園拡張整備工事費 420,000千円、測量費80,000千円</p>

目標・手段・スケジュール	平成22年度の取組み手段としては、八代ふるさと公園の拡張整備をするための用地取得の確保が最も重要であり、対象となる土地所有者等への説明会の開催と平行し、基本測量業務を進める計画です。				
	手段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
	基本測量及び基本設計	←————→			平成21年度から22年度に掛けて作成
	対象住民説明の開催	←————→			対象住民への説明会の開催
	実施設計	←————→			22年度に実施設計を行う予定
	用地取得(用地補償)			←————→	23年度～24年度に用地取得計画
整備工事				25年度から整備工事を計画予定	

財源	実施年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳				
	国 県 支 出 金	24,750 千円	40,000 千円	55,500 千円	
	地 方 債	18,200 千円	29,600 千円	41,000 千円	
	そ の 他	千円	千円	千円	
一 般 事 業 費 計	2,050 千円	10,400 千円	14,500 千円		
	事業費計	45,000 千円	80,000 千円	111,000 千円	

総合計画実施計画

事業名	食育推進事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	健やかで生きいきと暮らせる環境づくり
	具体的な施策	生涯を通じた健康づくりの推進

当該事業の概要	<p>国では平成17年「食育基本法」を制定。笛吹市においては市民との協働による「笛吹市健康増進計画」が策定され、そのなかに各世代ごとの「食」についての取り組みの方向性が示されました。平成20年度には、それを踏まえた「笛吹市食育実施計画」が策定され、関係部署と連携をはかり、平成21年度からは食育実施計画に基づいた食を通じた健康づくりを推進しています。</p> <p>乳幼児健診時の栄養指導、健診結果説明会、地区活動組織の養成と育成支援、介護予防事業での栄養教室、保育所・学校での食育、農産物直売所での地産地消の取組などの事業を実施推進することによって、市民が自らの健康に関心を持ち、生涯を通じて健康な生活が送れることをめざします。</p> <p>平成21年度</p> <p>①「笛吹市を元気にしよう料理コンテスト」を行い、「家族で食べたい簡単な朝ごはん」と「笛吹市でとれる食材を使った料理」の優秀作品6作品を選出、レシピ集を作成しました。</p> <p>②「笛吹市を元気にしよう食育フォーラム」を開催し、食育活動の展示や講演「早寝・早起き・朝ごはんが脳を鍛える」を行いました。参加者250名</p>

目標・手段・スケジュール	<p>1. 笛吹市食事バランスガイドの普及啓発活動と優秀レシピの普及活動</p> <p>目標：笛吹市食事バランスガイドを知っている市民の割合 50% (平成28年度)をめざします。</p> <p>手段：子ども料理教室など食育関係事業での普及、農産物直売所での料理教室やレシピの配布、広報へのレシピ掲載、保育所や学校給食へのレシピ提供、商工会・旅館組合への普及など</p> <p>スケジュール：4月～ 農産物直売所での配布・料理教室開催、保育所や学校給食へのレシピ提供 広報レシピ掲載、ボランティアまつりなどイベントでの普及啓発活動 8月子ども料理教室、9月食生活改善推進員養成講習会 2月すだちの教室</p>
	<p>2. 食育の日の推進</p> <p>目標：毎月19日を食育の日として推進し、家族と一緒に食事を食べる子供の割合100% (平成28年度)をめざします。</p> <p>手段：料理教室、食育関係事業で「食育の日」のティッシュ配布。 広報への掲載、料理教室や食育講座で啓発</p> <p>スケジュール：6月歯の祭典、広報掲載、8月子ども料理教室、9月～食生活改善推進員地区活動での普及</p>
	<p>3. 食育イベントの開催</p> <p>目標：食育関係団体と共催による食育イベントを開催し、広く市民に食育をPRします。</p> <p>手段：親子料理教室、地産地消コーナー、食事バランスガイド活用コーナー等のイベントを同時開催</p> <p>スケジュール：食育庁内会議、食育関係団体と協議し、実施時期、内容等を検討</p>

財源	実施年度			補助事業名
	国	県	支出金	
財源内訳	国	県	支出金	
	千	円		
	千	円		
	千	円		
事業費計	450	千円		
	450	千円		

総合計画実施計画

事業名	特定健康診査等事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	健やかで生きいきと暮らせる環境づくり
	具体的な施策	生涯を通じた健康づくりの推進

当該事業の概要	<p>高血圧、高脂血症、糖尿病などの生活習慣病を引き起こす大きな要因が内臓脂肪の蓄積であることが明らかになりました。また、男女とも40歳を境に内臓脂肪型症候群が増加していることから、国の医療制度改革により40歳から74歳の被保険者を対象とした「特定健診・特定保健指導」が各保険者に義務付けられました。</p> <p>○特定健診内容 ①質問表(服薬歴、喫煙歴)②身体測定(身長、体重、腹囲・BMI)③理化学検査(身体観察)④血圧測定⑤検尿(尿糖、尿蛋白)⑥血糖検査(脂質検査、血糖検査、肝機能検査)⑦血清尿酸、クレアチニン検査</p> <p>○特定保健指導 メタボリックシンドロームの危険性のある方を健診によって抽出し、健康生活を送るための食事、運動、禁煙等、生活習慣の改善に役立つ情報や支援を行います。</p> <p>①動機付け支援(リスクが出現し始めた段階) 生活改善のため、自ら目標を設定し、行動に移せるよう支援します。(約半年後に実施状況を確認)</p> <p>②積極的支援(リスクが重なりだした段階) 実践可能な行動目標を本人が設定し、健診判定の改善に向け、継続的に実行できるよう支援します。(約半年後に実施状況を確認)</p> <p>③情報提供(健診受診者全員)</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>笛吹市国民健康保険における、40～74歳の被保険者数・・・16,000人</p> <p>○特定健康診査受診率 平成22年度 40% 平成23年度 53% 平成24年度 65%</p> <p>○特定保健指導実施者(指導対象者の45%) 平成22年度 380人 平成23年度 495人 平成24年度 608人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別健診の実施(市内20ヶ所:市外2ヶ所) ・特定健診の実施 ・特定保健指導の実施 ・健康づくり課との連絡調整 ・次年度健診希望事前調査の実施
---------------------	--

		実施年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
財源	財源内訳	国県支出金	12,408 千円	15,467 千円	18,969 千円	
		地方債	千円	千円	千円	
		その他	7,182 千円	7,182 千円	7,182 千円	
		一般	19,907 千円	26,072 千円	26,072 千円	
	事業費計	39,497 千円	48,721 千円	52,223 千円		

総合計画実施計画

事業名	女性特有のがん検診推進事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	健やかで生きいきと暮らせる環境づくり
	具体的な施策	生涯を通じた健康づくりの推進

当該事業の概要	<p>健康増進法に基づくがん検診を実施し、がんの早期発見、健康の保持及び増進を図ります。がん検診受診率を50%を目標に、特に女性特有のがん(子宮がん、乳がん)については、検診受診率が低いことから、</p> <p>「がん検診無料クーポン」を配布します。</p> <p>「子宮頸がん」20歳、25歳、30歳、35歳、40歳は無料クーポン、それ以外は、自己負担1,000円です。</p> <p>「乳がん」40歳、45歳、50歳、55歳、60歳は無料クーポン、それ以外は、集団は500円、医療機関では検査料から1,500円を引いた額が自己負担です。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>がん検診無料クーポン 平成21年度対象者</p> <p>「子宮頸がん」20歳、25歳、30歳、35歳、40歳 2、241人</p> <p>「乳がん」40歳、45歳、50歳、55歳、60歳 2、363人</p> <p>(目標)</p> <p>子宮頸がん、乳がん検診の受診率を50%にする。</p> <p>(手段)</p> <p>1、検診希望調査を全戸に通知し検診の希望をとります。</p> <p>2、対象者に「がん検診無料クーポン」「検診手帳」の発送します。</p> <p>3、随時希望者には、受診券を発行します。</p> <p>4、広報、ホームページ等により本事業を周知します。</p> <p>(スケジュール)</p> <p>2月 希望調査、「無料クーポン券」、「検診手帳」を発送します。</p>
---------------------	---

財源	実施年度			補助事業名	
	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
財源内訳	国 県 支 出 金	5,155 千円	千円	千円	女性特有のがん検診推進事業
	地 方 債	千円	千円	千円	
	そ の 他	千円	千円	千円	
	一 般	35,387 千円	40,600 千円	40,600 千円	
	事 業 費 計	40,542 千円	40,600 千円	40,600 千円	

総合計画実施計画

事業名	温泉活用健康づくり事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	健やかで生きいきと暮らせる環境づくり
	具体的な施策	生涯を通じた健康づくりの推進

当該事業の概要	<p>市内の温泉を活用した健康増進事業を行い、市民が健康と生きがいを持つ活力ある街づくりをめざすため、平成18年度から概ね40歳以上を対象に市内の公営温泉施設と健康増進施設を利用し、約3ヶ月の期間内に、温泉の入り方、運動、食事、こころの健康など健康に関する実技や講義を組み入れ実施しました。平成20年度からは、産後6ヵ月以上経過している産婦を対象にした講座も開始しました。</p> <p>平成21年度 6講座 93名参加。 (産後ママの骨盤エクササイズコース 2クール・クアロビクスコース 2クール ・健康増進コース 2クール)を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 温泉を活用した健康づくりをしたい市民 ・講師 水中運動指導士、健康運動指導士、社会体育指導員、保健師、栄養士他 ・内容 市内の公営温泉施設1ヶ所(産後ママの骨盤エクササイズコース)、健康増進施設1ヶ所(クアロビクスコース)保健福祉センター1ヶ所(健康増進コース)で開催します。 健康状態の確認と事業に必要な各種検査を行います。個々のコンディションに応じた温泉活用プログラム、温泉入浴の仕方、温泉入浴中に実践できる運動、家庭でできる運動等を指導し、各施設の特徴を活かしながら1クール5回～8回実施します。 講座開始時と終了時、体力テスト・血液検査結果の保健指導をします。事業の結果は、山梨大学社会医学部に解析を依頼し、効果を明らかにします。
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>①目標 市内の温泉施設等を利用し体力の保持増進、生活習慣病予防、骨格系疾患の予防、女性特有の疾患の理解と予防、育児中の心の健康づくり等をめざします。</p> <p>②手段 広報、ポスターの掲示等による募集を行います。</p> <p>③講座の種類とスケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康増進コース (9月～12月) ・クアロビクスコース (10月～12月、1月～3月) ・産後ママの骨盤エクササイズコース (10月～12月、1月～3月)
---------------------	---

財源	実施年度				補助事業名
	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
	地 方 債	千円	千円	千円	
	そ の 他	430 千円	430 千円	430 千円	
	一 般	2,476 千円	2,570 千円	2,570 千円	
	事 業 費 計	2,906 千円	3,000 千円	3,000 千円	

総合計画実施計画

事業名	シルバー体操指導員養成事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	健やかで生きいきと暮らせる環境づくり
	具体的な施策	生涯を通じた健康づくりの推進

当該事業の概要	<p>高齢者を対象に、シルバー体操指導員を養成し、高齢者に体操指導をすることにより、市民の健康増進を図ります。平成18年度から自らの健康づくりを目的とした、概ね60歳以上の方々を対象とし、シルバー体操指導員の養成を開始しました。平成21年度現在、92名のシルバー体操指導員が登録をしているとともに、本事業を通して修了された指導員は4つの自主グループを立ち上げ、各地域において活動をしています。平成20年度の活動実績は46回でした。</p>
	<p>①対象者 概ね60歳以上の健康な市民 ②講師 健康運動指導士 ③内容 初級・・運動生理と実技講習(基礎)・・・12回 実施 中級・・運動生理と実技講習(応用Ⅰ)・・・12回 実施 上級・・運動生理と実技講習(応用Ⅱ)・・・12回 実施 講座終了後、スキルアップ研修会(先進地視察等)の開催 ④地域活動の実践 初級者に対しては自主グループづくりの支援 中・上級者に対しては地域活動実践上のアドバイス及び報告会の開催</p>

目標・手段・スケジュール	<p>(目標)</p> <p>平成22年度から平成24年度にかけ指導員180人を養成します。 地域活動実践延べ回数150回を目指します。 シルバー体操指導員の運動習慣の継続を目指します。 初級修了者 60名以上を目指します。 中級修了者 60名以上を目指します。 上級修了者 60名以上を目指します。</p>
	<p>(手段)</p> <p>広報等による募集 初級指導員養成 一講座 12回 中級指導員養成 一講座 12回 上級指導員養成 一講座 12回 (スケジュール) 中級・上級 5月～12月 初級 10月～12月</p> <p>講義及び実技を健康運動指導士資格者を有するスポーツクラブに委託します。体操指導員が行う地域での自主活動を支援していきます。 講座は初級、中級、上級養成講座を設定し、各級の修了証を交付し上位講座の受講資格ができます。</p>

財源	実施年度			補助事業名	
	国	県	支出金		
財源内訳	国	県	支出金	千円	
	地	方	債	千円	
	そ	の	他	千円	
	一	般		1,689 千円	
	事業費計			1,689 千円	
				千円	
				千円	
				千円	
				千円	

総合計画実施計画

事業名	保育所運営事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	安心して生み育てられる環境づくり
	具体的な施策	安心してあずけられる保育

当該事業の概要	<p>児童福祉法並びに保育所ビジョンに基づき、公立保育所14施設および市内私立保育園10施設で保育所の事業及び運営を進めます。延長保育は、保護者のニーズに応えながら19か所の保育所で実施が可能となることを目標とするとともに、一時預かり事業についても市域への適正な配置を図ります。</p> <p>また、公立保育所への指定管理者制度導入については、保護者等に十分な説明を行い、導入を進めます。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準			
		単位	年度	22	23	24
	一時預かり保育利用児童数(月間)	人	19	20	40	40
	<ul style="list-style-type: none"> ○平成22年度 特別保育実施施設数 <ul style="list-style-type: none"> ・延長保育(公立10か所・私立5か所) ・一時預かり事業(公立3か所・私立1か所) ○私立保育所施設整備事業 					

手段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
延長保育・一時預かり事業	実施			
指定管理者制度説明会	導入 開催	導入 開催	導入 開催	
保育所ビジョンの展開	実施			

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金		490,790 千円	334,590 千円	
地 方 債			28,000 千円	千円	千円	
そ の 他			489,313 千円	669,300 千円	489,300 千円	
一 般			1,055,072 千円	802,449 千円	973,338 千円	
事業費計			2,063,175 千円	1,806,339 千円	1,797,228 千円	

総合計画実施計画

事業名	石和第五保育所建設事業		
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり	
	施策	安心して生み育てられる環境づくり	
	具体的な施策	安心してあずけられる保育	

当該事業の概要	<p>石和温泉駅北口開発にあたり、現在の石和第五保育所がある土地をロータリーとして整備するため、施設の移転建設を行います。施設建設にあたっては、未満児保育や延長保育、一時預かり事業、病児・病後児保育などの特別保育、また子育て支援センターなど保護者のニーズに対応できる施設を目指します。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>○平成23年度末の完成を目指し、次のとおり事業を実施する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">手 段</th> <th style="width: 20%;">平成22年度</th> <th style="width: 20%;">平成23年度</th> <th style="width: 20%;">平成24年度</th> <th style="width: 25%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本設計</td> <td style="text-align: center;">↔</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実施設計</td> <td></td> <td style="text-align: center;">各種許可申請手続</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>測量・地質調査</td> <td style="text-align: center;">↔</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建設</td> <td></td> <td style="text-align: center;">工事</td> <td style="text-align: center;">開園</td> <td></td> </tr> <tr> <td>取壊し</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">工事</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手 段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考	基本設計	↔				実施設計		各種許可申請手続			測量・地質調査	↔				建設		工事	開園		取壊し			工事	
手 段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考																											
基本設計	↔																														
実施設計		各種許可申請手続																													
測量・地質調査	↔																														
建設		工事	開園																												
取壊し			工事																												

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	0 千円	
	地 方 債		0 千円	0 千円	千円	
	そ の 他		千円	0 千円	0 千円	
	一 般		15,208 千円	200,000 千円	15,000 千円	
	事 業 費 計		15,208 千円	200,000 千円	15,000 千円	

総合計画実施計画

事業名	私立幼稚園就園奨励費補助事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	安心して生み育てられる環境づくり
	具体的な施策	安心してあずけられる保育

当該事業の概要	<p>本事業は私立幼稚園にお子さんを就園させている保護者の方の入園料及び保育料に係る経済的負担の軽減、また、少子化対策、幼児教育の一層の普及を図ることを目的として、園児と生計を一にする世帯の所得状況(園児の両親・祖父母等)に応じて算定された市民税所得割額により、国の補助を受けて定められた補助金を支給しています。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>幼稚園に就園する、満3歳、3歳、4歳、5歳児の保護者に補助金を交付します。保護者からの申請に基づき市民税所得割額や住所要件を基に補助対象者を決定し、補助金の支給します。</p>
---------------------	---

		実施年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
		財源	財源内訳	国 県 支 出 金	5,200 千円	
地 方 債	千円			千円	千円	
そ の 他	千円			千円	千円	
一 般	14,817 千円			14,817 千円	14,817 千円	
事業費計	20,017 千円		20,017 千円	20,017 千円		

総合計画実施計画

事業名	地域子育て支援拠点事業(子育て支援センター事業・つどいの広場事業)	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	安心して生み育てられる環境づくり
	具体的な施策	子どもの安全な環境整備

当該事業の概要	<p>核家族化の進行や共働き世帯が増加する中、少子化対策として子育て支援の充実が求められています。安心して子育てができるまちづくりをめざして、子育て家庭に対する相談・支援を強化するとともに、児童の健全育成を推進するため、地域における子育て支援の拠点施設として、子育て支援センターやつどいの広場の充実を図ります。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標	単位	年度	基準	22	23	24
	地域子育て支援施設数	数	20	3	4	5	5
	<p>(手段)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の情報提供 ・子育て親子の交流・子育て相談の強化 ・地域子育てイベントの開催(年/4回) ・専門職員の資質の向上 						

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国	県	支出金	地方債	
			13,129 千円	13,129 千円	13,129 千円	
			千円	千円	千円	
			13,129 千円	13,129 千円	13,129 千円	
	事業費計		26,258 千円	26,258 千円	26,258 千円	

総合計画実施計画

事業名	地域ぐるみ子育て支援事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	安心して生み育てられる環境づくり
	具体的な施策	子どもの安全な環境整備

当該事業の概要	<p>地域における子育て親子の交流等を促進するための子育て支援事業(イベント)を開催します。本事業を通して子育ての不安等を緩和し、子どもの健やかな育ち、児童の健全育成を進めます。(年間3~4回実施)</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準			
		単位	年度	22	23	24
	地域子育て支援施設数	数	20	3	4	5
	<p>(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> 親子遊びの教室(7月)の開催/対象:子育て親子50組 ちびっこまつり(10月)の開催/対象:子育て親子100組 ちびっこコンサート(12月)の開催/対象:子育て親子200組 子育て講座(2月)の開催/対象:子育て支援者及び子育て中の保護者 <p>(手段)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域における子育て親子の交流を促進するための子育て支援事業(イベント)を関係機関や地域の子育て団体と協働し実施する。 					

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	150 千円	150 千円	150 千円	
		地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般	150 千円	150 千円	150 千円	
事業費計		300 千円	300 千円	300 千円		

総合計画実施計画

事業名	ファミリーサポートセンター事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	安心して生み育てられる環境づくり
	具体的な施策	子どもの安全な環境整備

当該事業の概要	<p>仕事と育児の両立を支援し、安心して子育てできる環境づくりを図るため、育児の手助けをして欲しい方(依頼会員)と育児のお手伝いをしていただける方(協力会員)が会員に登録し、互いに助け合いながら育児の援助活動を地域において会員組織で事業を展開しています。平成19年4月から「笛吹市ファミリーサポートセンター」を開設し笛吹市ふれあいの家内で実施しています。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準			
		単位	年度	22	23	24
	ファミリーサポートセンター登録会員数	人	20	203	320	350
	<p>(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育サポーター養成講座、交流会の開催(年/4回) ・事業のPRを進め、会員登録数と利用者の増加を図ります。 ・ファミリーサポートセンター便りの発刊(年/1回) <p>(手段)</p> <p>一時的、緊急的に子どもの送迎、預かり等を必要とする家庭へ会員組織の相互援助によるサポート体制の強化・充実を図り、ネットワーク作りと安心して子育てできる環境を整えます。</p>					

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名 次世代育成対策交付金
	財源内訳	国 県 支 出 金	2,531 千円	2,531 千円	2,531 千円	
		地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般	4,332 千円	4,332 千円	4,332 千円	
事業費計		6,863 千円	6,863 千円	6,863 千円		

総合計画実施計画

事業名	父子家庭児童育成手当支給事業(児童扶養手当支給事業)	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	安心して生み育てられる環境づくり
		妊産婦への支援

当該事業の概要	母子家庭に対する手当(児童扶養手当)に対して、父子家庭に対する父子家庭児童育成手当を支給することにより、父子家庭の生活の安定と自立を促進し、かつ児童の健全な育成を図ることを目的として、平成21年度より市単独で支援事業を開始しましたが、国の施策として、22年8月分から児童扶養手当の父子家庭への支給がされることになりました。
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>父子家庭への児童扶養手当の支給がスムーズに行なえるように広報等により周知の徹底を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行の父子家庭児童育成手当支給事業を広報等で周知を行なう(5月) ・平成22年度児童育成手当の申請受付(受給者及び却下者に通知) ・父子家庭児童育成手当(4月～7月分)の支給(7月) ・児童扶養手当の父子家庭への支給を広報等で周知(7月) ・父子家庭の児童扶養手当申請受付を開始する。(8月) ・父子家庭の児童扶養手当の支給(12月) <p>※所得制限有</p>
---------------------	--

財源	実施年度			補助事業名	
	平成22年度				
	平成23年度				
	平成24年度				
	事業費計				
財源内訳	国 県 支 出 金	85,262 千円	90,333 千円	90,333 千円	
	地 方 債	0 千円	0 千円	0 千円	
	そ の 他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一 般	175,063 千円	180,198 千円	180,198 千円	
	事 業 費 計	260,325 千円	270,531 千円	270,531 千円	

総合計画実施計画

事業名	妊婦一般健康診査(妊婦・乳幼児委託検診事業)	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	安心して生み育てられる環境づくり
	具体的な施策	妊産婦への支援

当該事業の概要	<p>健診費用の公費助成することにより、妊娠・出産にかかる経済的不安を軽減し、少子化解消の一助にします。妊娠初期から出産まで、安全に過ごし、健全な出産・育児ができるよう、健康管理に適した時期に医療受診し、妊娠期の母と子の健康保持・異常の早期発見をします。</p> <p>妊娠中、国が示した望ましいとされる健診数14回分の費用を助成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠者の定期受診が必要とされている時期 妊娠初期より妊娠23週(6ヶ月前):4週に1回 妊娠24週(7ヶ月)～妊娠35週(9ヶ月):2週に1回 妊娠36週以上(10ヶ月)～分娩まで:1週間に1回
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>妊娠届出 毎年 700人程度が見込まれます。</p> <p>(目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1・妊婦は国で示された必要な定期健診回数14回を全員が受けられるようにします。 2・転入妊婦及び里帰り分娩者も漏れなく利用できるようにします。 <p>(手段)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1・妊娠届出時に保健師が健康相談を受けながら母子手帳発行と同時に定期受診の勧奨をします。 2・転入時に市のサービスが受けられるよう戸籍住民課窓口と連携します。 3・里帰り分娩でも利用できるようにします。 4・広報・母子愛育会などで制度の周知を図ります。 <p>スケジュール 妊娠届出時より随時</p>
---------------------	--

財源	実施年度				補助事業名
	国	県	支	出	
内訳	国	18,900	千円	千円	妊婦健康診査支援事業
	地	千円	千円	千円	
	そ	千円	千円	千円	
	の	千円	千円	千円	
事業費計	一	40,851	千円	59,800	千円
	事	59,751	千円	59,800	千円

総合計画実施計画

事業名	不妊治療費支援事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	安心して生み育てられる環境づくり
	具体的な施策	妊産婦への支援

当該事業の概要	<p>夫婦の10～15%が不妊であると言われ、誰もが安心して子どもを生むことができる環境づくりを進め、子どもに恵まれない夫婦に対して不妊治療の支援をすることにより、少子化対策の一翼を担います。本事業は平成19年度より事業が開始され、少子化の解消を推進していきます。</p> <p>補助金の交付額は、不妊治療に要した医療費の自己負担額(医療保険各法又は他の制度による療養費の給付を受けた場合は、その受けた額を控除した額)の1/2を乗じた額とし、10万円を限度とします。また、年度当たり2回を限度として、通算5年間助成を受けることができます。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>(目標) 少子化対策に対応するため、本事業の啓発を図るとともに、毎年度30組の活用を目標とします。</p> <p>(手段) ・広報紙・ホームページ等により本事業の周知をします。</p>
---------------------	---

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		地 方 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般		6,000 千円	6,000 千円		6,000 千円
事 業 費 計			6,000 千円	6,000 千円	6,000 千円		

総合計画実施計画

事業名	育児支援事業(パパママスクール)	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	安心して生み育てられる環境づくり
	具体的な施策	妊産婦への支援

当該事業の概要	<p>安心して生み育てられる環境づくりとして、妊婦及びその夫に対し出産・育児に関する正しい知識の普及により育児不安を軽減し、夫婦そろって協力して育児に臨む心を育てます。</p> <p>少子化・核家族化が進む中、赤ちゃんを1度も抱いたことのない母親が出産後、心身ともに不安定になることも多く、母親とともに育児に向かい合い支える父親の役割が重要になっています。育児不安を軽減し夫婦が協力して育児ができることをめざします。</p> <p>パパママスクールとして、父親が参加しやすい環境の日曜日に開催します。</p>

目標・手段・スケジュール	<p>妊娠届出 毎年700人程度見込まれ、そのうち、初産が約300人見込まれます。</p> <p>(目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 夫婦で学級を受講することにより正しい知識を得ることができます。 2. 育児不安を軽減し、協力して育児ができます。 3. 将来的には、NPO等育児支援団体と協力し事業拡大を図ります。 4. 参加者同士の交流の場とします。 <p>(手段)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 妊娠届出時に保健師が健康相談を受けながら、母子健康手帳発行と同時に受講の勧奨をします。 2. 出産予定日で区切り、安定期の妊婦とその夫に案内通知を出します。 3. 夫婦ともに参加しやすくするため、日曜日に開催します。 4. 沐浴など実習を含めた内容にするため、参加申し込みをとり、1回当たりの受講者を20組までとします。 <p>(スケジュール)</p> <p>年3回(6月、10月、2月)に実施します。</p>

財源	実施年度			補助事業名	
	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
財源内訳	国 県 支 出 金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地 方 債	0 千円	0 千円	0 千円	
	そ の 他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一 般	50 千円	50 千円	50 千円	
	事 業 費 計	50 千円	50 千円	50 千円	

総合計画実施計画

事業名	特定高齢者把握事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	高齢者がいつまでも元気で暮らせる環境づくり
	具体的な施策	介護予防と社会参加の促進

当該事業の概要	<p>要介護者・要支援者を除く65歳以上の高齢者で、特定健康診査等で実施される生活機能評価により、特定高齢者の把握を行います。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定高齢者把握事業(生活機能評価及び同基本チェックリストによる)
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="3">基準</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>22</th> <th>23</th> <th>24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定高齢者決定数</td> <td>人</td> <td>18</td> <td>178</td> <td>550</td> <td>575</td> <td>600</td> </tr> </tbody> </table> <p>(目標)</p> <p>○特定高齢者の把握数 年間 550人</p> <p>(手段)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より多くの高齢者に生活機能評価を受診していただくために、広報や保健師による戸別訪問、介護予防事業参加者などに広く呼びかけ、特定高齢者の把握を行います。 ・特定健診等(集団・個別健診)による把握 (4月～12月) ・介護予防事業での把握 (4月～3月) ・保健師等の訪問による把握 (4月～3月) 	基本計画の指標	単位	基準			年度	22	23	24	特定高齢者決定数	人	18	178	550	575	600
基本計画の指標	単位			基準													
		年度	22	23	24												
特定高齢者決定数	人	18	178	550	575	600											

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		6,208 千円	6,208 千円		6,208 千円
		地 方 債		千円	千円	千円	
		そ の 他		7,035 千円	7,035 千円	7,035 千円	
		一 般		3,312 千円	3,312 千円	3,312 千円	
事 業 費 計		16,555 千円	16,555 千円	16,555 千円			

総合計画実施計画

事業名	通所型介護予防事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	高齢者がいつまでも元気で暮らせる環境づくり
	具体的な施策	介護予防と社会参加の促進

当該事業の概要	<p>特定健康診査等で実施された生活機能評価により把握された特定高齢者を決定し、通所型介護予防事業の3事業である運動機能向上、栄養改善、口腔機能向上の教室に参加することにより、介護予防事業を行います。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動機能向上事業(貯筋塾) ・栄養改善事業(かまど塾) ・口腔機能向上事業(かむかむ塾)
----------------	--

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準				
		単位	年度	22	23	24	
	介護予防事業の延べ参加者数	人	18	16,627	17,200	17,300	17,400
	<p>特定高齢者の候補者に事業説明会を開催し、個々の予防目標に基づいた介護予防プランを作成して介護予防事業に参加することにより、生活機能の改善、向上に努めます。</p> <p>(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動機能向上事業 12教室 年延 1655人 ・運動指導士による教室を3ヶ月を1クールとし開催(通年) ・栄養改善事業 2教室 年延 25人 ・管理栄養士による教室を6ヶ月を1クールとし開催(通年) ・口腔機能向上事業 3教室 年延 120人 ・歯科衛生士会による教室を3ヶ月を1クールとし開催 (通年) 						

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	3,861 千円	3,861 千円	3,861 千円	
		地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	4,376 千円	4,376 千円	4,376 千円	
		一 般	2,060 千円	2,060 千円	2,060 千円	
事業費計		10,297 千円	10,297 千円	10,297 千円		

総合計画実施計画

事業名	地域介護予防活動支援事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	高齢者がいつまでも元気で暮らせる環境づくり
	具体的な施策	介護予防と社会参加の促進

当該事業の概要	<p>一般高齢者を対象に各地区の福祉センターや地区公民館において「やってみるじゃん介護予防事業」を開催します。実施については市社会福祉協議会に委託し、各種介護予防メニューを実施します。中央開催は年間220回、地区開催はほとんどの行政区において1100回開催しています。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やってみるじゃん介護予防事業(中央開催・地区開催)
----------------	---

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準			
		単位	年度	22	23	24
	介護予防事業の延べ参加者数	人	18	16,627	17,200	17,300
	<p>(目標)</p> <p>やってみるじゃん介護予防事業 1,350回 年延 15,070人</p> <p>(手段)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の高齢者が心身の機能を維持・向上できるよう、介護予防事業を推進します。 ・介護予防に関する理解を深め、地域の高齢者が自ら参加する介護予防活動を行ないます。 ・各地域の福祉センター等において介護予防である「運動機能向上教室」を開催します。健康運動指導士を中心に専門的に運動機能向上に取り組みます。 ・各地区の公民館において「運動機能向上」、「口腔ケア」、「栄養」、「認知症とこころの健康」等の各種介護予防メニューを実施し、高齢者が身近な場所で気軽に参加できる教室を開催します。 					

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	12,874 千円	12,874 千円	12,874 千円	
		地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	14,591 千円	14,591 千円	14,591 千円	
		一 般	6,868 千円	6,868 千円	6,868 千円	
事業費計	34,333 千円	34,333 千円	34,333 千円			

総合計画実施計画

事業名	長寿敬老事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	高齢者がいつまでも元気で暮らせる環境づくり
	具体的な施策	介護予防と社会参加の促進

当該事業の概要	<p>○行政区敬老事業助成金 高齢者の長寿を祝い、各行政区が実施する敬老事業に対し助成を行うことにより、市民の敬老思想を高揚し、老人福祉の増進を図ります。</p> <p>○長寿祝金 多年にわたり地域社会の発展に尽くしてきた100歳以上の長寿者を敬愛し、その功をねぎらい、祝金を支給します。</p> <p>○敬老祝金 老人の日及び老人週間の行事として、高齢者に祝金を支給し、その長寿を祝福するとともに、敬老思想を高め、併せて老人福祉の増進を図ります。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>○行政区敬老事業助成金 当該年度4月1日現在75歳以上で、本市の住民基本台帳又は外国人登録原票に登録されている者の数(当該区の対象者数に3,500円を乗じた金額)と1行政区に対して20,000円を合算して助成金を決定し、申請のあった行政区に対して9月30日までに助成金を支給します。区長会において、事業の説明をして、1行政区でも多く事業が行われるよう推進します。</p> <p>○長寿祝金 本市に引き続き10年以上住所を有する満100歳以上の長寿者に対して、祝金と記念品を贈呈します。</p> <p>○敬老祝金 9月15日において満77歳・満88歳及び満100歳以上の者で、8月1日現在市内に居住し、住民基本台帳又は外国人登録原票に登録された者に対し、祝金を9月15日老人の日から9月21日までの老人週間に支給します。 (ただし、満100歳該当者については、当該年度の3月31日において満100歳以上の者とします。)</p>
---------------------	---

財源	実施年度			補助事業名	
	平成22年度				
	平成23年度				
	平成24年度				
	財源内訳				
財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
財源内訳	地 方 債	千円	千円	千円	
財源内訳	そ の 他	千円	千円	千円	
財源内訳	一 般	41,164 千円	41,164 千円	41,164 千円	
財源内訳	事業費計	41,164 千円	41,164 千円	41,164 千円	

総合計画実施計画

事業名	認知高齢者対策事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	高齢者がいつまでも元気で暮らせる環境づくり
	具体的な施策	介護サービスと在宅生活支援

当該事業の概要	<p>高齢化の進展に伴い認知症高齢者は今後ますます増えることが予想され、認知症について正しく理解し、地域全体で支援していくことが必要となってきた背景を踏まえ、認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活できるよう、認知症高齢者やその家族の支援・認知症予防活動の推進・普及啓発等に取り組みます。</p> <p>主な事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○認知症サポーターの養成 ○認知症予防プログラム活動の支援者養成 ○認知症の理解や認知症予防法等の普及啓発
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○認知症サポーター養成講座の開催 12回 ○認知症サポーター養成数 220人 ○認知症予防プログラム活動支援者養成数 2人 <p>『認知症サポーター養成講座』 年間の養成講座実施計画に基づき、所定の研修を受講した「キャラバン・メイト」が講師となって、『認知症サポーター養成講座』を開催していきます。講師として活動していただく「キャラバン・メイト」は現在19名の登録があります。 養成講座を受講した認知症サポーターには、認知症を支援する「目印」としてプレスレット(オレンジリング)を配布します。 また、年度末にキャラバン・メイトと1年間の講座開催について検証し、翌年度の養成講座実施計画を作成します。</p> <p>『認知症予防プログラム活動支援者養成』 所定の支援者養成研修を受講し、プログラム活動をするグループの支援や助言を行いません。</p>
---------------------	---

		実施年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
		国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
財 源	財源内訳	地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般	288 千円	288 千円	288 千円	
		事業費計	288 千円	288 千円	288 千円	

総合計画実施計画

事業名	生きがいデイサービス事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	高齢者がいつまでも元気で暮らせる環境づくり
	具体的な施策	介護サービスと在宅生活支援

当該事業の概要	<p>1人暮らしや日中独居等で家に閉じこもりがちな高齢者に対し、社会的孤立感の解消や自立生活の助長を図るため、日常動作訓練やレクリエーション等の通所サービスを提供することで、社会的孤独感の解消、要介護状態となることへの予防及び自立した在宅生活の助長を進めます。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業を通して高齢者の要介護状態になることへの防止。 平成22年度利用人数 73人 <p>(手段)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健師等が高齢者の実態把握調査を行い、必要性を判断し、日常動作訓練やレクリエーション等の通所サービスを提供します。
---------------------	---

		実施年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
		国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
財 源	財源内訳	地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般	11,664 千円	11,664 千円	11,664 千円	
		事業費計	11,664 千円	11,664 千円	11,664 千円	

総合計画実施計画

事業名	介護相談員派遣事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	高齢者がいつまでも元気で暮らせる環境づくり
	具体的な施策	介護サービスと在宅生活支援

当該事業の概要	<p>介護相談員を、介護サービス提供の場に派遣し、サービス利用者の疑問や不安について受け付け、相談に応じる等の活動を行い、その解消を図るとともに、介護サービスの質的向上や介護保険事業の円滑な運営に寄与することを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護相談員を施設・事業所におおむね月に4～6回派遣します。 ・介護サービス利用者の話を聞いて相談に応じます。 ・施設等の行事に積極的に参加します。 ・介護サービスの現状の把握に努めます。 ・事業所の管理者や従事者と意見交換をします。 ・問題点を把握したうえで整理をし、解決方法を提言します。 ・必要に応じて足りないサービス創出に向けての提言をします。
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="3">基準</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>22</th> <th>23</th> <th>24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護相談員数</td> <td>人</td> <td>19</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(手段)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4名の相談員が2班体制となり、おおむね月に4～6回の割合で介護サービス事業所を訪問します。 ・月2～3回×2班×12月(48回～72回) 	基本計画の指標	単位	基準			年度	22	23	24	介護相談員数	人	19	2	4	4	6
基本計画の指標	単位			基準													
		年度	22	23	24												
介護相談員数	人	19	2	4	4	6											

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		252 千円	252 千円		252 千円
		地 方 債		千円	千円		千円
		そ の 他		84 千円	84 千円		84 千円
		一 般		84 千円	84 千円		84 千円
事業費計			420 千円	420 千円	420 千円		

総合計画実施計画

事業名	介護給付費適正化事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	高齢者がいつまでも元気で暮らせる環境づくり
	具体的な施策	介護サービスと在宅生活支援

当該事業の概要	<p>介護保険サービスが利用者に真に効果を上げているか、適正な介護保険サービスが提供されているかなどの観点から、介護給付費適正化事業を実施し、不適切な給付を削減する一方で、利用者に対する適切な介護サービスを確保することにより、介護給付費抑制及びサービスの質の向上を図っていきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 要介護認定の適正化 2 ケアマネジメントの適正化 <ul style="list-style-type: none"> ・要介護認定調査時に、利用者からの満足度・適正度の聞き取り調査を行います。 ・不適切な請求等の疑義がある給付実績に対するケアプラン等のチェックを実施します。 3 介護費用の適正化 <ul style="list-style-type: none"> ・給付データ分析を専門調査員が行い、不適正事例について介護事業者へ指導を行います。 ・給付費通知を利用者に送付し、保険給付に対する意識啓発や、不適切な請求の確認の契機とします。
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>介護サービスの利用者の立場に立った適切な介護給付の確保、介護事業者におけるサービスの質の向上を図り介護保険制度の的確な運営を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護事業者に対して、調査指導の実施や情報提供の実施(事業者連絡会 年5回) ・サービス利用者へ認定調査訪問時の調査実施(対象 居宅サービス利用者全員) ・介護給付適正化システムの活用により、適切な給付がなされているかのチェックの実施(対象 サービス利用者全員) ・給付通知の実施(年3回 介護サービス利用明細のお知らせ)
---------------------	---

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		917 千円	917 千円		917 千円
		地 方 債		千円	千円		千円
		そ の 他		305 千円	305 千円		305 千円
		一 般		307 千円	307 千円		307 千円
事業費計			1,529 千円	1,529 千円	1,529 千円		

総合計画実施計画

事業名	障害者地域生活支援事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	障害者の自立を支援する環境づくり
	具体的な施策	障害者の自立支援

当該事業の概要	<p>市内に居住する障がい者及び障がい児が、社会の一員として社会活動に参加し、地域で自立した日常生活が送れるよう、適切な支援を確保するため、相談支援事業をはじめコミュニケーション支援事業・社会参加促進事業等の各種福祉サービスの提供を行い、障がい者及び障がい児の社会生活を支援します。</p> <p>また、笛吹市地域自立支援協議会において、相談支援事業の運営評価と、障がい者及び障がい児福祉サービスの検証等を行い、課題の検討と解決の支援により、障がい者及び障がい児の自立に向けたサポート体制を整えます。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準			
		単位	年度	22	23	24
	相談支援事業における相談回数	回	19	4,287	4,500	4,600
	<p>・相談支援事業は支援センターふえふき・美咲園福祉センターに委託し、訪問相談・来所相談・電話相談を継続して行い、関係機関とのサービス調整を行うなど、障がい者及び障がい児が自立した社会生活ができるよう支援します。</p>					

財 源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財 源 内 訳	国 県 支 出 金		46,234 千円	47,700 千円	
地 方 債			千円	千円	千円	
そ の 他			千円	千円	千円	
一 般			83,560 千円	83,300 千円	84,000 千円	
	事業費計		129,794 千円	131,000 千円	132,000 千円	

総合計画実施計画

事業名	障害者介護給付・訓練等給付事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	障害者の自立を支援する環境づくり
	具体的な施策	障害者の自立支援

当該事業の概要	<p>居宅介護(ホームヘルプ)・重度訪問介護・行動援護・短期入所(ショートステイ)を行い在宅の障がい者及び障がい児を支援します。</p> <p>また、日中の活動支援する日中活動系サービスとして、生活介護・児童デイサービス・自立訓練・就労移行支援・就労継続支援を行います。</p> <p>住まいの場としてのサービスでは、共同生活介護(ケアホーム)・施設入所支援・共同生活援助(グループホーム)を行い障がい者及び障がい児の自立した生活を支援します。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>(平成24年までに重点的に取り組む目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設の入所者の地域生活への移行:10人 ・入院中の退院可能精神障害者の減少目標値:11人 ・福祉施設から一般就労への移行目標値:3人 ・居宅介護サービス:85人(月平均) ・就労支援:50人(月平均) ・施設入所支援:70人(月平均) ・相談支援:370人(月平均) <p>(手段)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所に対し、障害者自立支援法指定手続を促進します。 ・障がい者は区分認定、障がい児は勘案事項聞き取り、その後支援内容及び市町村基準に基づき支援量を決定します。
---------------------	---

		実施年度			補助事業名
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	
財源	財源内訳	国 県 支 出 金	412,452 千円	450,000 千円	490,000 千円
		地 方 債	千円	千円	千円
		そ の 他	千円	千円	千円
		一 般	142,899 千円	155,000 千円	165,000 千円
		事 業 費 計	555,351 千円	605,000 千円	655,000 千円

総合計画実施計画

事業名	障害者基本計画・障害福祉計画進行管理事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	障害者の自立を支援する環境づくり
	具体的な施策	障害者の自立支援

当該事業の概要	<p>平成21年度に平成23年度の目標値に向けて「第2期障害福祉計画」を策定しました。 新たに平成23年度には、平成24年度から平成28年度まで5年間の「障害者基本計画・障害福祉計画」を策定します。</p> <p>「障害児・障害者相談支援機能の充実」「日常生活支援体制の充実」「生活環境の整備」「外出・社会参加手段の確保」「障害の重度化や高齢化への対応」「地域生活移行の促進」「一貫した教育体制の構築」「障害者の就労及び雇用の支援」「障害者に対する市民の正しい理解の促進」などの基本目標を基に“障がいのある人の自立を支援する環境づくり”の実現に向けて取り組みを進めます。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>笛吹市地域自立支援協議会・地域連絡部会・圏域ネット部会・事業所部会・医療事業者部会・教育支援部会及び権利擁護部会において福祉計画の目標達成を目指し現況を十分把握するとともに、当事者団体や保健師・事業者等の意見を伺い、障害者福祉サービスの検証と障がい者及び障がい児の自立を支援する環境づくりについて検討、協議をしていきます。</p> <p>また、「障害者基本計画・障害福祉計画」による支援事業の質量を検証し、平成23年度に策定する新しい障害者基本計画・障害福祉計画に反映させていきます。</p>
---------------------	---

		実施年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
		国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
財 源	財源内訳	地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般	千円	4,000 千円	千円	
		事 業 費 計	千円	4,000 千円	千円	

総合計画実施計画

事業名	国民健康保険賦課徴収事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	暮らしの基礎を支える安心なしくみづくり
	具体的な施策	保険制度の円滑な運営

当該事業の概要	<p>相互共済の精神にのっとり、市民の保険給付を行うことにより安心した生活の確保を主旨とする国民健康保険事業の、安定的な運営を図るため次の事業を実施します。</p> <p>①適正な賦課及び収納体制の整備。 ②加入者の納税意識向上のための啓発活動。 ③収納率の維持向上を図るための徴収強化対策。 ④各種の事業を実施し医療費の増嵩に歯止めをかけ、健全な運営を目指す。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準				
		単位	年度		22	23	24
	国保税収納率(現年度)	%	20	88.0	90.0	90.0	90.0
	国保税収納率(過年度)	%	20	14.6	14.0	14.2	14.4
	医療費総額	百万円	20	4,865	5,250	5,408	5,516
	<p>(手段)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悪質滞納者への資格者証の発行 ・滞納者の実情把握 ・滞納者通知 ・強化月間での電話による催告 ・滞納世帯に対する戸別訪問の実施 ・社会保険加入者のうち未届出者への届出勧奨の実施及び職権による喪失管理 ・口座振替の推進(マルチペイメントの推進) ・医療費通知等による啓発 ・医療費適正化啓発事業の実施(広報定期掲載、国保新聞発行、健康教室) ・人間ドック補助 						

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般	38,720 千円	38,720 千円	38,720 千円	
	事業費計	38,720 千円	38,720 千円	38,720 千円		

総合計画実施計画

事業名	生活保護費支給事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施 策	暮らしの基礎を支える安心なしくみづくり
	具体的な施策	権利擁護と自立生活への支援

当該事業の概要	生活に困窮する者で、その者が利用し得る資産、稼働能力その他あらゆるものを使っても国の定める生活保護基準により判定される最低限度の生活が維持できない者に対して、生活を保障すると同時に、その者の自立を助長するという国の生活保護法の基本理念に基づき実施します。
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮者に対し生活の状況、困窮程度に応じた保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに自立生活に向けた支援を行います。 ・本人または家族などからの申請(申請保護の原則)に基づき、申請受理後各種調査を行い世帯構成、年令など国の基準により収入、資産等を活用後も基準に満たない場合はその不足分を補う形で実施します。 <p>(手段/年間を通じて次の業務を実施します。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請に基づき申請書受理後、各種調査により要否判定の実施。 ・生活保護受給者への保護費支給。 ・訪問調査活動による生活実態の把握。
---------------------	---

財源	実施年度			補助事業名	
	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
財源内訳	国 県 支 出 金	735,149 千円	780,600 千円	820,500 千円	生活保護費負担金事業
	地 方 債	千円	千円	千円	
	そ の 他	25,300 千円	25,000 千円	25,000 千円	
	一 般	245,050 千円	260,200 千円	273,500 千円	
	事 業 費 計	1,005,499 千円	1,065,800 千円	1,119,000 千円	

総合計画実施計画

事業名	生活援護者就労促進事業	
施策体系	まちづくりの方向	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策	暮らしの基礎を支える安心なしくみづくり
	具体的な施策	権利擁護と自立生活への支援

当該事業の概要	<p>生活保護受給者や生活困窮者への日常生活等への援助活動として、就労可能な人への就労指導・支援を行います。</p> <p>具体的には、保護受給者のうち65歳未満で就労可能な人及び生活困窮者で就労意欲の高い人からの相談に応じ、就労支援員による就労指導・支援を行います。しかしながら厳しい雇用状況や経済状況を背景に、就労へのハードルが高くなっており今後、よりきめ細かな対応が必要となっています。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準			
		単位	年度	22	23	24
	生活保護受給者のうち仕事に就いた人の延べ数	人／年	18	14	12	13
	<ul style="list-style-type: none"> ・働くことが可能な保護受給者及び生活困窮者への就労指導・支援を行い就労の実現とともに、経済的に自立できるよう積極的な事業展開を行い、就労者の増加による保護費の抑制を図ります。 ・年間を通じ次の取組みを行います。 <ul style="list-style-type: none"> ①保護受給者、生活困窮者からの就労相談活動及び支援内容の検討 ②就労支援員による対象者への求職援助、面接指導、関係機関へ同行等の実施 ④市内企業等への訪問及び求職活動の実施 ③就労後のサポートの実施 ・平成22年度は25名の就労支援の実施を目標とします。 (平成23年度以降はローリングにより見直しを行います。) 					

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	2,947 千円	2,947 千円	2,947 千円	
		地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般	2 千円	2 千円	2 千円	
事業費計	2,949 千円	2,949 千円	2,949 千円			

第3節

個性輝く人々が育ち、 活躍するまちづくり

次代を担う子どもたちの教育、生涯学習や生涯スポーツの振興、歴史・文化資源をはじめとした地域の文化の活性化などの各施策が有機的に結びつき、個性かがやく人が育ち活躍するまちをつくります。

のばす Develop

きらめき つなぐ
Network

にぎわいある魅力的なまちづくりや持続的で安定的な産業振興などの各施策につなげ、相乗効果を高めます。

支える
Assist

やすらぎのある生き生きとした暮らしを支えます。

総合計画実施計画

事業名	小中学校市費負担教職員配置事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施 策	子どもたちの個性を尊重する学校づくり
	具体的な施策	教育環境の充実

当該事業の概要	<p>小中学校において障害のある者も健常者と同じように社会の一員として、社会活動に参加し自立して生活できる社会を目指すノーマライゼーションの理念の普及により、障害のある児童を通常学校へ就学させたいと希望する保護者が増えています。</p> <p>小学校へ「学習支援講師」を配置し、LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥多動性障害)、高機能自閉症等の発達障害児の対応を行います。また、中学校へ「講師」を配置し、教科授業、生徒指導、部活動等の対応を行います。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="4">基準</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>22</th> <th>23</th> <th>24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市費負担教職員数</td> <td>人</td> <td>19</td> <td>25</td> <td>37</td> <td>35</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table> <p>〔目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校へ「学習支援講師」を32人配置予定 74,351千円 ・中学校へ「講師」を5人配置予定 16,081千円 	基本計画の指標	単位	基準				年度	22	23	24	市費負担教職員数	人	19	25	37	35	35
基本計画の指標	単位			基準														
		年度	22	23	24													
市費負担教職員数	人	19	25	37	35	35												

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		18,490 千円	千円		千円
		地 方 債		千円	千円	千円	
		そ の 他		千円	千円	千円	
		一 般		71,942 千円	84,652 千円	84,652 千円	
事 業 費 計		90,432 千円	84,652 千円	84,652 千円			

総合計画実施計画

事業名	一宮中学校改築耐震補強改修事業(学校施設耐震改修事業)	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施 策	子どもたちの個性を尊重する学校づくり
	具体的な施策	教育環境の充実

当該事業の概要	<p>子どもたちが、安心安全に、又より良い環境で学べるよう、学校施設や設備の整備を積極的に行い、教育環境の充実を推進していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の耐震化やそれに伴う改修を計画的に行います。(国庫対象)
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>学校施設耐震診断結果により、緊急度や重要度を考慮しながら、計画的に耐震化や改修を行なっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改修の内容→管理棟は平屋建てを一部3階建てに建替え、特別教室棟は耐震補強と大改修、普通教室棟は大改修、技術科棟は建替え、その他自転車置場等の改修 <p>H21実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査及び実施設計19,573千円 ・敷地内公共財産(水路)用途廃止1,000千円 <p>H22予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電設備設置工事(H21繰越し別事業) ・同工事監理252千円 ・仮設校舎設置154,350千円(年度末) <p>H23予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改築改修工事 概算650,000千円(→補助:内容ごとの積算のため概算240,000千円) ・工事監理業務委託 9,584千円
---------------------	---

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		77,175 千円	195,000 千円		千円
		地 方 債		73,300 千円	409,500 千円	千円	
		そ の 他		千円	千円	千円	
		一 般		4,127 千円	55,084 千円	千円	
事業費計		154,602 千円	659,584 千円	千円			

総合計画実施計画

事業名	教育相談事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施策	子どもたちの個性を尊重する学校づくり
	具体的な施策	教育環境の充実

当該事業の概要	<p>教育委員会内にひまわり教育相談室を設置し、教育相談員と自立支援指導員が児童生徒、保護者、教職員の各種相談や問題を抱える子どもの様々な教育相談を受けて、早期解決に向けた指導及び支援を行います。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>相談業務については、各関係機関と連携を図り、電話相談、来室相談、各所訪問を実施します。また、諸調査(知能検査、発達検査)、箱庭療法、遊戯療法等を実施します。</p> <p>また、暴力行為や問題行動(不登校、恐喝、無断外泊、深夜徘徊)等に対して、関係機関で取り組みを支援協力する体制の構築を図っていきます。また不安定な家庭環境が原因で問題行動を引き起こすため、対象の子どもばかりではなく、家庭(保護者)との連携強化をして支援します。</p> <p>具体的な支援については、いろいろなケースが考えられるため、本人の適正等について詳細に分析するなかで、将来に向けた自立と立ち直りに最適な支援プログラムを決定していきます。(社会的自立を目指す職場体験や福祉施設のボランティア活動への参加、体験活動への参加)</p>																																																		
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>手段</th> <th colspan="3">平成22年度</th> <th colspan="3">平成23年度</th> <th colspan="3">平成24年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">運営委員会開催</td> <td>開催</td> <td>開催</td> <td>開催</td> <td>開催</td> <td>開催</td> <td>開催</td> <td>開催</td> <td>開催</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">個人指導、各種体験活動を推進</td> <td>指導・推進</td> <td>評価後再指導・推進</td> <td>指導・推進</td> <td>評価後再指導・推進</td> <td>指導・推進</td> <td>評価後再指導・推進</td> <td>指導・推進</td> <td>評価後再指導・推進</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">←→</td> <td colspan="3">←→</td> <td colspan="3">←→</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手段	平成22年度			平成23年度			平成24年度			備考	運営委員会開催	開催	開催	開催	開催	開催	開催	開催	開催		○	○	○	○	○	○	○	○		個人指導、各種体験活動を推進	指導・推進	評価後再指導・推進	指導・推進	評価後再指導・推進	指導・推進	評価後再指導・推進	指導・推進	評価後再指導・推進		←→			←→			←→			
手段	平成22年度			平成23年度			平成24年度			備考																																									
運営委員会開催	開催	開催	開催	開催	開催	開催	開催	開催																																											
	○	○	○	○	○	○	○	○																																											
個人指導、各種体験活動を推進	指導・推進	評価後再指導・推進	指導・推進	評価後再指導・推進	指導・推進	評価後再指導・推進	指導・推進	評価後再指導・推進																																											
	←→			←→			←→																																												

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		地 方 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般		8,155 千円	8,155 千円		8,155 千円
事業費計			8,155 千円	8,155 千円	8,155 千円		

総合計画実施計画

事業名	教育委員運営事業		
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり	
	施 策	子どもたちの個性を尊重する学校づくり	
	具体的な施策	教育環境の充実	

当該事業の概要	<p>教育委員会は、地方教育行政の組織および運営に関する法律に規定されており、都道府県及び市町村におかれる行政委員会の1つです。</p> <p>教育委員会は合議制の執行機関で6人の教育委員をもって組織されていますが、国の法律の改正により、現在の教育委員の委員数を弾力化して、うち保護者を教育委員に新たに選任することが義務化されました。</p> <p>これら教育委員の合議により教育に関する基本的な方針等を決定し、その方針・決定を受けて教育長が事務局を指揮監督して執行する仕組みとなっています。</p> <p>教育委員会の開催・学校行事等へ参加をおこないます。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>手段</th> <th colspan="4">平成22年度</th> <th colspan="4">平成23年度</th> <th colspan="4">平成24年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">定例教育委員会</td> <td colspan="4">開催</td> <td colspan="4">開催</td> <td colspan="4">開催</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">学校行事への参加</td> <td colspan="4">実施</td> <td colspan="4">実施</td> <td colspan="4">実施</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>毎月第1木曜日午前10時より定例教育委員会を開催いたします。</p> <p>臨時会。小・中学校入学式、卒業式への出席、各種研修会への参加、年2回の学校訪問などへ出席をいたします。</p>	手段	平成22年度				平成23年度				平成24年度				備考	定例教育委員会	開催				開催				開催					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	学校行事への参加	実施				実施				実施					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
手段	平成22年度				平成23年度				平成24年度				備考																																																						
定例教育委員会	開催				開催				開催																																																										
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																							
学校行事への参加	実施				実施				実施																																																										
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																							

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円	
地 方 債			千円	千円	千円	
そ の 他			千円	千円	千円	
一 般			1,556 千円	1,556 千円	1,556 千円	
事 業 費 計			1,538 千円	1,538 千円	1,538 千円	

総合計画実施計画

事業名	学校教育学生ボランティア活用事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施 策	子どもたちの個性を尊重する学校づくり
	具体的な施策	教育環境の充実

当該事業の概要	<p>(内容)</p> <p>県内の大学生、特に教員志望の学生を市内の各学校で受入れ、授業や課外活動を支援してもらう事業であります。これにより、学校の活性化及び将来の教員志願者に実務経験の機会を提供し、児童及び生徒の学力の向上を図ります。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="text-align: center;">基本計画の指標</th> <th rowspan="2" style="text-align: center;">単位</th> <th colspan="4" style="text-align: center;">基準</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">年度</th> <th style="text-align: center;">22</th> <th style="text-align: center;">23</th> <th style="text-align: center;">24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">学生ボランティア派遣回数</td> <td style="text-align: center;">回</td> <td style="text-align: center;">19</td> <td style="text-align: center;">265</td> <td style="text-align: center;">500</td> <td style="text-align: center;">500</td> <td style="text-align: center;">500</td> </tr> </tbody> </table> <p>〔手段〕県内の各大学へ年度当初に事業内容の説明書を配布して、学生ボランティアを募る。尚、学生ボランティアの登録は随時可能にする。学生ボランティア活動が始める前に保険に加入する。謝礼として1回(日)1,000円(交通費相当)を支払う。学校より必要に応じて支援依頼を受け、学校に学生ボランティアを紹介する。</p> <p>〔目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生ボランティアを各希望校に、延べ500回派遣予定 524千円 	基本計画の指標	単位	基準				年度	22	23	24	学生ボランティア派遣回数	回	19	265	500	500	500
基本計画の指標	単位			基準														
		年度	22	23	24													
学生ボランティア派遣回数	回	19	265	500	500	500												

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		0 千円	千円		千円
		地 方 債		0 千円	0 千円		0 千円
		そ の 他		0 千円	0 千円		0 千円
		一 般		530 千円	524 千円		524 千円
事業費計			530 千円	524 千円	524 千円		

総合計画実施計画

事業名	教育委員会評価点検事業(教育総務事業)		
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり	
	施 策	子どもたちの個性を尊重する学校づくり	
	具体的な施策	教育環境の充実	

当該事業の概要	<p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第1項において「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、毎年主な施策や事務事業の取組状況について、課題や取組の方向性を明らかにし公表することにより効果的な教育行政の推進を図り市民に信頼される教育行政を推進します。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>手段</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">報告書の作成</td> <td>作成</td> <td>作成</td> <td>作成</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">議会(教育厚生常任委員会)提出</td> <td>報告</td> <td>報告</td> <td>報告</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">公表時期</td> <td>公表</td> <td>公表</td> <td>公表</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>毎年度作成する「笛吹市総合計画の基本方針に基づく主要施策」を対象とし、点検及び評価を行います。事務事業マネジメントシートを基にします。 教育委員会において、点検・評価を行った後その結果を取りまとめた報告書を(教育常任委員会)へ提出いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 報告の作成(毎年9月を予定) 2 議会の提出(毎年9月議会(決算)を予定) 3 公表(毎年9月を予定) 	手段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考	報告書の作成	作成	作成	作成		○	○	○	議会(教育厚生常任委員会)提出	報告	報告	報告		○	○	○	公表時期	公表	公表	公表		○	○	○
手段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考																										
報告書の作成	作成	作成	作成																											
	○	○	○																											
議会(教育厚生常任委員会)提出	報告	報告	報告																											
	○	○	○																											
公表時期	公表	公表	公表																											
	○	○	○																											

財源	実施年度			平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円	千円		
		地 方 債		千円	千円	千円		
		そ の 他		千円	千円	千円		
		一 般		千円	千円	千円		
	事 業 費 計		千円	千円	千円			

総合計画実施計画

事業名	学校調理業務委託事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施 策	子どもたちの個性を尊重する学校づくり
	具体的な施策	教育環境の充実

当該事業の概要	<p>①現在契約中の事業である石和西小学校調理業務委託事業を進めます。</p> <p>平成20年度・・・8,820千円 平成21年度・・・9,198千円 平成22年度・・・9,576千円</p> <p>②今後の調理業務委託化の年次計画を検討します。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>(目標) 現在契約中の学校調理業務委託事業を検証し、今後の調理業務委託化の年次計画を検討します。</p> <p>(手段・スケジュール) ①石和西小学校調理業務委託事業を検証・・・平成20年度～22年度 ②今後の給食センターの建設見込みや調理員の人員削減の見込みなどを勘案しつつ、今後の調理業務委託化の年次計画を検討します。・・・平成23年度～</p>
---------------------	--

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		地 方 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般		9,576 千円	9,970 千円		9,970 千円
事業費計			9,576 千円	9,970 千円	9,970 千円		

総合計画実施計画

事業名	学校給食備品整備事業(学校給食費総務事務&共同調理場維持管理事業)	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施策	子どもたちの個性を尊重する学校づくり
	具体的な施策	教育環境の充実

当該事業の概要	<p>学校給食設備のうち、備品の整備を必要に応じて実施します。 給食施設設置後の経過年数は平均25.1年と老朽化が進んでいるため、現状把握を行い計画的に整備を図ります。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>(目標) 備品の修繕……安全安心かつ安定的な給食提供のため、故障箇所を把握し、迅速な改善を図ります。 備品の導入・更新……緊急性の度合い、調理現場の業務実態に応じて早期に導入します。 給食施設の点検……全施設の状況を把握するとともに、備品については計画的な改善を進めます。 施設についても故障箇所の把握を行うとともに、修繕が必要な箇所は計画的に修繕をします。</p> <p>(手段・スケジュール) 現状把握……随時 点検整備計画……毎年ローリング 備品整備(導入・更新)……調理現場の業務実態に応じ早期に対応 備品の修繕……随時</p>
---------------------	---

		実施年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
		国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
財 源	財源内訳	地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般	6,447 千円	6,000 千円	6,000 千円	
		事業費計	6,447 千円	6,000 千円	6,000 千円	

総合計画実施計画

事業名	学校給食調理施設整備事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施策	子どもたちの個性を尊重する学校づくり
	具体的な施策	教育環境の充実

当該事業の概要	<p>子どもたちに、安心安全で衛生的でおいしい給食を提供できるよう、給食施設や附属設備の修繕や整備を積極的に行い、食教育環境の充実を推進していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物及び設備の修繕や整備を、計画的に行ないます。 ・施設の耐震化やそれに伴う改修を計画的に行います。(国庫対象で別事業) ・調理環境労働環境の向上のため、冷暖房設備や省エネルギー設備の整備を計画的に行います。 ・雨漏りの原因となる屋上や屋根の防水補修等を計画的に行います。 ・老朽化給食施設の今後の有り方について調査研究して方向性を出していきます。(石和、境川)
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>学校施設修繕課題表や関連施設修繕課題表などにより、緊急度や重要度を考慮しながら、計画的に修繕や整備を行なっていきます。</p> <p>H22予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修繕5,300千円→給食自校方式300千円×12校=3,600千円、共同調理施設3施設=1,700千円 ・対象施設→自校方式12校(石和南小、石和東小、石和北小、富士見小、石和西小、石和中、一宮西、一宮南、一宮北、一宮中、境川小、芦川小) →共同調理3施設(御坂、八代、春日居) ※一宮給食センター建設工事H22中(一宮西、一宮南、一宮北、一宮中をまとめる) ・一宮3小学校給食調理室ピット化改修実施設計1,819千円 ・冷暖房→H22:調査及び検討 H23整備 H24整備 ・屋根防水→H22:上記予算内で H23同 H24同 ※耐震化等の課題→石和北小給食棟は補強箇所が出入口となり事実上不可能、石和中は給食棟の耐震化は必須だがドライシステム化改修となると規模拡大となり建直し対象だが用地なし
---------------------	--

		実施年度			補助事業名
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	
財源	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円
		地 方 債	千円	千円	千円
		そ の 他	千円	千円	千円
		一 般	7,119 千円	5,300 千円	5,300 千円
	事業費計		7,119 千円	5,300 千円	5,300 千円

総合計画実施計画

事業名	一宮学校給食共同調理施設設置事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施策	子どもたちの個性を尊重する学校づくり
	具体的な施策	教育環境の充実

当該事業の概要	<p>子どもたちに、安心安全で衛生的でおいしい給食を提供できるよう、給食施設や附属設備の修繕や整備を積極的に行い、食教育環境の充実を推進していきます。</p> <p>給食施設の老朽化による建物及び設備の修繕や整備の状況、耐震化の状況やドライシステム化等大改修への状況などを総合的に判断し、給食施設の統合整備を計画的に行います。(国庫対象)</p> <p>また、災害時の大量炊き出しなど、地域防災の支援施設としての活用も行います。</p> <p>一宮町の4つの小中学校は、各学校に給食の調理室が設置してありましたが、施設の統合を進め、新たに共同調理施設を建設します。設置場所は、一宮西小隣接の一宮グランド内で敷地面積4,800㎡、建物面積1,460㎡、1200食を計画しています。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>一宮学校給食共同調理施設の建設設置(国庫補助事業)</p> <p>H21実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地質地盤調査業務委託514千円 ・実施設計業務委託14,648千円 <p>H22予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事監理業務委託8,343千円 ・建設工事、内装工事、附帯工事 概算787,000千円(→補助:内容ごとの積算のため概算53,526千円) ・備品購入 <p>H23予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備品購入(庁用備品一式)5,000千円 ・消耗品購入(食器・食缶・調理用具・衛生用品、他)32,000千円 ・落成式、稼動訓練、4校供給(H23夏休み明け)
---------------------	--

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		53,526 千円	千円		千円
		地 方 債		717,000 千円	千円	千円	
		そ の 他		千円	千円	千円	
		一 般		32,817 千円	37,000 千円	千円	
事業費計		803,343 千円	37,000 千円	千円			

総合計画実施計画

事業名	小学校施設整備事業(小学校施設整備維持管理事業)	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施策	子どもたちの個性を尊重する学校づくり
	具体的な施策	教育環境の充実

当該事業の概要	<p>子どもたちが、安心安全に、又より良い環境で学べるよう、学校施設や設備の整備を積極的に行い、教育環境の充実を推進していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校舎、体育館、プール、その他建物及び設備の修繕を、計画的に行います。 ・施設の耐震化やそれに伴う改修を計画的に行います。(国庫対象で別事業) ・防犯設備(フェンス等)の設置を計画的に行います。 ・雨漏りの原因となる屋上や屋根の防水補修等を行います。 ・外壁改修等大規模な改修について調査及び計画を作成します。 ・避難所指定施設として設備の充実を推進します。(非常用発電設備など)
----------------	---

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準			
		単位	年度	22	23	24
	小学校施設設備整備数	カ所	21	100	100	100
	<p>H22年度予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設設備修繕16, 814千円(危険箇所解消、校舎内、体育館、プール、校庭、遊具等) ・下水道接続10, 000千円(石和北小北館) ・各種点検手数料1, 948千円 (プールろ過装置、遊具体育器具、受配電設備、受水槽高架水槽) ・各種保守管理委託料6, 769千円 (消防用設備、自家用電気工作物、エレベーター、給食用リフト、その他緊急点検) 					

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般	35,531 千円	20,000 千円	20,000 千円	
事業費計		35,531 千円	20,000 千円	20,000 千円		

総合計画実施計画

事業名	中学校施設整備事業(中学校施設整備維持管理事業)	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施策	子どもたちの個性を尊重する学校づくり
	具体的な施策	教育環境の充実

当該事業の概要	<p>子どもたちが、安心安全に、又より良い環境で学べるよう、学校施設や設備の整備を積極的に行い、教育環境の充実を推進していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校舎、体育館、プール、その他建物及び設備の修繕を、計画的に行ないます。 ・施設の耐震化やそれに伴う改修を計画的に行います。(国庫対象で別事業) ・防犯設備(フェンス等)の設置を計画的に行います。 ・雨漏りの原因となる屋上や屋根の防水補修等を行います。 ・外壁改修等大規模な改修について調査及び計画を作成します。 ・避難所指定施設として設備の充実を推進します。(非常用発電設備など)
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="3">基準</th> <th>22</th> <th>23</th> <th>24</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学校施設設備整備数</td> <td>カ所</td> <td>21</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table> <p>H22年度予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設設備修繕5,842千円(危険箇所解消、校舎内、体育館、プール、校庭、遊具等) ・各種点検手数料898千円 (プールろ過装置、遊具体育器具、受配電設備、受水槽高架水槽) ・各種保守管理委託料2,923千円 (消防用設備、自家用電気工作物、エレベーター、給食用リフト、その他緊急点検) 	基本計画の指標	単位	基準			22	23	24	年度						中学校施設設備整備数	カ所	21	50	50	50	50
基本計画の指標	単位			基準			22	23	24													
		年度																				
中学校施設設備整備数	カ所	21	50	50	50	50																

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		地 方 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般		9,663 千円	10,000 千円		10,000 千円
事業費計			9,663 千円	10,000 千円	10,000 千円		

総合計画実施計画

事業名	教育用パソコン整備事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施策	子どもたちの個性を尊重する学校づくり
	具体的な施策	教育環境の充実

当該事業の概要	<p>・市内小中学校に教育用パソコン及びプリンター他周辺機器をを年次的に354台整備します。 既に、平成21年度文科省学校ICT整備事業及び経済危機対策交付金事業により10校365台を整備しましたので、残り9校354台を平成22年度から2年間をもって整備するものであります。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">基準</th> <th rowspan="2">22</th> <th rowspan="2">23</th> <th rowspan="2"></th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">市内小中学校整備台数</td> <td>校</td> <td rowspan="2">21</td> <td>10</td> <td>4</td> <td>5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>台</td> <td>365</td> <td>149</td> <td>205</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>〔目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H22年度：小学校4校へ149台、プリンター各1台他周辺機器を整備予定 56,013千円 ・H23年度：中学校5校へ205台、プリンター各1台他周辺機器を整備予定 62,663千円 	基本計画の指標	単位	基準		22	23		年度		市内小中学校整備台数	校	21	10	4	5		台	365	149	205	
基本計画の指標	単位			基準					22	23												
		年度																				
市内小中学校整備台数	校	21	10	4	5																	
	台		365	149	205																	

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国	県	千円	千円	
地		方	千円	千円	千円	
そ		の	千円	千円	千円	
一		般	56,013 千円	62,663 千円	千円	
事業費計			56,013 千円	62,663 千円	千円	

総合計画実施計画

事業名	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施策	子どもたちの個性を尊重する学校づくり
	具体的な施策	学校と地域との連携

当該事業の概要	<p>子どもたちが安心して教育が受けられるように、スクールガード・リーダー3名を市内に配置します。また、スクールガード・リーダーは家庭、地域、学校と連携して、通学路の安全性、不審者への対応をしております。小中学校の学校の安全に関する指導や巡回を強化することにより、子どもたちが安心して学ぶことのできる学校づくりのサポートを進めていきます。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・市内19校の児童、生徒の安全な登下校の指導。 ・学校の安全に関する児童、生徒、教職員、保護者に対する指導及び助言。 ・学校内及び通学路等の危険箇所の確認及び改善指導。
---------------------	--

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		388 千円	388 千円		388 千円
		地 方 債		千円	千円	千円	
		そ の 他		千円	千円	千円	
		一 般		197 千円	197 千円	197 千円	
事業費計		585 千円	585 千円	585 千円			

総合計画実施計画

事業名	放課後子ども教室事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施策	こどもの健やかな成長を支える環境づくり
	具体的な施策	地域での健全育成

当該事業の概要	<p>放課後等に子どもが安全で安心して活動できる場の確保と児童の健全育成を推進するために、登下校時の子どもたちの見守りや、長期休暇期間を含めた中で、児童生徒を対象にした体験活動を通して学習指導や生活指導などの地域における教育活動を支援し、住民との交流や学年を超えた活動のなかで、健康で心豊かに育まれる環境づくりを推進します。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度 2校で実施 ・各校において、復習教室・体験教室を内容とする教室を年間1校41日 合計2校82日開催 ・実施する2校において、復習教室・体験教室を内容とする教室年間41日以外に、空き教室を利用し、希望する児童が、その日のカリキュラムを決めず、自分の自主性に任せて行なう自由教室を昨年同様に開催し、今年度は、小学校低学年も対象に含め実施する。 ・健全な環境づくり ・関係団体との連携 ・NPO法人に、業務を委託
---------------------	--

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		2,551 千円	2,551 千円		2,551 千円
		地 方 債		0 千円	0 千円	0 千円	
		そ の 他		0 千円	0 千円	0 千円	
		一 般		5,245 千円	5,245 千円	5,245 千円	
事業費計		7,796 千円	7,796 千円	7,796 千円			

総合計画実施計画

事業名	青少年育成事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施 策	こどもの健やかな成長を支える環境づくり
	具体的な施策	社会での健全育成

当該事業の概要	<p>青少年の健全育成の推進を図るため、青少年育成コーディネーターが主軸となり、市及び各地区青少年育成推進協議会において、子どもクラブ球技大会や防犯パトロール、講演会等各種事業を実施します。また、家族の絆をキーワードに、各地区において家庭教育に関する講演会や研修会を開催し、家庭教育の支援の充実を図り、健全育成の推進に努めます。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="4">基準</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>22</th> <th>23</th> <th>24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>愛のパトロール実施回数</td> <td>回</td> <td>18</td> <td>90</td> <td>96</td> <td>98</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>家庭教育学級開催数</td> <td>回</td> <td>18</td> <td>16</td> <td>18</td> <td>19</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>						基本計画の指標	単位	基準				年度	22	23	24	愛のパトロール実施回数	回	18	90	96	98	100	家庭教育学級開催数	回	18	16	18	19	20
基本計画の指標	単位	基準																												
		年度	22	23	24																									
愛のパトロール実施回数	回	18	90	96	98	100																								
家庭教育学級開催数	回	18	16	18	19	20																								

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		地 方 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般		15,245 千円	15,245 千円		15,245 千円
事 業 費 計			15,245 千円	15,245 千円	15,245 千円		

総合計画実施計画

事業名	青少年体験活動事業		
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり	
	施策	こどもの健やかな成長を支える環境づくり	
	具体的な施策	社会での健全育成	

当該事業の概要	<p>近年、子どもを取り巻く環境は、遊びについては、友達と屋外で色々な事をしていた遊びからテレビゲームなど屋内での遊びが中心となり、また、核家族化や共働き家庭の増加により、大人達と触れ合う機会が少なくなってきました。</p> <p>このような青少年を取り巻く昨今の環境のなかで、親子を対象とし、子どもや保護者、地域の大人達との相互の交流の場や各種体験の場を創出し、自然体験教室等を通して見識を広めるとともに、日常生活における実体験の充実を進めます。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>・自然体験教室 対象者小学生親子 日帰り3～4回</p>
---------------------	---------------------------------

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		0 千円	0 千円		0 千円
		地 方 債		0 千円	0 千円		0 千円
		そ の 他		0 千円	0 千円		0 千円
		一 般		172 千円	172 千円		172 千円
事業費計			172 千円	172 千円	172 千円		

総合計画実施計画

事業名	市民講座事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施 策	いつでも、どこでも、だれでも学べる環境づくり
	具体的な施策	生涯学習の充実

当該事業の概要	<p>笛吹市民講座(スコレー大学)として市民講座を開催します。市民講座は生涯学習コーディネーター等が企画運営する主催講座、大学や博物館等学習機関と共催で実施する共催講座、地区行政区が企画する学習会に対して講師を派遣する協働講座(地域コミュニティ講座=愛称スコニティ講座)の3つの柱で構成し運営します。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準			
		単位	年度	22	23	24
	市民講座数	講座	18	161	170	170
	市民講座受講者数	人	18	2,800	3,000	3,000
	市民講座から誕生した自主学習グループ数	団体/年	18	20	25	30
<p>スコニティ講座については、行政区長等を通じて地域コミュニティ講座の企画を募集し、企画書の内容等審議したうえで予算の範囲内で講師を派遣します。</p> <p>・市民講座の企画・募集・協議 県内学習機関との連携調整</p>						

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般	4,270 千円	4,270 千円	4,270 千円	
事業費計		4,270 千円	4,270 千円	4,270 千円		

総合計画実施計画

事業名	俳句会事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施策	いつでも、どこでも、だれでも学べる環境づくり
	具体的な施策	生涯学習の充実

当該事業の概要	<p>全国の小学生、中学生を対象にした俳句会の開催をとおして健全な青少年の育成や笛吹文化の礎を築きます。選者には、俳句結社白露主宰、広瀬直人先生を迎え、文部科学大臣奨励賞等各種賞を設け参加者の励みとします。また、それらの投句作品による句集の刊行に繋げます。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生の多数の参加により俳句をとおしての交流などにより生涯学習活動の活性化を図ります。 ・笛吹市の俳句文化風土を形成します。 ・市内の全小中学校の参加を得るとともに、県内外の多くの小中学校の参加を得るようにします。
---------------------	---

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		地 方 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般		3,382 千円	3,382 千円		3,382 千円
事業費計			3,382 千円	3,382 千円	3,382 千円		

総合計画実施計画

事業名	社会教育施設整備事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施策	いつでも、どこでも、だれでも学べる環境づくり
	具体的な施策	生涯学習の充実

当該事業の概要	<p>市民が、安心安全に、より良い環境で学べるよう、関連施設の建物及び付属設備の修繕や整備を積極的に行い、生涯学習環境の充実を推進していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物本体及び設備の修繕や整備を、計画的に進めます。
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>関連施設修繕課題表により、緊急度や重要度を考慮しながら、計画的に修繕や整備を行なっていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象施設→図書館(石和、御坂、一宮、八代、春日居)、八田御朱印公園(八田家書院)、八代郷土館、春日居郷土館・小川正子記念館、清楓美術館、芦川教員住宅4棟、御坂農村環境改善センター、学びの杜みさか、八代総合会館、若彦路ふれあいセンター、境川総合会館、芦川ふるさと総合センター、芦川グリーンロッジ ・修繕5, 100千円(300千円×17施設)→危険箇所緊急解消、施設内各所修繕、附帯設備修繕、水路等敷地構造物修繕など
---------------------	--

		実施年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
		国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
財 源	財源内訳	地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般	5,100 千円	5,100 千円	5,100 千円	
		事業費計	5,100 千円	5,100 千円	5,100 千円	

総合計画実施計画

事業名	図書館事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施 策	いつでも、どこでも、だれでも学べる環境づくり
	具体的な施策	生涯学習の充実

当該事業の概要	<p>石和図書館・・・中央館として、市内全館の業務を統括します。図書資料の貸出、イベント、おはなし会をはじめ、子育て支援・ボランティア育成・生涯学習講座にかかわるサービスを行います。また、その母体となる司書の資質向上にも努めていくことで、住民のニーズに応えられる図書館を運営を目指します。</p> <p>御坂図書館・・・木造建築のぬくもりに包まれた図書館環境の中で、本と人、人と人のつながりを広めていくことを目標とし、資料の充実した図書館サービスを行います。(地域の特産バラをテーマとした「ローズタイム」は大人を対象に、幼児・児童を対象のおはなし会「びよんびよん」などを開催します。)</p> <p>一宮図書館・・・歴史ある地域の資料やDVD等の映像資料を特色として、桃畑の景観を背景に心安らぐ憩いの空間を提供します。図書館ボランティア・学校図書館司書と連携して、子どもの読書を推進します。</p> <p>八代図書館・・・気軽に立ち寄れる図書館を目標に、地域の児童館や保育所などとの連携によりまずは図書館に親んでもらいます。(乳幼児親子が参加する「赤ちゃんまま」おはなし会、児童を対象の「バムケロ」おはなし会を毎週開催します。)</p> <p>境川図書室・・・飯田蛇笏・龍太氏の貴重な俳句資料を蔵書としています。少ないスペースでも市内館ネットワークを利用してニーズに対応していきます。(地域の子どもと高齢者のつながりを深める「さかいがわおばあちゃん」おはなし会の開催)</p> <p>春日居図書館・・・「図書館」のこれまでのイメージを変え、多くの住民に足を運んでもらうことを目標にします。農業関係資料をはじめ、医療・童謡などに関する資料を蔵書の特色としています。(男性ボランティアによる「パパとグランパのおはなし会」、乳幼児親子には「おはなしのへやもも」「さくらんぼのおはなし会」も開催します。)</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="3">基準</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>22</th> <th>23</th> <th>24</th> </tr> <tr> <td>市民一人当たりの図書館資料利用数</td> <td>件</td> <td>18</td> <td>8.3</td> <td>8.7</td> <td>8.8</td> <td>8.9</td> </tr> </table> <p>・子育て支援、おはなし会を400回/年(全館合計)開催します。 ・大人を対象とした教室、講座を24回/年(全館合計)実施します。 ・地域資料、特色となる資料の蔵書を充実します。 ・ボランティア団体や関係部署(福祉課、文化財課、観光課、生涯学習課ほか)との共催事業を実施します。</p>	基本計画の指標	単位	基準			年度	22	23	24	市民一人当たりの図書館資料利用数	件	18	8.3	8.7	8.8	8.9
基本計画の指標	単位			基準													
		年度	22	23	24												
市民一人当たりの図書館資料利用数	件	18	8.3	8.7	8.8	8.9											

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	145 千円	145 千円	145 千円	
		一 般	128,479 千円	128,479 千円	128,479 千円	
事業費計		128,624 千円	128,624 千円	128,624 千円		

総合計画実施計画

事業名	スポーツ振興事業(スポーツ教室事業・体育協会運営事業・スポーツ少年団運営事業)	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施策	身近にスポーツを楽しめる環境づくり
	具体的な施策	社会体育の充実

当該事業の概要	<p>市民がいつでも、どこでも、誰でも、仲良く身近なところでスポーツを親しめる生涯スポーツの環境を推進するため、体育協会、スポーツ少年団など各種団体と連携し、子どもから高齢者まで幅広い市民のライフスタイルにあったスポーツ、軽スポーツや市民の健康づくり、体力づくりの場、或いは交流の機会の場としてスポーツの振興、普及を進めます。</p> <p>また、体を動かすことにより、爽快感、達成感、他者との連帯感等の精神的充足や楽しさ、喜びをもたらす体力の向上や、精神的なストレスの発散、生活習慣病の予防等に貢献します。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="4">基準</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>22</th> <th>23</th> <th>24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スポーツ団体(体育協会・スポーツ少年団)加入者数</td> <td>人</td> <td>18</td> <td>6,379</td> <td>6,500</td> <td>6,600</td> <td>6,700</td> </tr> </tbody> </table> <p>市民のスポーツ活動を普及及び振興するとともに、スポーツ活動を通じて心身ともに健康で豊かな生活を送ることができる生涯スポーツ社会を目指します。また、各地区において、軽スポーツ教室及び健康づくり教室を積極的に開催し、市民がスポーツに親しみ健康で明るく過ごせるような健康に溢れたまちづくりを目指します。</p>	基本計画の指標	単位	基準				年度	22	23	24	スポーツ団体(体育協会・スポーツ少年団)加入者数	人	18	6,379	6,500	6,600	6,700
基本計画の指標	単位			基準														
		年度	22	23	24													
スポーツ団体(体育協会・スポーツ少年団)加入者数	人	18	6,379	6,500	6,600	6,700												

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		地 方 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般		24,220 千円	25,000 千円		25,000 千円
事業費計			24,220 千円	25,000 千円	25,000 千円		

総合計画実施計画

事業名	健康・体力づくり教室事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施策	身近にスポーツを楽しめる環境づくり
	具体的な施策	社会体育の充実

当該事業の概要	<p>近年、高齢化の急激な進展や生活が便利になること等による、体を動かす機会の減少が予想されており、これからの21世紀の社会において、生涯にわたりスポーツに親しむことができる豊かな「スポーツライフ」を送ることが望まれています。</p> <p>そこで、社会体育指導員を中心に市民を対象に広く呼びかけ、特に高齢者や婦人層を対象とした健康、体力づくり等を中心とした教室を開催し、保健福祉部健康づくり課や社会福祉協議会等関係機関との連携を図る中で、健康志向を高め病気予防及び医療費の削減につなげます。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="3">基準</th> <th rowspan="2">22</th> <th rowspan="2">23</th> <th rowspan="2">24</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>軽スポーツ教室数</td> <td>教室</td> <td>18</td> <td>65</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>体力・健康づくり教室数</td> <td>教室</td> <td>18</td> <td>21</td> <td>100</td> <td>110</td> <td>120</td> </tr> </tbody> </table> <p>軽スポーツ、健康づくり教室を年間を通じて開催することにより、体力の向上はもとより、地域での人間関係及び世代を超えた交流の機会とし、スポーツを楽しめる環境づくりを進めます。</p> <p>また、教室開催については市民全体を対象とするため、各地域に出向き、公民館等を活用する中で、輪ゴムやタオル、踏み台等身近なものを使い、手軽に誰にもできる運動教室を実施していきます。</p>						基本計画の指標	単位	基準			22	23	24	年度			軽スポーツ教室数	教室	18	65	10	15	20	体力・健康づくり教室数	教室	18	21	100	110	120
基本計画の指標	単位	基準			22	23			24																						
		年度																													
軽スポーツ教室数	教室	18	65	10	15	20																									
体力・健康づくり教室数	教室	18	21	100	110	120																									

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般	2,274 千円	2,300 千円	2,300 千円	
事業費計		2,274 千円	2,300 千円	2,300 千円		

総合計画実施計画

事業名	総合型地域スポーツクラブ設立事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施策	身近にスポーツを楽しめる環境づくり
	具体的な施策	社会体育の充実

当該事業の概要	<p>「いつでも、どこでも、だれでも」スポーツを楽しむことができる社会を実現するために、その地域に住む「皆さん」が主役となって、自ら運営・管理をする新しいスポーツクラブのシステム、色々な種目を様々な人たちが、その興味・関心や競技レベルを問わず、それぞれのスタイルで楽しむことができるクラブの設立を行います。</p> <p>また、スポーツに限らず、社会・文化的な活動も視野に入れ、地域コミュニティの形成にもつながるクラブを理想とします。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="4">基準</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>22</th> <th>23</th> <th>24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合型地域スポーツクラブ数</td> <td>クラブ</td> <td>18</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに育成団体の掘り起こしを行います。・・・1団体 ・育成、設立 ・新規団体掘り起こし ・研修会及び説明会の開催 	基本計画の指標	単位	基準				年度	22	23	24	総合型地域スポーツクラブ数	クラブ	18	0	1	1	2
基本計画の指標	単位			基準														
		年度	22	23	24													
総合型地域スポーツクラブ数	クラブ	18	0	1	1	2												

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		地 方 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般		0 千円	100 千円		100 千円
事業費計			0 千円	100 千円	100 千円		

総合計画実施計画

事業名	体育施設整備事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施 策	身近にスポーツを楽しめる環境づくり
	具体的な施策	社会体育の充実

当該事業の概要	<p>市民が、安心安全に、又より良い環境でスポーツを楽しめるよう、関連施設の建物及び付属設備の修繕や整備を積極的に行い、社会体育環境の充実を推進していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物本体及び設備の修繕や整備を、計画的に行います。
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>関連施設修繕課題表により、緊急度や重要度を考慮しながら、計画的に修繕や整備を行なっていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象施設→若彦路ふれあいスポーツ館、八代中央スポーツ広場、八代南部スポーツ広場、八代中央水泳プール、八代東部水泳プール、八代弓道場、境川スポーツセンター、境川弓道場、春日居スポーツ広場、春日居弓道場、春日居柔道場、芦川スポーツ広場、芦川テニスコート ・修繕3,900千円(300千円×13施設)→危険箇所緊急解消、施設内各所修繕、附帯設備修繕、水路等敷地構造物修繕など
---------------------	---

		実施年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
		国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
財 源	財源内訳	地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般	3,900 千円	3,900 千円	3,900 千円	
		事業費計	3,900 千円	3,900 千円	3,900 千円	

総合計画実施計画

事業名	文化財保護事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施 策	地域の文化を育み伝える環境づくり
	具体的な施策	文化財の保存・活用

当該事業の概要	<p>笛吹市は山梨県の中でも歴史の古い地域であり、多くの文化財が残されています。市では文化財の所有者と協力しながら、保存と活用を進めていきます。</p> <p>○文化財の保存修理 仏像や建物など古い文化財のなかには傷みがひどく修理が必要なものがあります。国・県の補助金制度を活用して保存修理を進めていきます。</p> <p>○指定文化財の管理 指定文化財の維持管理を、文化財の所有者と協力して進めていきます。</p> <p>○文化財を盗難・被災から守ります。 仏像その他文化財の盗難、寺社などの文化財建造物の被災を、所有者と協働して防ぎます。自動防災設備の設置・拡充に努めます。</p> <p>○民俗芸能の振興 神楽やお囃子など地域に伝えられてきた民俗芸能の保存・後継者育成などに協力していきます。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>○国指定重要文化財(建物)一宮町・慈眼寺の本堂・庫裏・鐘楼門の保存修理 期間は平成21年度から4年間で、国・県の補助金を活用します。 総事業費:332,000千円 国補助金:282,200千円 県補助金:24,900千円 市補助金:12,450千円</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本堂の解体修理:平成21～24年度 2. 鐘楼門の解体修理:平成22～24年度 3. 庫裏の茅屋根の葺き替え:平成24年度 <p>○山梨県指定文化財(彫刻)八代町・瑜伽寺の木造十二神将像(12体)の保存修理 県指定文化財の十二神将像を平成21年度から3体ずつ4年間かけて、県の補助金を使い保存修理を行います。 総事業費:9,908千円 県補助金:3,714千円 市補助金:3,095千円</p>
---------------------	--

財源	実施年度			補助事業名
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
財源内訳	国 県 支 出 金	0 千円	0 千円	0 千円
	地 方 債	0 千円	0 千円	0 千円
	そ の 他	150 千円	150 千円	150 千円
	一 般	6,641 千円	7,035 千円	5,160 千円
事業費計	6,791 千円	7,185 千円	5,310 千円	

総合計画実施計画

事業名	文化財活用事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施 策	地域の文化を育み伝える環境づくり
	具体的な施策	文化財の保存・活用

当該事業の概要	<p>多数の重要な史跡・文化財を活用し、市民の豊かな個性づくりを推進します。</p> <p>○『甲斐国千年の都 笛吹市』にある多くの重要な文化財を活用し、市民が郷土の歴史に親しみ、個性ある文化に満ちた郷土づくりに参加できる環境を作ります。</p> <p>笛吹市は約1500年前から500年前までの間、甲斐の国の中心地でした。4世紀後半に造られた岡・銚子塚をはじめとして、東日本では一番大きな方墳の竜塚古墳、姥塚古墳、非常に珍しい八角形の経塚古墳など特色のある古墳が市内のあちこちにありま。</p> <p>7世紀後半、春日居町には山梨県内最古の寺院である寺本古代寺院が建てられ、8世紀には一宮町に仏教文化の中心と言うべき甲斐国分寺・同国分尼寺が造られました。</p> <p>さらに甲斐国の政治の中心である「国府」が春日居に、「国衙」が御坂町にあったと考えられています。</p> <p>鎌倉時代から戦国時代にかけても笛吹市は武田氏の活動拠点となりました。</p> <p>これら多様多種の歴史・文化財について情報を市民に発信します。</p> <p>○全国的に有名な釈迦堂遺跡では約4,000年前の縄文文化を代表する土器・土偶が出土し、国の重要文化財に指定されています。境川町の一の沢遺跡からも国指定重要文化財になっている素晴らしい縄文土器のセットが発見されています。</p> <p>笛吹市には重要な縄文時代遺跡も多く、遠い祖先たちの自然と調和した生活を学ぶすぐれた資料を豊富に提供してくれています。発掘調査で明らかになった遺跡についての情報を現地見学会、調査報告書、展示など通じて公開していきます。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>○『笛吹市歴史フォーラム』</p> <p>①史跡・文化財の活用を進めるため、年度ごとにテーマを決め『笛吹市歴史フォーラム』を開催します。</p> <p>②『笛吹市歴史フォーラム』の発表内容に応じて成果を冊子にして配布し、市民の文化財理解に役立てます。</p> <p>○『古道めぐり』</p> <p>笛吹市には古代から人々や物がさかんに行きかたつた古道があり、古道をつうじて多くの文化がもたらされました。古道沿いには神社・寺院・石造物等、地域の歴史を伝えてきた文化財が残されています。そこで『古道めぐり』を開催し、地域に残された神社・寺院・石造物等に触れることにより、市民が「ふるさと笛吹市」を振り返り、見つめ直す手助けをします。</p> <p>○『文化財エリアマップ』</p> <p>①御坂町の姥塚古墳周辺地域の文化財エリアマップを作成し、文化財めぐりをする市民や観光客に配布します。</p> <p>②姥塚古墳について、詳しく解説したスポットガイドを作成し、見学者の理解に役立てます。</p>
---------------------	--

		実施年度			補助事業名
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	
財源	財源内訳	国 県 支 出 金	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円
		地 方 債	0 千円	0 千円	0 千円
		そ の 他	0 千円	0 千円	0 千円
		一 般	2,026 千円	2,000 千円	2,000 千円
	事業費計		3,026 千円	3,000 千円	3,000 千円

総合計画実施計画

事業名	史跡甲斐国分寺跡整備事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施 策	地域の文化を育み伝える環境づくり
	具体的な施策	文化財の保存・活用

当該事業の概要	<p>甲斐国分寺跡・国分尼寺跡は奈良時代に聖武天皇の命令によって建てられた古代寺院跡で、国の史跡に指定されています。この国分寺跡・国分尼寺跡を保存し、歴史を体験できる公園として整備を進めます。</p> <p>○史跡保存のために指定地の買上を行います。指定地の総面積は73,884.68㎡です。買上は昭和58年度から開始し、平成21年度までに61.33%の指定地を買上げました(国分寺跡については65.82%、国分尼寺跡については53.80%)。今後も土地の買上を継続します。</p> <p>○史跡は大部分が地下に埋まっているので、発掘によってどのような建物があったのか調査する必要があります。発掘調査を計画的に進め、史跡の様子を明らかにしていきます。</p> <p>21・22年度には中心建物である金堂跡の発掘を行い、基礎の大きさと構造を明らかにしました。このデータをもとに、今後建物の復元図を作成していきます。</p> <p>○発掘調査によって明らかになった史跡の様子をもとに復元整備を行っていきます。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>○甲斐国分寺跡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復元整備のため史跡中心部の発掘調査を行います。 22年度には講堂跡と中門跡・回廊跡などの発掘調査を行います。 ・発掘調査の結果をもとに、復元整備の基本計画を作成していきます。 ・指定地の買上を継続します。22年度には約1,400㎡の買上を計画し、公有化率は約69%に達する予定です。 <p>○甲斐国分尼寺跡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定地の買上を継続します。22年度には約3,300㎡の買上を計画し、公有化率は約66%に達する予定です。 ・発掘調査は、国分寺跡の調査終了後の23年度以降に開始する予定です。
---------------------	--

基本計画の指標	単位	基準				
		18年度	22年度	23年度	24年度	
甲斐国分寺・国分尼寺跡史跡	%	18	41	68	71	75
指定地の土地公有化率	㎡		30,334	50,118	52,652	55,811

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		79,971 千円	104,887 千円		100,222 千円
		地 方 債		0 千円	0 千円		0 千円
		そ の 他		0 千円	0 千円		0 千円
		一 般		12,259 千円	12,955 千円		12,437 千円
事業費計			92,230 千円	117,842 千円	112,659 千円		

史跡等購入費補助金
国宝重要文化財等
保存整備費補助金
県文化財保存事業
費補助金

総合計画実施計画

事業名	博物館特別展開催事業	
施策体系	まちづくりの方向	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり
	施 策	地域の文化を育み伝える環境づくり
	具体的な施策	地域文化の育成・伝承

当該事業の概要	<p>春日居郷土館・八代郷土館での展示と催しを通じて市民文化を振興し、地域の歴史への理解を深めます。</p> <p>特定の人物の芸術作品などによる特別展、郷土の文化財、歴史、伝統行事に焦点をあてた企画展を開催し、また教室を通じて、芸術・文化に親しむ機会を提供し、郷土史の理解を促し、ふるさとを愛する心をはぐくみます。</p> <p>○春日居郷土館では「特別展」、「企画展」(「わが町の8月15日展」(1119人の遺影展示)など)の開催と小川正子記念館の公開を行っています。</p> <p>○八代郷土館では七夕会、ワラ細工教室、野点茶会を市指定文化財(建造物)の江戸中期民家を利用して開催します。旧大森銀行建物では民具を展示しています。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準	22	23	24
		単位	年度			
	文化イベント参加者数	人	18	5,050	5,250	5,350
	市民が地域の歴史・文化に親しむために、故郷にゆかりのある芸術家等をテーマにした企画展や、江戸中期の民家で七夕会、ワラ細工教室、野点茶会を開催します。					
	年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	企画展等					
	春日居郷土館	「広井力作品展」、「市所有美術品展」、「わが町の8月15日展」	「絵画展」 「企画展」 「わが町の8月15日展」	「陶芸展」 「企画展」 「わが町の8月15日展」		
	八代郷土館	七夕会 ワラ細工教室 野点茶会	七夕会 ワラ細工教室 野点茶会	七夕会 ワラ細工教室 野点茶会		

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円		
		地 方 債	千円	千円	千円		
		そ の 他	360 千円	300 千円	300 千円		
		一 般	672 千円	700 千円	700 千円		
	事業費計	1,032 千円	1,000 千円	1,000 千円			

第4節

将来像実現に 向けた取り組み

総合計画実施計画

事業名	男女共同参画推進事業	
施策体系	まちづくりの方向	将来像実現に向けた取り組み
	施 策	市民の主体的な活動を支えるしくみづくり
	具体的な施策	男女共同参画社会の実現

当該事業の概要	<p>男女が社会の対等な構成員として、自らの意志によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、責任を担う社会の実現のため、推進委員会の活動を支援します。また、男女共同参画社会の実現のための女性があらゆる社会的活動に参画することができるよう女性団体の活動を支援します。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準		22	23	24
		単位	年度				
	審議会等女性委員の登用率	%	20	19.5	20	21	22
	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画社会を実現するための推進活動を促進します。また、あらゆる社会的活動に参画することができるような女性団体支援を目的として、連絡協議会活動を支援します。 男女共同参画推進委員会の活動支援。 笛吹市女性団体連絡協議会活動費の支援。 男女共同参画推進条例の制定・推進 <ul style="list-style-type: none"> 第二次男女共同参画プラン策定 						
	手段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考		
男女共同参画推進委員会推進活動	委員会活動		改選 委員会活動	委員会活動			
男女共同参画フォーラム開催	実行員会 開催		実行員会 開催	実行員会 開催			
第二次男女共同参画プラン策定	策定部会開催 策定		推進活動				
男女共同参画推進条例の策定	策定						

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般	2,744 千円	1,744 千円	1,744 千円	
事業費計		2,744 千円	1,744 千円	1,744 千円		

総合計画実施計画

事業名	まちづくり推進事業	
施策体系	まちづくりの方向	将来像実現に向けた取り組み
	施 策	市民の主体的な活動を支えるしくみづくり
	具体的な施策	NPO・ボランティア団体の活動支援

当該事業の概要	<p>高齢化や核家族化、また生活意識や生活様式の多様化等により、地域社会の連帯感が希薄化しつつある一方で、市民の視点で市民自身が主体となった「新しい公共」を創り上げていくことが求められ、子どもの地域教育や高齢者同士の助け合い、地域の環境整備や犯罪の予防等、地域コミュニティの役割が重要であると考えます。こうした課題解決のためには、地域フレームや地域の様々な団体が一体となったアクションが必要であり、さらに積極的な市民活動の醸成が必要となります。</p> <p>本市では、そうした新しい公共をめざした「市民と行政との協働」の取り組みを実現していくために、市民の社会貢献活動を支援していくことをミッションとした「市民活動支援」を進めていきます。</p> <p>市民活動の基本は、市民の自主的、自発的な取り組みでなくてはなりません。ボランティア団体、NPO法人を育成し、地域、行政との有機的な連携体制を整え、市民自身が中心となって市民の連携による地域づくりの取り組みや行政との協働事業が実現できるように市民活動を支援していくものです。</p> <p>具体的には、地域振興基金運用益を活用した「市民ボランティア・NPO助成事業」「地域振興促進助成事業」の実施により、市民活動の活性化を図るとともに、市民活動のきっかけ作りとしてワークショップや市民協働講座などの取り組みを進めます。また、市民活動支援検討会議を設置し、市民活動の活性化のための市民活動支援センターなど活動スペースやよっちゃばるネットの活用による情報発信、情報共有、市民活動支援のしくみを市民協働の実践として、市民やボランティア、NPOの市民活動団体方たちとの協議を進めています。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標	基準		22	23	24	
		単位	年度				
	地域活動実施団体数(実数)	団体	20	26	50	60	80
	NPO法人・市民ボランティア数	団体	20	72	120	130	140
	ポータルサイトに登録されたNPO法人・市民ボランティア団体等の数	団体	21	38	50	70	100

○市民協働・市民活動支援講座、市民協働視察、フォーラムの開催
 ○市民活動促進のためのワークショップ、市民協働の取り組みの開催
 ○市民活動支援会議による市民活動支援センターや活動支援施策の検討
 ○市民ボランティア・NPO助成事業、地域振興促進助成事業の実施
 (市民ボランティア・NPO助成事業1,000,000円、地域振興促進助成事業9,000,000円)
 ○市民活動・地域づくり支援ポータルサイトの運用

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	13,159 千円	13,159 千円	13,159 千円	
		一 般	千円	千円	千円	
	事業費計	13,159 千円	13,159 千円	13,159 千円		

総合計画実施計画

事業名	市民ミーティング事業	
施策体系	まちづくりの方向	将来像実現に向けた取り組み
	施 策	市民と行政のパートナーシップづくり
	具体的な施策	協働のまちづくりの推進

当該事業の概要	<p>市民に、現在の市の課題や事業への取り組み状況などの情報をお知らせするとともに、それぞれの団体・グループの抱える課題やまちづくりについて、市民と市長などが直接意見交換を行い、情報を共有することで、市民に開かれた行政の実現と市民と行政による協働のまちづくりを目指しています。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="3">基準</th> </tr> <tr> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民ミーティング開催数</td> <td>件</td> <td>18</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「対象限定型」又は「公募型」により開催します。 ・「対象限定型」は、市が設けたテーマ、開催地域等を考慮し市民又は団体、グループが対象となります。 ・「公募型」は、市行政関係団体、市民団体、行政区等自治組織、その他市内に在住、在学又は在勤の者で構成するグループが対象となります。 ・参加人数は、概ね10人以上50人以内(対象限定型は、50人以上も有)とします。 ・開催時間は、午前9時から午後10時までのうち2時間以内とします。 ・開催場所は、原則として笛吹市内です。 ・年間を通して、ホームページなどでPRしていきます。</p>	基本計画の指標	単位	基準			22年度	23年度	24年度	市民ミーティング開催数	件	18	7	9	9	10
基本計画の指標	単位			基準												
		22年度	23年度	24年度												
市民ミーティング開催数	件	18	7	9	9	10										

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		地 方 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般		千円	千円		千円
事業費計			千円	千円	千円		

総合計画実施計画

事業名	広報発行事務	
施策体系	まちづくりの方向	将来像実現に向けた取り組み
	施 策	親しみやすく機能的な市役所づくり
	具体的な施策	広報の充実と情報公開の推進

当該事業の概要	市民に、市役所からの行政情報及び地域での活動や日常生活に役立つ情報を分かりやすく提供するため、月1回広報紙を発行しています。
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">目標</td> <td style="text-align: center;">22年度</td> <td style="text-align: center;">23年度</td> <td style="text-align: center;">24年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">広報紙を読んでいる市民の割合</td> <td style="text-align: center;">88%</td> <td style="text-align: center;">89%</td> <td style="text-align: center;">90%</td> </tr> </table> <p>※ 広報紙を読んでいる市民の割合については、経営政策部財政課において集計している「まちづくり基礎調査票」の数値による</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各部局からの行政情報を取りまとめ広報ふえふきを毎月1回発行（発行部数年間26,300部） ・自治会を通して、市内全世帯に配布するとともに公共施設・金融機関に設置して市民が入手できるようにします。 ・希望する視覚障害者には、カセットテープに録音した「声の広報」を提供します。 ・年間を通して、各部局と連携を図り、広報原稿作成、編集、校正、発行を行います。 	目標	22年度	23年度	24年度	広報紙を読んでいる市民の割合	88%	89%	90%
目標	22年度	23年度	24年度						
広報紙を読んでいる市民の割合	88%	89%	90%						

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		地 方 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般		17,674 千円	17,600 千円		17,600 千円
	事 業 費 計		17,674 千円	17,600 千円	17,600 千円		

総合計画実施計画

事業名	ホームページ管理事務	
施策体系	まちづくりの方向	将来像実現に向けた取り組み
	施策	親しみやすく機能的な市役所づくり
	具体的な施策	広報の充実と情報公開の推進

当該事業の概要	<p>市政情報や市民に密着した情報、県内外からの笛吹市訪問者に対しての観光情報などを笛吹市公式ホームページを使い、各課と連携を取りながら、詳細かつ速やかに提供しています。</p> <p>また、市内4箇所に設置してあるライブカメラの保守を行います。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準			
		単位	年度	22	23	24
	市ホームページアクセス件数(visits)	千件	18	825	1,209	1,330
	<ul style="list-style-type: none"> ・市政情報の更新を各課と連携を取りながら、新鮮な情報を提供します。 ・イベント情報を分かりやすく掲載することで、観光情報の充実を図ります。 ・制度改正の最新情報や生活関連情報を充実させることによって、市民生活の利便性が向上できるように取り組みます。 ・現在固定されているホームページの画面フレームを訪問者の利用機器に合わせ表示できるように修正します。 ・年間を通して、ホームページに掲載している情報を確認し、更新していきます。 					

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国	県支出金	千円	千円	
地		方債	千円	千円	千円	
そ		の他	千円	千円	千円	
一		般	2,011 千円	2,000 千円	2,000 千円	
事業費計		2,011 千円	2,000 千円	2,000 千円		

総合計画実施計画

事業名	行政放送事業	
施策体系	まちづくりの方向	将来像実現に向けた取り組み
	施 策	親しみやすく機能的な市役所づくり
	具体的な施策	広報の充実と情報公開の推進

当該事業の概要	<p>新たな広報媒体として、動画の利点を活かした分かりやすい行政情報番組を制作し、市内外に向けて、ホームページやCATVなどで放送することにより、行政からの情報発信に努めています。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">目標</th> <th style="text-align: center;">22年度</th> <th style="text-align: center;">23年度</th> <th style="text-align: center;">24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">動画による情報発信数</td> <td style="text-align: center;">17本</td> <td style="text-align: center;">20本</td> <td style="text-align: center;">23本</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「笛吹市この一年」や市長によるあいさつ、定例市議会等の動画を制作し、ホームページや市内CATV局において情報発信します。</p> <p>・作成した行政情報番組は、常時ホームページに掲載しており、いつでも閲覧できるようにしています。</p> <p>・行政放送事業の課題として、現在市内には2つのCATV事業者が地域展開しており、市で制作した行政情報番組を市内全域に放送するには、2つのCATV事業者との連携が必要となってきます。しかしアナログ放送から地上デジタル放送への過渡期ということもあり停滞しています。</p> <p>・年間スケジュールとしては、「市長あいさつ」を春、夏、新年と年3回制作しており、また10月の市制祭に併せ「笛吹市この一年」を制作しています。</p>	目標	22年度	23年度	24年度	動画による情報発信数	17本	20本	23本
目標	22年度	23年度	24年度						
動画による情報発信数	17本	20本	23本						

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		地 方 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般		3,384 千円	3,300 千円		3,300 千円
事業費計			3,384 千円	3,300 千円	3,300 千円		

総合計画実施計画

事業名	情報セキュリティ対策事業		
施策体系	まちづくりの方向	将来像実現に向けた取り組み	
	施 策	親しみやすく機能的な市役所づくり	
	具体的な施策	信頼できる電子自治体の構築	

当該事業の概要	<p>市の取り扱う各情報システムには市民の個人情報等、外部への漏洩が発生した場合、極めて重大な結果を招く情報が数多く含まれています。本市における情報資産の機密性、完全性及び可用性を維持するため、笛吹市情報セキュリティポリシー基本方針、対策基準及び実施手順書に基づく物理的セキュリティ、人的セキュリティ、技術的セキュリティの対策を行い、情報資産が適切に管理、利用されるよう情報セキュリティの向上を図ります。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>情報通信技術を駆使した機能的な電子市役所を実現するため、サービス内容を工夫していくとともに個人情報の保護を徹底し、信頼できる情報システムを構築します。 情報漏洩に関する事故は、人的ミスによるものが最も多いことから、職員研修を実施し、情報セキュリティに対する意識向上に努めるとともに、物理的な対策を施します。</p>															
	<p>機密性: 許可された者だけが情報にアクセスできること。 完全性: 情報の正確性を常に維持すること。 情報が改ざん、または破壊されないようにすること。 可用性: 利用したいときに、確実に利用できること。</p>															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>手 段</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セキュリティ研修の実施</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>新たな物理的・技術的セキュリティ対策の導入</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手 段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考	セキュリティ研修の実施	○				新たな物理的・技術的セキュリティ対策の導入	→			
	手 段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考											
セキュリティ研修の実施	○															
新たな物理的・技術的セキュリティ対策の導入	→															

財 源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		地 方 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般		10,470 千円	12,000 千円		12,000 千円
	事業費計		10,470 千円	12,000 千円	12,000 千円		

総合計画実施計画

事業名	住基カード普及促進事業	
施策体系	まちづくりの方向	将来像実現に向けた取り組み
	施策	親しみやすく機能的な市役所づくり
	具体的な施策	信頼できる電子自治体の構築

当該事業の概要	<p>市民生活の利便性の向上を図るため市内7ヶ所、甲州市1ヶ所に証明書自動交付機を設置し、年末年始を除き毎日いずれかの証明書自動交付機を利用して住民票の写しや印鑑登録証明書が広域的に取得できるサービス業務を実施します。 多くの市民の方々に証明書自動交付機を利用していただくため、住民基本台帳カードの利便性をお知らせしカードの取得推進を図ります。</p>
	<p>1 「住民基本台帳カードの周知活動」：住民基本台帳カードについて市民の認知度を高める活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報への掲載、ホームページ上での動画の放映 ・窓口での啓発（来庁者への口頭勧誘、チラシの配付） ・各種団体への文書による啓発 ・公用車（共有車）への掲示 ・啓発推進強化月間での啓発（イベント、市民が多く集まる場所での啓発活動）
	<p>2 「住民基本台帳カードの取得環境の整備」：住基カードを取得しやすい環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真付き本人確認資料を持っている取得希望者へ即日交付を行います。 ・毎月第1・第3日曜日の日曜窓口においてカードの交付を行ないます。また、他の日曜窓口においてもカードの交付申請受付を行ないます。 ・啓発推進強化月間中は毎日曜窓口において即日交付を実施します。 ・写真付住基カードの普及を目指し証明写真の無料撮影サービスの実施します。 ・支所での交付の実施について検討します。
	<p>3 「利用サービスの拡大」：住基カードに付加価値を付けるための研究・検討及び利用場所の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンビニでの証明書交付について検討します。 ・将来の電子自治体のツールとしての住民基本台帳カードの活用度を高めるため、利用サービスの拡大について他課と連携して検討します。

目標・手段・スケジュール	基本計画の指標		基準				22	23	24						
		単位	年度												
	住基カードの普及率	%	20	8.6	19.0	22.4	25.0								
	手段		スケジュール(H22～H24)												
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	窓口での啓発（口頭、チラシ配付）	←							(通年)						→
	市HP掲載による啓発（動画放映）	←							(通年)						→
	広報ふえふきによる啓発	←							(通年)						→
	第1・第3日曜窓口での申請受付・交付	←							(通年)						→
	啓発推進強化月間									●					●
公用車への掲示による啓発	←								(通年)					→	
利用サービスの拡大の検討	←								(通年)					→	

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
		地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般	7,392 千円	7,392 千円	7,392 千円	
事業費計		7,392 千円	7,392 千円	7,392 千円		

総合計画実施計画

事業名	公有財産管理事業	
施策体系	まちづくりの方向	将来像実現に向けた取り組み
	施策	親しみやすく機能的な市役所づくり
	具体的な施策	機能的なサービス体制の構築

当該事業の概要	<p>未利用土地の売却 市が所有する土地は、旧町・村から引き継がれたものをはじめ、多くは行政が事務事業を行う上で必要とし取得してきたものです。「公共の福祉」のために利活用することが望ましい姿ですが、現実的には行政目的が喪失し、将来的な利用計画が定められていない財産や、社会情勢の変化等により長期にわたり事業着手されていない未利用財産が存在しています。</p> <p>このため、所有する未利用財産の有効な利活用が可能な財産か見極め、売却や貸付け等により歳入の増加や維持管理等による歳出の削減効果が見込まれます。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・公有財産台帳システム構築等業務委託による土地台帳の整備 ・未利用土地の現地調査等による状況把握 ・個別物件の処分方法等検討(公共財産管理運用検討委員会) ・物件調書等作成(境界確認、予定価格) ・入札、公募及び随契による売却 <p>○平成22年度: 笛吹市土地台帳の整備、未利用地の把握 ○平成23年度: 処分方法等の検討、対象地確認 ○平成24年度: 入札、公募及び随契による売却 ○払下げ要望のある土地については随時対応します。</p>
---------------------	---

財源	実施年度			補助事業名
	平成22年度			
	平成23年度			
	平成24年度			
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	
地 方 債		千円	千円	千円
そ の 他		千円	千円	千円
一 般		1,355 千円	4,437 千円	3,037 千円
事業費計		1,355 千円	4,437 千円	3,037 千円

総合計画実施計画

事業名	議会運営事業	
施策体系	まちづくりの方向	将来像実現に向けた取り組み
	施 策	健全で安定した行財政基盤づくり
	具体的な施策	安定した行政経営の実現

当該事業の概要	<p>市議会の運営は、本会議、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会で構成されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本会議(定例会、臨時会)委員会等の開催準備資料の作成と議員活動の支援業務及び執行部との連絡調整を行います。年4回開催される笛吹市議会定例会の内容を中心に、議会活動に関する諸事項及び市政に関する情報を広く市民に公開し、あわせて市議会に対する理解と認識を深めてもらうため、全世帯対象に 議会だよりを発行します。 ・常任委員会は、3つの常任委員会を設置し、それぞれ分担しながら専門的な審査調査を行っています。 ・議会運営委員会は、市議会を円滑に、かつ効率的に運営するため、各党派から選出された委員により構成されています。定例会、臨時会の会期や議案の取扱など、議会運営にかかわる事項について協議を行います。 ・特別委員会は特定の案件を審査・調査するために本会議の議決により必要に応じて、設定されます。その委員会を設置した目的が達成されると委員会の任務は終了します。その他議案の審査又は議会の運営に関し協議又は調整を行うための場として、全員協議会、議会改革検討委員会、議会放映編集委員会、党派代表者会議、正副委員長会議が設けられています。
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑な議会運営を進めます。 ・議会活動を広く市民に公開し、市議会に対する理解と認識を深めてもらいます。 ・研修等により、知識の習得に努めます。 ・議会だよりを、定例会の翌月年4回作成し、全世帯に配布します。
---------------------	---

		実施年度			補助事業名
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	
財源	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円
		地 方 債	千円	千円	千円
		そ の 他	千円	千円	千円
		一 般	19,046 千円	18,196 千円	18,196 千円
	事業費計		19,046 千円	18,196 千円	18,196 千円

総合計画実施計画

事業名	公平委員会事務	
施策体系	まちづくりの方向	将来像実現に向けた取り組み
	施 策	健全で安定した行財政基盤づくり
	具体的な施策	安定した行政経営の実現

当該事業の概要	<p>公平委員会は、地方公共団体において、職員の任免、懲戒等の人事権の行使を適正に行うために設けられた、各任命権者から独立した行政委員会であり、地方公務員法第7条によってその設置が義務付けられています。</p> <p>公平委員会の事務は、地方自治法第202条の2第2項及び地方公務員法により定められた、職員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する措置の要求を審査、判定し、及び必要な措置を執ること。職員に対する不利益な処分についての不服申立てに対する裁決、または決定すること。職員からの苦情相談を行うこと。また、職員団体から団体の登録申請や管理職員等の範囲を定めます。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>職員からの要求や申立て及び相談により、随時対応します。 審査に備え委員や職員の知識習得のための研修を行います。</p>
---------------------	--

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		地 方 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般		1,041 千円	1,041 千円		1,041 千円
事業費計			1,041 千円	1,041 千円	1,041 千円		

総合計画実施計画

事業名	監査委員事務	
施策体系	まちづくりの方向	将来像実現に向けた取り組み
	施 策	健全で安定した行財政基盤づくり
	具体的な施策	安定した行政経営の実現

当該事業の概要	<p>行財政の執行及び管理が効率的且つ適正、適法に執行されているかを監査します。 例月出納検査、定期監査(学校事務監査含む)、決算審査、財政援助団体監査、指定管理者監査などを実施します。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>監査計画に基づき各種監査を実施します。 監査の内容を向上させるため、監査委員および職員の知識の習得のため研修を実施します。</p>																																			
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">手 段</th> <th style="width: 25%;">平成22年度</th> <th style="width: 25%;">平成23年度</th> <th style="width: 25%;">平成24年度</th> <th style="width: 10%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>例月出納検査</td> <td>毎月20日に実施</td> <td>毎月20日に実施</td> <td>毎月20日に実施</td> <td></td> </tr> <tr> <td>定期監査</td> <td>監査</td> <td>監査</td> <td>監査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>決算審査</td> <td>審査 ○</td> <td>審査 ○</td> <td>審査 ○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>財政援助団体監査</td> <td>監査</td> <td>監査</td> <td>監査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定管理者監査</td> <td>監査</td> <td>監査</td> <td>監査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事監査</td> <td>監査 ○</td> <td>監査 ○</td> <td>監査 ○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手 段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考	例月出納検査	毎月20日に実施	毎月20日に実施	毎月20日に実施		定期監査	監査	監査	監査		決算審査	審査 ○	審査 ○	審査 ○		財政援助団体監査	監査	監査	監査		指定管理者監査	監査	監査	監査		工事監査	監査 ○	監査 ○	監査 ○	
手 段	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考																																
例月出納検査	毎月20日に実施	毎月20日に実施	毎月20日に実施																																	
定期監査	監査	監査	監査																																	
決算審査	審査 ○	審査 ○	審査 ○																																	
財政援助団体監査	監査	監査	監査																																	
指定管理者監査	監査	監査	監査																																	
工事監査	監査 ○	監査 ○	監査 ○																																	

実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
財 源	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	
		地 方 債	千円	千円	千円
		そ の 他	千円	千円	千円
		一 般	1,601 千円	1,601 千円	1,601 千円
		事業費計	1,601 千円	1,601 千円	1,601 千円

総合計画実施計画

事業名	行政改革推進事業	
施策体系	まちづくりの方向	将来像実現に向けた取り組み
	施 策	健全で安定した行財政基盤づくり
	具体的な施策	行政改革の推進

当該事業の概要	<p>[概要] 行政の制度・組織・運営を改めます。</p> <p>[目的] 市役所各部署が、自ら課題解決に向けた具体策を考え、計画的に改善改革に取り組むようになります。</p> <p>⇒結果 ①限られた経営資源の中で総合計画の将来像実現を目指します。 ②将来にわたって健全で安定した行財政運営の実現を目指します。</p> <p>[経緯]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H17～H21年度: 第1次行革大綱等に基づいて改革を実施しました。 ・H20下半期～H21年度: 第2次行革大綱を策定しました。 ・H22年度～: 第2次行革大綱に基づいて改革を推進していきます。
----------------	---

目標・手段・スケジュール	[目標=成果指標]	H22	H23	H24
	市税納税率(現年度)	95.5%	96.0%	96.3%
	職員数(翌年4月1日人数)	652	643	631
	繰出金削減額	0.2億円	0.2億円	1.2億円
	[具体的な手段]	<p>①各課に対して行政改革実施計画の作成を促します。</p> <p>②行政改革実施計画の目標達成度や取り組みの進捗度を把握します。</p> <p>③庁内改革本部を開催して各課の改革を指導します。</p>		
	[H22～H24年度のスケジュール]	H22	H23	H24
第1次行財政改革	進捗管理(Check)→検証(Action)			
第2次行財政改革	改革(Do)→進捗管理(Check)			

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		地 方 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般		316 千円	316 千円		316 千円
事業費計			316 千円	316 千円	316 千円		

総合計画実施計画

事業名	住民税管理事務(eLTAX活用による申告の推進)	
施策体系	まちづくりの方向	将来像実現に向けた取り組み
	施 策	健全で安定した行財政基盤づくり
	具体的な施策	健全な財政基盤の確立

当該事業の概要	<p>平成21年度から公的年金受給者の市・県民税を公的年金から特別徴収の方法により徴収する制度が始まり、日本年金機構等と市とのデータ授受のためeLTAXを導入しております。当市では平成21年3月から公的年金からの特別徴収事務処理以外に、法人市民税の申告届出、給与支払報告書の報告についてもeLTAXの運用を開始いたしました。eLTAXによる申告(法人市民税申告届出、給与支払報告書)は、納税者の利便性の向上(申告業務の大幅な合理化とコスト削減)を図ることができます。また、平成23年1月からはe-TAXとeLTAXの連携により確定申告書(住民税用)の内容が税務署より送信される予定です。この国税との連携により、賦課資料入力期間の短縮と保管場所の軽減が図れます。</p> <p>○平成21年度実績見込件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人市民税申告件数 2,000件の内、電子申告(eLTAX)申告件数 500件 ・給与支払報告書報告件数 5,000件の内、電子申告(eLTAX)申告件数 500件
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>目標 法人市民税電子申告数 700件 給与支払報告書電子報告件数 1,000件</p> <p>手段 eLTAXの運用に関しては、地方税電子化協議会が行っており利用できる団体を公表しています。また、ホームページ、広報でも周知を行います。法人市民税申告者には、申告書送付時にeLTAXが利用できる旨通知等を行うとともに、給与支払報告書の報告にもeLTAXが利用できることを例年11月に開催している年末調整説明会で周知し、特別徴収事業所への総括表発送時にチラシを同封し啓発を行います。</p> <p>年金特徴スケジュール 5月25日 公的機関から対象者の通知(年金の種類) 7月31日 年金特徴依頼通知(公的機関へ) 9月30日 公的機関年金特徴依頼処理結果通知</p> <p>徴収の方法 「新規の場合」年税額の半分が普通徴収(1期・2期)残り半分が特別徴収(10月・12月・2月)、仮徴収(翌年4月・6月・8月)＊2月徴収額を参照 「継続の場合」仮徴収(翌年4月・6月・8月)された税額と年税額の差額を特別徴収(10月・12月・2月)します。</p>
---------------------	--

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名	
	財源内訳	国 県 支 出 金		千円	千円		千円
		地 方 債		千円	千円		千円
		そ の 他		千円	千円		千円
		一 般		12,750 千円	3,500 千円		3,500 千円
事業費計			12,750 千円	3,500 千円	3,500 千円		

総合計画実施計画

事業名	資産税管理事務	
施策体系	まちづくりの方向	将来像実現に向けた取り組み
	施 策	健全で安定した行財政基盤づくり
	具体的な施策	健全な財政基盤の確立

当該事業の概要	<p>笛吹市内における、毎年1月1日（「賦課期日」という。）現在の固定資産（土地、家屋、償却資産）の所有者に、その固定資産の価格をもとに算定した税額を課する事業です。</p> <p>①固定資産を評価し、その価格を決定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地と家屋は3年に一度評価替えが行われます。 ・償却資産は1月1日現在の所有の状況を申告する制度となっています。 <p>②土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月1日から7月31日まで間、課税台帳をもとに作成する縦覧帳簿を縦覧に付します。 <p>③納税通知書を納税者あてに通知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月1日に発送できるように準備します。
----------------	---

目標・手段・スケジュール	<p>毎年1月1日（「賦課期日」という。）現在の固定資産（土地、家屋、償却資産）の所有者に、その固定資産の価格をもとに算定した税額を賦課します。</p> <p>○課税台帳を整理補完</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法務局からの税務通知書、農業委員会の転用許可情報、建築確認申請許可情報、住民からの連絡などの課税客体の異動情報をもとに現地調査を行い現況を確認して課税台帳に必要事項を入力します。 <p>○評価替業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年に一度土地及び家屋について評価替えを行います。次回の評価替えは平成24年度です。そのための準備を平成21年度からおこないます。 <p>○航空写真撮影業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価替えにあわせ航空写真を撮影し、固定資産税課税の基礎資料とします。
---------------------	---

		実施年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
		国 県 支 出 金	千円	千円	千円	
財 源	財 源 内 訳	地 方 債	千円	千円	千円	
		そ の 他	千円	千円	千円	
		一 般	47,870 千円	49,000 千円	25,000 千円	
		事 業 費 計	47,870 千円	49,000 千円	25,000 千円	

総合計画実施計画

事業名	市税等収税事業	
施策体系	まちづくりの方向	将来像実現に向けた取り組み
	施 策	健全で安定した行財政基盤づくり
	具体的な施策	健全な財政基盤の確立

当該事業の概要	<p>市税等の収納率向上を図ることは、「税負担の公平性の確保」及び貴重な「自主財源の確保」の観点から、重要な課題であります。</p> <p>しかしながら、本市の市税の収納率はH20年度現年分94.4%・過年分11.3%と依然低い水準にあります。こうした状況を放置すれば、住民の税行政への信頼が揺らぎ、更なる収納率の低下が懸念されます。</p> <p>そのため、市税等の徴収体制を強化し、滞納額の縮減を図ります。</p>
----------------	---

目標・手段・スケジュール	目標	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">基準</th> <th rowspan="2">22</th> <th rowspan="2">23</th> <th rowspan="2">24</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>徴収率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市税収納率(現年度)</td> <td>%</td> <td>18</td> <td>94.2</td> <td>95.5</td> <td>96.0</td> <td>96.3</td> </tr> <tr> <td>市税収納率(過年度)</td> <td>%</td> <td>18</td> <td>8.5</td> <td>14.5</td> <td>15.0</td> <td>16.0</td> </tr> </tbody> </table>							単位	基準		22	23	24	年度	徴収率	市税収納率(現年度)	%	18	94.2	95.5	96.0	96.3	市税収納率(過年度)	%	18	8.5	14.5	15.0	16.0
		単位	基準		22	23	24																							
			年度	徴収率																										
市税収納率(現年度)	%	18	94.2	95.5	96.0	96.3																								
市税収納率(過年度)	%	18	8.5	14.5	15.0	16.0																								
手段	<p>①現年度課税分の徴収強化。</p> <p>②悪質滞納者への厳正な滞納処分の実施。</p> <p>③無財産、生活困窮者、所在不明者等への調査・執行停止処分。</p> <p>④県及び県内市町村との不動産共同公売の実施。</p> <p>⑤動産・自動車の差押とインターネット公売の実施。</p> <p>⑥「山梨県地方税滞納整理推進機構」への職員派遣。</p> <p>⑦徴収強化月間の実施。</p>																													

財源	実施年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	補助事業名
	財源内訳	国	県支出金	千円	千円	
地		方債	千円	千円	千円	
そ		の他	千円	千円	千円	
一		般	10,819 千円	11,000 千円	11,000 千円	
事業費計			10,819 千円	11,000 千円	11,000 千円	

総合計画実施計画

事業名	財務管理事業(財務統計事務)	
施策体系	まちづくりの方向	将来像実現に向けた取り組み
	施 策	健全で安定した行財政基盤づくり
	具体的な施策	健全な財政基盤の確立

当該事業の概要	<p>市の行財政運営については、厳しい地方財政状況のもと、これまでに引き続き、歳入歳出全般にわたる徹底した見直しを行いながら、財政健全化を進めるとともに、効率的な財政経営を進めるため、積極的に情報を開示していくことが求められています。</p> <p>本市においては、普通会計に加え、特別会計、公営事業会計等の経営状況も含めた総合的な財務諸表である連結財務書類の策定と財政健全化判断比率の公表を行います。住民に対する開示による透明性の向上と説明責任の履行を図り、また行政経営への活用によりマネジメント力の向上と資産・債務の適切な管理を図るものであり、市が住民の理解と協力を得ながら、より広い範囲で健全な財政基盤を確立して行きます。</p>
----------------	--

目標・手段・スケジュール	<p>財務書類、財政健全化比率の算定結果を踏まえ、市の事業執行に当たっては、経常経費の抑制と地方債の発行を抑え健全な財政基盤の確立に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方財政状況調査表を作成します。
---------------------	---

財 源	実施年度			補助事業名
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
財 源 内 訳	国 県 支 出 金	千円	千円	千円
	地 方 債	千円	千円	千円
	そ の 他	千円	千円	千円
	一 般	654 千円	654 千円	654 千円
	事 業 費 計	654 千円	654 千円	654 千円

施策の体系

基本構想

基本計画

将来像

まちづくりの方向

施策

具体的な施策

実り多い産業と、
人々の集うまちづくり

環境にやさしく、安心して
健やかに暮らせるまちづくり

個性輝く人々が育ち、
活躍するまちづくり

みんなが奏でる
“ごきわい・やすらぎ・きらびめき”のハーモニー

適切な土地利用を誘導する計画的なまちづくり	「調和のとれた土地利用の推進」「特色ある都市計画の推進」 「農林業地域の秩序ある土地利用の推進」
人が行き交う道路・交通ネットワークづくり	「幹線道路網の整備」「公共交通網の整備」 「交通の拠点整備」
機能的で魅力ある市街地づくり	「市街地の整備」「魅力ある街並みの形成」
人々の交流を盛んにするしくみづくり	「内外の交流促進」「交流機会の充実」
もてなしの心があふれる観光地づくり	「資源を活かした観光メニューづくり」 「もてなしの心を持った人材の育成」「プロモーション活動の展開」
魅力的で安定性のある農林業づくり	「農業基盤の整備」「農業の担い手確保」 「農業経営の支援」「林業の新たな展開」
桃・ぶどう日本一を誇れる郷づくり	「笛吹ブランドの確立」「桃・ぶどうの販路拡大」 「付加価値の高い特産品の開発」
活力ある地域経済づくり	「優良企業の誘致」「中小企業の自立促進」 「特色ある商店街の形成」
安定した就業環境づくり	「安定した就業への支援」

安全・安心のための備えづくり	「災害への対策」「防犯・交通安全対策」 「救急医療体制の整備」
便利で暮らしやすい生活環境づくり	「生活上の基礎的な基盤整備」 「より便利な生活環境の整備」
快適で美しい都市づくり	「生活排水の処理」 「公害対策と環境美化」
限りある資源を大切にす循環型社会づくり	「ごみ資源の循環利用の推進」 「温室効果ガスの削減」
憩いと癒しの空間づくり	「森林環境の保全」「身近な自然環境の整備」 「公園機能の充実」
健やかで生きいきと暮らせる環境づくり	「生涯を通じた健康づくりの推進」 「健康を支える環境づくりの推進」
安心して生み育てられる環境づくり	「安心してあずけられる保育」「子どもの安全な環境整備」 「子育て情報の共有」「妊産婦への支援」
高齢者がいつまでも元気で暮らせる環境づくり	「介護予防と社会参加の促進」 「介護サービスと在宅生活支援」
障害者の自立を支援する環境づくり	「障害者の自立支援」 「ノーマライゼーションの推進」
暮らしの基礎を支える安心なしくみづくり	「保険制度の円滑な運営」 「権利擁護と自立生活への支援」

子どもたちの個性を尊重する学校づくり	「学力向上と心身を育む学校教育」「教育環境の充実」 「学校と地域との連携」
子どもの健やかな成長を支える環境づくり	「地域での健全育成」「家庭での健全育成」 「社会での健全育成」
いつでも、どこでも、だれでも学べる環境づくり	「生涯学習の充実」
身近にスポーツを楽しめる環境づくり	「社会体育の充実」
地域の文化を育み伝える環境づくり	「文化財の保存・活用」 「地域文化の育成・伝承」

市民の主体的な活動を支えるしくみづくり	「主体的な地域活動の促進」「NPO・ボランティア団体の活動支援」 「男女共同参画社会の実現」
市民と行政のパートナーシップづくり	「協働のまちづくりの推進」
親しみやすく機能的な市役所づくり	「広報の充実と情報公開の推進」「市民の声が届く行政運営」 「信頼できる電子自治体の構築」「機能的なサービス体制の構築」
健全で安定した行財政基盤づくり	「安定した行政経営の実現」「健全な財政基盤の確立」 「行政評価制度の確立」「行政改革の推進」

将来像実現に向けた
取り組み